

令和3年度

研究開発実施報告書・第4年次

1 北海道

東川町立東川小学校 外6校（園）

東	川	町	立	東	川	幼	稚	園
東	川	町	立	東	川	小	学	校
東	川	町	立	東	川	第	一	小
東	川	町	立	東	川	第	二	小
東	川	町	立	東	川	第	三	小
東	川	町	立	東	川	中	学	校
北	海	道	道	東	川	高	等	学
								校

本報告書に記載されている内容は、学校教育法施行規則第 55 条、第 79 条において準用する第 55 条、第 85 条の規定に基づき、教育課程の改善のために文部科学大臣の指定を受けて実施した実証的研究です。

したがって、この研究内容のすべてが直ちに一般の学校における教育課程の編成・実施に適用できる性格のものでないことに留意してお読みください。

目 次

I	研究開発の概要	
1	研究開発課題	P. 1
2	研究主題	P. 2
3	研究の目的と仮説	P. 2
4	教育課程の特例	P. 4
5	研究組織	P. 4
6	年次研究計画	P. 5
7	年次評価計画	P. 6
II	研究開発の経過	
1	研究開発に至るまでの経緯	P. 7
2	研究開発（1～4年次）の経過	P. 7
III	研究開発の内容	
1	新教科『Globe』の創設と指導内容、指導方法及び評価方法の在り方	P. 9
2	幼、小、中、高における国際教育や英語教育（コミュニケーション能力）の接続の在り	P. 3 3
3	外国語に慣れ親しみ、異文化理解を深めるための地域人材の効果的な活用の在り方	P. 3 9
IV	研究の成果と課題	
1	研究の成果	P. 5 2
2	課題	P. 7 6

I 研究開発の概要

1 研究開発課題

文化や価値観などの異なる人々とよりよい人間関係を構築できる資質・能力を育成するための、初等中等教育段階におけるグローバル化に対応した教育環境づくりを柱とした教育課程の研究開発

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、社会構造や雇用環境は大きく、更に加速度的に変化していくことが予想され、現在の子供たちやこれから生まれてくる子供たちにとって、予測困難な時代である。少子化が進む中で我が国にとっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、様々な変化に適応し、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたり様々な場面で世界の人々と多種多様に関わることが想定されており、コミュニケーション能力の向上が課題となっている。我が国では、外国語を日常的に使用する機会は限られているが、現在の子供たちが将来活躍する社会や世界の舞台は、多文化・多言語の中にあり、国際的な協調と競争の環境にあることが予想される。そうした中で、国民一人一人が、様々な社会的・職業的な場面において、外国語を用いて互いの考えを伝え合い理解し合うことが一層重要になることが想定される。

北海道のほぼ中央に位置する東川町は、大雪山連峰「旭岳」の麓で、雄大な自然景観に恵まれ、豊かな水と肥沃な大地の恵みと共に生活できる地域である。写真甲子園開催地の「写真の町」として、また、日本初の町立日本語学校を開校するなど数多くの留学生を受け入れる「国際交流の町」として全国的に注目を浴びている。

学校教育においては、5名のALT (Assistant Language Teacher 外国語指導助手) による外国語活動や外国語の授業、3名のSEA (Sports Exchange Advisor スポーツ国際交流員) による体育や少年団活動及び部活動 (クロスカントリー、野球、バレーボール)、11名のCIR (Coordinator for International Relations 国際交流員) によるイベント参加や国際交流活動、さらには留学生との交流など、JETプログラム (The Japan Exchange and Teacher Program) スタッフ19名や日本語学校留学生による国際教育推進により、ネイティブ・スピーカーに接する態度や外国語を使う力が育ちつつある。(2020年7月現在。この後コロナ禍で欠員が生じた。)

一方で、それぞれの国際教育活動の有機的なつながりや、学校間での連携、小学校における外国語活動と中学校の外国語科の接続、外国語教育における幼・小・中・高における連携が十分ではない現状が見られた。また、自然豊かで国際色に恵まれた環境におかれているものの、有効に活用したり、効果的に場の設定をしたりすることに課題が見られた。

本町の子供たちは、校内はもとより校外でも、挨拶を交わすことができ、明るく活発である。保育園・幼稚園を同じ施設内に設置している「幼児センター」や小学校4校、中学校1校、高等学校1校があり、教育環境は充実しているものの、主体的に他者と関わろうとする態度は十分ではなかった。また、豊富な地域素材や多種多様な人材が整っているにも関わらず、地域の理解や国際教育の充実が十分とは言えない状況であった。さらに、適切な言葉を使って相手と関わり伝え合うことにやや苦手意識があった。

そこで、自国の文化や伝統への理解を深めるとともに、異なる習慣や文化をもった人々と共に生きていく子供を育成したいと考え、研究主題を設定した。

2 研究主題

ふるさと東川を愛する心情を高め、人間尊重の精神を基調とする国際性を養い、国際社会に通用するコミュニケーション能力の育成

ふるさと東川を愛する心情を高める 【ローカル要素：L】

東川町は、雄大な自然景観に恵まれ、豊かな水と肥沃な大地の恵みと共に生活できる町である。児童・生徒にとって恵まれた環境が当たり前のこととなっているからこそ、自分の地域や、さらには日本全体について理解を深めることが必要である。さらに、地域や日本の文化などから課題を見付け、主体的に考え行動することで、自分自身を見つめ直すとともに、郷土に愛着をもつことができる。

～自国や地域の文化や伝統に根ざした自己の確立を図る～

人間尊重の精神を基調とする国際性を養う 【グローバル要素：G】

東川町は様々な国の人々が住む割合が高く、日本各地からの移住者もある地域でもあり、いろいろな人々が暮らしている。そういった地域の中で生活している児童・生徒だからこそ、外国の文化について考え、国際社会に興味・関心をもつとともに、国際交流を図り、国際人としての自覚と国際性を養う必要がある。世界を知ることで日本のよさ、世界のよさに気付き、様々な人とのかかわりを通して他国の文化や異なる文化をもつ人々を理解し、認め合う多文化共生の態度を育成することができる。

～多様な文化を受容し、共生することのできる態度を育成する～

国際社会に通用するコミュニケーション能力を育成する 【コミュニケーション要素：C】

子供たちが卒業し活躍する社会や世界の舞台は、多文化・多言語の中にある。そうした中で、国民一人一人が、様々な社会的・職業的な場面において、外国語を用いて互いの考えを伝え合い理解し合うなど、国際教育の充実が一層重要になる。そこで、英語による言語活動を通して、日常的な話題や社会的な話題について、伝え合うコミュニケーションを図り発信能力を高める必要がある。そこで、日本と世界をつなぐ言語として英語をつかい、他者に配慮しながらコミュニケーション能力を育てる。

～英語をツールとしたコミュニケーション能力を育成する～

3 研究の目的と仮説等

(1) 研究の目的

ふるさと東川を愛する心情を高め、人間尊重の精神を基調とする国際性を養い、国際社会に適用するコミュニケーション能力を育成するため、新教科『グローブ(Globe)』を創設し、指導内容、指導方法、評価方法の在り方を探る。

(2) 研究仮説

国際教育を中核とした新教科『グローブ(Globe)』を創設し、指導内容、指導方法及び評価方法を体系的に構築することにより、自国や地域の歴史や文化、伝統に対する理解を深めるとともに、異文化を理解し、異なる文化や習慣をもつ人々とともに生きていく（多文化共生）ための資質・能力を育むことができる。

自国や地域の文化や伝統への理解を深めるとともに、異なる習慣や文化をもった人々と共に生きていくために（多文化共生）、「ふるさと東川を愛する心情」を高め「人間尊重の精神を基調とする国際性」を養い、「国際社会に通用するコミュニケーション能力」の向上を図る教科として、『グローブ(Globe)』を創設し、国際教育における初等中等教育の一体的な教育課程の在り方を探る。

具体的には、次の3点の研究を行う。

研究の視点

1. 新教科『Globe』の創設と指導内容、指導方法及び評価方法の在り方
2. 幼、小、中、高における国際教育や英語教育（コミュニケーション能力）の接続の在り方
3. 外国語に慣れ親しみ、異文化理解を深めるための地域人材の効果的な活用の在り方

ふるさと東川を愛する心情を高め、人間尊重の精神を基調とする国際性を養い、国際社会に通用するコミュニケーション能力を育成する。

新教科Globe

★地域の教育資源★

写真文化首都 東川町
写真を取り入れた教育活動
豊かな自然
地域の教育資源を活用した教育活動

ローカル

自国や地域の文化や
伝統に根ざした
自己の確立

コミュニケーション

文化の異なる人々との
英語をツールとした
コミュニケーション能力

幼児センター
遠く出身の人と親しみ合いながら国際化
を推進し、英語と仲良くする。

町立4小学校
様々な国や文化について理解し、
異文化でも英語がコミュニケーションの
ツールとして活用できる。

東川中学校
世界の諸国を自分と結びつけて考え、
解決方法を語り、自分の意見を発信する。

東川高等学校
「国際社会に通用するコミュニケーション能力」
を身につけ、社会に貢献していくために、
主体的に英語をツールとして活用し、
異文化と仲良くする。

国際社会で活躍する 人材の育成

★国際人材★

国際交流員（CIR）
スポーツ国際交流員（SEA）
外国語指導助手（ALT）
東川町立日本語学校生
専門学校前学生

グローバル

多様な異文化を受容し、
共生することのできる
態度

4 教育課程の特例

(1) 新教科『グローブ(Globe)』 授業時数

校種	年間時数	時数変更に伴う対応案
幼児センター4歳児	12時間	
幼児センター5歳児	12時間	
小学校第1・2学年	35時間	生活科から15時間、学校裁量の時間から20時間
小学校第3・4学年	70時間	総合的な学習の時間から35時間、外国語活動から35時間
小学校第5・6学年	105時間	総合的な学習の時間から35時間、外国語から70時間
中学校第1～3学年	160時間	総合的な学習の時間から20時間、外国語から140時間
高等学校第1・2学年	150時間	特別活動から10時間、外国語から140時間
高等学校第3学年	100時間	特別活動から7時間、外国語から93時間

5 研究組織

(1) 研究組織の概要

運営指導委員会（大学、道教委、町教委等）

研究推進連絡協議会（町教委、研究開発学校7校の管理職、研究担当代表者等）

研究推進委員会（研究担当者、英語科教員、ALT、CIR等）

外部評価委員会（英語教育有識者、地域識見者、運営指導委員会）

(2) 組織

運営指導委員会

氏名	所属	職名	備考（専門分野等）
石塚博規	北海道教育大学	教授	外国語教育
金玟辰	北海道教育大学	准教授	国際教育
高瀬博子	聖心女子学院高等科	講師	英語教育
平島大吾	北海道教育委員会	義務教育課主査	
泉大	北海道教育委員会	上川教育局教育支援課長	
谷口収	北海道教育委員会	上川教育局指導主事	英語担当
杉山昌次	東川町教育委員会	教育長	
佐藤文泰	東川町教育委員会	学校教育課長	
佐々木貴行	東川町教育委員会	生涯学習推進課長	
佐原知枝	東川町教育委員会	JETコーディネーター	
ゾエ・アスコリ	東川町教育委員会	JET-CIR	国際交流
ドナリンシエロ・ランパ	東川町教育委員会	JET-ALT	英語教育

研究推進委員会（ワーキンググループ）

小学校教諭	森弘美	フリー	全教科（英語）
小学校教諭	松田陽子	特別支援学級	全教科（英語）
小学校教諭	吉田恵子	3・4年担任	全教科（英語）
小学校教諭	森谷加悦子	特別支援学級	全教科（英語）
小学校教諭	小関麻衣子	特別支援学級	全教科（英語）
小学校教諭	木村智美	フリー	全教科（国際教育）
中学校教諭	柴田晃宏	第1学年	英語
中学校教諭	菊池岳夫	第2学年	英語
中学校教諭	鈴木由紀子	フリー	英語
中学校教諭	宮地明子	第3学年	英語
高等学校教諭	小川樹理	第1学年	英語
高等学校教諭	佐藤亜衣子	第2学年	英語
高等学校教諭	千葉雄次	第3学年	英語
幼稚園教諭	得能美津紀	教務担当	
東川町教育委員会	佐原知枝	JETコーディネーター	

(3) 活動計画

運営指導委員会	8月、1月、3月
研究推進連絡協議会	4月、8月、10月、2月
研究推進委員会	5月～3月（月に1～2回）
外部評価委員会	9月、2月

6 年次研究計画

(1) 研究計画

第1年次 (平成二十九年度)	<p>『グローブ(Globe)』推進のための組織づくりとカリキュラム作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究開発学校指定の4年間を見通した研究の骨子の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・研究組織（グローブ推進チーム、運営指導委員会）の設置 ・研究計画（内容、方法、評価）の作成 ○ 新教科『グローブ(Globe)』のカリキュラム編成 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校種間における接続を意識したカリキュラムの作成 ・『グローブ(Globe)』における3要素構成の内容検討 ・コミュニケーション要素（外国語活動、英語科）の系統的（幼・小・中・高）な指導方法の検討、外国人の効果的な活用場面等の検討 ○ 評価方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、学校、学校関係機関、保護者地域住民等による評価の在り方の検討 ・英語能力調査（中学校・高等学校：英検IBA）の実施 ・グローブ推進チームと運営指導委員会による評価や指導をもとにした第1年次の成果と課題のまとめ及び第2年次以降の計画の修正
第2年次 (平成三十年度)	<p>新教育課程の先行実施及び『グローブ(Globe)』カリキュラムの完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『グローブ(Globe)』カリキュラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに基づく実践と課題の明確化、改善 ・複式校におけるカリキュラムの研究（～4年次まで） ・コミュニケーション要素における系統的な指導の実施 ・指導資料、教材の検証と改善、改訂 ・東川町在住の外国人（ALT、CIR、SEA等）の積極的活用 ○ 評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・英語能力調査（小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA）、自己評価、外部評価、英検IBA等スコア比較、質問紙調査による評価 ・第2年次の成果と課題のまとめ及び第3年次以降の計画の修正 ○ 保護者、地域への啓発・周知
第3年次 (令和元～二年度)	<p>『グローブ(Globe)』カリキュラムの実施・評価・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カリキュラムの実施・評価・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・3要素における、幼・小・中・高の円滑な接続の在り方の研究 ・コミュニケーション要素における学習内容の小中連携による系統的な指導の実施及び5つの領域の言語活動での評価 ・中学校における実践的な言語活動を位置付けたカリキュラムの改善及び独自教材の開発 ○ 実践研究会（プレ研）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児センター、小学校、中学校、高等学校における授業公開 ○ 評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・英語能力調査（小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA）、自己評価、外部評価、英検IBA等スコア比較、質問紙調査による評価 ・第3年次の成果と課題のまとめ及び第4年次の計画作成

第4年次 (令和三年・本年度)	<p>新教育課程の完全実施及び『グローブ(Globe)』研究の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カリキュラムの実施・評価・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3要素における、幼・小・中・高の有機的な連携についてのまとめ ・ コミュニケーション要素における「読むこと」、「書くこと」の学習内容の小中連携による系統的な指導の実施及び4技能5領域の言語活動を用いた評価 ・ 他地域での『グローブ(Globe)』導入及び普及についての検討 ○ 研究実践発表会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児センター、小学校、中学校、高等学校における授業公開（3要素） ○ 評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語能力調査（小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA）、自己評価、外部評価、英検IBA等スコア比較、質問紙調査による評価 ・ 児童生徒、教員、関係機関、地域等の意識調査及び分析 ・ 成果と課題のまとめ及び一般化のための提案（研究報告書の作成） ○ 研究開発学校指定後における『グローブ(Globe)』の方向性の検討
--------------------	--

7 年次評価計画

第1年次 (平成二十九年 度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒に係る『グローブ(Globe)』実施の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の授業後の振り返りシート、意識（質問紙）調査、パフォーマンス（行動観察）等による実態の把握及び分析 ・ 英語能力調査（中学校・高等学校：英検IBM）の実施 ○ 研究推進全体に係る評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新教科創設にかかる運営指導委員会の指導助言（8月） ・ 関係機関及び保護者によるアンケート調査の実施、結果の分析（11月） ・ カリキュラム編成にかかる運営指導委員会の評価、指導助言（1月） ○ 教員による意識調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児センター、小・中学校、高等学校教員による意識（質問紙）調査の実施（11月）
第2年次 (平成三十年 度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒に係る『グローブ(Globe)』実施の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の各調査における継続的な実態の把握及び分析 ・ 英語能力調査（小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA）実施 ○ 研究推進全体に係る評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関及び保護者によるアンケート調査の実施、結果の分析経年比較（11月） ・ 運営指導委員会の評価・指導・助言（1月） ○ 教員による意識調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度における意識（質問紙）調査の継続的な実施（11月）
第3年次 (令和元 ～二年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度の各評価（児童生徒、研究推進全体、教員）の継続的な実施及び分析 ○ 前年度の各調査における継続的な実態の把握及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語能力調査（小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA）の実施 ○ 公開研究会（プレ研）実施による検証 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新教育課程を先行的に実施し、公開研究会を開催することで外部評価により成果と課題を明らかにし、次年度への改善につなげる。

第4年次 (令和三年度・本年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度の各評価（児童生徒、研究推進全体、教員）の継続的な実施、分析及び検証 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の各調査における継続的な実態の把握及び分析 ・英語能力調査(小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA)の実施 ・各評価の集積データのまとめ ・研究報告にかかる運営指導委員会の評価、指導助言 ○ 研究実践発表会実施による検証 <ul style="list-style-type: none"> ・研究実践発表会を開催し、本研究の成果と課題を明らかにし、まとめを行う。
----------------------------	--

II 研究開発の経過

1 研究開発に至るまでの経緯

- 1985年 「写真の町」を宣言“世界に開かれた町”を目指す。
- 1992年 初代 JET-ALT 招聘（クリスティーン・カナダ）
- 1996年 国際交流の町指定（自治省）
- 2007年 国際教育推進プランの指定（文科省）
- ～2009年
東川第三小学校が中核校、町内全ての小中学校が協力校として国際教育を推進する。
- 2009年 日本語研修生（短期）・留学生の受け入れ
韓国、台湾をはじめ中国、タイ、インドネシア、ベトナム、ラトビア、ウズベキスタン、シンガポール、ヨルダン、ブータン、ロシアなどから延べ2,000名を越える
- 2016年 研究開発学校要望調書提出・採択
- 2017年 研究開発の開始

2 研究開発の経過

一年次（平成29年度）～カリキュラム作成～

- ①実態把握
- ②カリキュラムの素案作成
 - ・Globe目標「目指す子供像」作成
 - ・単元指導計画（カリキュラム）の作成
 - ・『Globe』における3要素構成の内容検討
- ③教材・教具等の環境整備
- ④児童生徒、保護者、教員の意識調査の実施
 - ・アンケート内容の検討・実施・結果分析
 - ・英語能力調査（小学校6年生：GTEC-Junior 中学校・高等学校：英検IBA）の実施
- ⑤新教科創設にかかる運営指導委員会の指導助言（8月）
カリキュラム編成にかかる運営指導委員会の評価、指導助言（1月）
- ⑥第1年次の成果と課題のまとめ及び第2年次以降の計画の修正

二年次（平成30年度）～実践1年目～

- ①新カリキュラムの実施
- ②指導内容・指導方法・評価方法の研究
- ③幼小中高につながる系統性の研究
 - ・Globe別葉、LG系統表、LG系統図、英語表現一覧表の作成
- ④外部人材活用の研究
- ⑤教員研修
- ⑥研究の成果・課題の検証
- ⑦保護者、地域への啓発・周知（Globe News）

三年次（令和元年度）～実践2年目～

- ①カリキュラムの実施・改善
- ②指導内容・指導方法・評価方法の研究
 - ・アンケート内容の検討・実施・結果分析
 - ・英語能力調査（小学校6年生：GTEC-Junior 中学校・高等学校：英検IBA）の実施
 - ・カリキュラム編成にかかる運営指導委員会の評価、指導助言(8月・1月)
- ③幼小中高につながる系統性の研究
 - ・Globe別業、LG系統表、LG系統図、英語表現一覧表の見直し、Can-doリストの作成
- ④外部人材活用の研究
- ⑤教員研修
- ⑥実践研究会（プレ研）開催
- ⑦研究の成果・課題の検証
- ⑧保護者、地域への啓発・周知（Globe News）

三年次（令和2年度）～実践3年目～

- ①感染症拡大時における感染対策をしたカリキュラムの実施
- ②指導内容・指導方法・評価方法の研究
 - ・LG要素における思考力・判断力・表現力の評価規準表作成
 - ・LGC要素配分一覧表の作成
 - ・アンケート内容の検討・実施・結果分析
 - ・英語能力調査（小学校6年生：GTEC-Junior 中学校・高等学校：英検IBA）の実施
 - ・カリキュラム編成にかかる運営指導委員会の評価、指導助言(8月・1月)
- ③幼小中高につながる系統性の研究
 - ・英語能力調査（小学校6年生：GTEC-Junior 中学校・高等学校：英検IBA）の実施
 - ・カリキュラム編成にかかる運営指導委員会の評価、指導助言(8月・1月)
- ④外部人材活用の研究
- ⑤教員研修（実践交流会）
- ⑥研究の成果・課題の検証
- ⑦保護者、地域への啓発・周知（Globe News）

四年次（令和3年度）～実践4年目～

- ①カリキュラムの実施・評価・改善
 - ・3要素における、幼・小・中・高の有機的な連携についてのまとめ
 - ・コミュニケーション要素における「読むこと」、「書くこと」の学習内容の小中連携による系統的な指導の実施及び4技能5領域の言語活動を用いた評価
- ②研究実践発表会の実施による検証（動画配信・オンラインによる研究協議）
 - ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校における11授業の公開
 - ・参加者、助言者による外部評価
- ③成果と課題のまとめ
 - ・前年度の各調査における継続的な実態の把握及び分析
 - ・英語能力調査(小学校：GTEC Junior、中学校・高等学校：英検IBA)の実施
 - ・各評価の集積データのまとめ
 - ・研究報告にかかる運営指導委員会の評価、指導助言
- ④研究開発学校指定後における『グローブ(Globe)』の方向性の検討
- ⑤保護者、地域への啓発・周知（Globe News）

III 研究開発の内容

1 新教科『Globe』の創設と指導内容、指導方法及び評価方法の在り方

(1) Globe の概要

①Globe 目標「目指す子供像」

新教科創設にあたり、教科の目標を設定し、それぞれの校種で目指す子供の姿のイメージを共有した。研究主題をもとに、前述のローカル・グローバル・コミュニケーションの三要素と、育てたい資質・能力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」とし、校種ごとに表にまとめた。また、表の最後には、「生涯」の欄を設けた。ここには、一年次の保護者アンケートによる「どのような子供に育ててほしいか」の回答を参考に、研究主題でねらう子供像の具体を示した。また、それぞれの校種で目指す子供の姿のイメージを共有した。このGlobe目標「目指す子供像」をもとに、各学年、各単元での目標を設定した。

Globe目標 目指す子供像

令和2年3月

領域	内容	指導の視点	育成を目指す資質・能力	幼保連携	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高等学校	生涯
Local	自国の文化や伝統に際した自己の確立を図る。	自己理解 郷土理解	思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	知識及び技能	地域の自然や文化・生活に親しむ。	地域や国の自然や伝統・文化の特徴に気付くとともに、自分の良さを知る。	地域や国の自然や歴史、文化を理解し、良さを知る。	自分の地域や国の自然や歴史、伝統や文化の特色を知る。自分の興味・関心を自己の成長に結び付けることができる。	自分の地域や国の文化とその背景を理解することができる。	自国で生活し、自分の地域や国に愛着をもつ。
				思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	体験したことや身のまわりの事柄から、思いや考えを表現することができる。	身のまわりの事象への疑問から、様々な事象について自分の考えをもつ。根拠をもとに判断し、表現することができる。	身のまわりの事象について問題意識をもつ。根拠をもとに判断し、表現することができる。	社会のさまざまな問題について情報をとらえ、視野や考え、価値観に基づいて工夫して発表することができる。	自己の確立に努め、社会の様々な情勢を元に公平に判断し、根拠をもとに自分の意見を他者に述べることができる。	自分の地域や国の伝統、文化に誇りと責任をもち、海外の人に積極的に紹介できる。
Global	多様な文化を受容し、共生することのできる態度を育成する。	多文化共生	思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	知識及び技能	簡単な英語の指示を聞いて行動できる Yes/Noや簡単なあいさつの言葉を自ら発することができる	身のまわりの物の違いや、友達との個性の違いに気付く。	様々な文化や習慣があることを知り、共通点や相違点を見つけることができる。	他国や他民族等の様々な文化について知るとともに、我が国と他国の文化の違いを理解する。	他国や他民族等の様々な文化の違いや、その背景を理解し、どの国の文化も尊重することができる。	他国や他民族等の文化を尊重し、異文化や世界情勢の情報を積極的に取り入れ、生活に生かすことができる。
				思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	自分の好きな物、嫌いな物が書ける 友達と上手に関わりながら生活している	体験したことや身のまわりの事柄から、思いや考えを表現することができる。	身のまわりの事象への疑問から、身のまわりの事象について問題意識をもつ。根拠をもとに判断し、表現することができる。	世界の抱える今日の課題を身のまわりの事象とつなげて考え、そこから問題意識を発見し、解決の方法を探り、工夫して発表することができる。	国際社会における様々な課題を発見し、その解決に向けて多様な観点から思考・判断し、発信することができる。	世界の人々と助け合い、協力しながら課題を解決しようとする。
Communication	文化の異なる人々との英語をツールとしたコミュニケーション能力を育成する。	コミュニケーション	思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	知識及び技能	選んだ楽しさを友達と共感できる 元氣よくあいさつや返事ができる 自分の思いを伝えることができる	外国語を通して、他の国の文化や言葉の違いに気付く。外国語の簡単なあいさつ等の表現に慣れ親しむ。	外国語を通して、文化について体験的に理解する。日本語と外国語との音声の違いを深め、外国語の音声の聞き分けに慣れ親しむ。	外国語の音声や文字、語彙、表現、構文、音韻の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気づき、これらの知識を自分の知識と結び、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基本的な技能を身に付ける。	外国語の音声や語彙、表現、文法、音韻の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基本的な技能を身に付ける。	外国語の音声や文字、語彙、表現、構文、音韻の働きなどについて、日本語と外国語の違いや音韻の働き、役割を理解するとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基本的な技能を身に付ける。
				思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分のことを伝え合う意地を養う。	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや持論などを伝え合う力の素地を養う。	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや持論などを伝え合うことができる。多様な価値観の力を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや持論などを伝え合うことができる。多様な価値観の力を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自発的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりするコミュニケーション能力を身に付け、聞いたり話したりしたことを活用して発信することができる。

※各校種の拡大版を次頁から掲載する。

各校種別の指導体制と目標は、次のとおりである。

(ア) 幼児センター (ALT 主導の下、毎月の Globe を実施)

～日常の保育の中に ALT が参加し、主に行事を通して英語と触れ合う～
～Globe として毎月 1 回の授業を 2 名の ALT が主体となって進める～

目指す子供像

『他の国の人と触れ合いながら外国語に慣れ親しみ、友達と仲良くする子供』

Local	英語に親しむ 英語のゲームや歌を楽しめる 簡単な英語の指示を聞いて行動できる Yes、No や簡単なあいさつの言葉を自ら発することができる
Global	様々な国の人々に親しみをもつ 自分の好きな物、嫌いな物が言える 友達と上手に関わりながら生活していける
Communication	身の回りの友達や自然環境に関心をもつ 遊びの楽しさを友達と共感できる 元気よくあいさつや返事ができる 自分の思いを伝えることができる

※幼稚園は、評価の観点 (【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力・人間性等】) を設けない。



4 歳児 英語読み聞かせ



5 歳児 Globe

(イ) 小学校 (低学年～35時間 中学年～70時間 高学年～105時間)

～ローカル・グローバル・コミュニケーション要素を取り入れた英語を使う必然性のある単元デザイン～
 ～ALTが常に入り、2～3人体制で行うGlobe授業～
 ～ローカル・グローバル要素の資質・能力を育む外部人材活用～

目指す子供像

『様々な国や文化について理解し、誰とでも寛容的で協力的な態度で接する子供』

要素	観点	低学年	中学年	高学年
(L)	【知】	自分の地域の自然や文化、生活に親しむとともに自分の仕事をしっかり行う生活習慣を身に付ける。	自分の地域や国の自然や伝統・文化の良さに気付くとともに自分のよさを知る。	自分の地域や国の自然や歴史、文化を理解し、よさを知る。
	【思】	自分の経験から思いや考えをもち、順序立てて伝えることができる。	身の回りの事象について自分の考えをもち、他との共通点や相違点を考えながら筋道をたてて伝えることができる。	様々な事象について自分の考えをもち、身の回りの事柄に対する公平な判断力を身に付けるとともに自分自身のことや自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。
	【学】	自分ができることは自分でしようとし、良いと思うことを進んで行おうとすると共に、自分の地域に愛着をもっている。	自分のできることは進んで行い、自分の地域や国の伝統文化に親しみ、愛する心をもとうとする。	集団活動に進んで参加し、自分の役割を自覚し、責任を果たそうとするとともに、自分を大切にし、自分の地域や国の伝統や歴史、郷土を愛する心をもとうとする。
(G)	【知】	身の回りの物の違いや、友達との個性の違いに気付く。	様々な文化や習慣があることを知り、相違点や共通点を見つけることができる。	他国や他民族等の様々な文化について知るとともに、我が国と他国の文化の違いを理解する。
	【思】	体験したことや身のまわりの事柄について疑問をもち、自分なりの考えを表現することができる。	身の回りの事柄への疑問をもち、理解を深め、理由をあげて表現することができる。	身の回りの事柄について問題意識をもち、その問題に積極的に関わり、仲間と協力しながら課題を解決し、構成を考えながら、順序立てて表現することができる。
	【学】	友達と仲良く助け合うとともに、他の国の人々や文化に興味をもつ。	友達を理解しようとし、信頼し助け合う関係を作ろうとするとともに、違う考えや文化に対して寛容な態度で接しようとする。	どの国・民族の文化でも尊重し、誰とでも公平に接するとともに日頃から人との関わりを大切にして信頼関係をつくらうとし、寛容で協力的な態度で生活していこうとする。

(C)	【知】	外国語を通して、他の国の文化や音声の違いに気づき、外国語の簡単なあいさつ等の表現に慣れ親しむ。	外国語を通して、文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。	外国語の音声や文字、語彙、表現構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気づき、これらの知識を理解するとともに読むこと、書くことに慣れ親しみ聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基本的な技能を身に付ける。
	【思】	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分のことを伝え合う素地を養う。	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり語順を意識しながら書いたりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を身に付ける。
	【学】	外国語を通して言語やその背景にある文化に触れ、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	外国語を通して言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。

※ 【知】は【知識及び技能】、【思】は【思考力・判断力・表現力等】、【学】は【学びに向かう力・人間性等】。



(ウ)中学校 (1・2・3年～160 時間)

～生徒の興味・関心を高め、世界の諸問題を考えられる単元デザイン～
 ～コミュニケーション要素の充実に向けた即興的なやり取り～
 ～ローカル/グローバル要素の充実に向けた地域資源・人材の活用～

目指す子供像

『世界の諸問題を自分と結び付けて考え、解決方法を探り、自分の意見を発信する生徒』

要素	観点	中学校
(L)	【知】	自分の地域や国の自然や歴史、伝統や文化の特色を知っている。自分の興味・関心を自己の成長に結び付けることができる。
	【思】	社会の様々な問題について情報をもとに広い視野で考え、問題解決にむけて表現を工夫して発表することができる。
	【学】	自分に自信をもつとともに、自己を見つめ個性を伸ばそうとする態度を身に付け、自分と自分を取りまく社会と関わろうとする。
(G)	【知】	他国や他民族等の様々な文化の違いや文化の背景を理解し、どの国の文化も尊重することができる。
	【思】	世界が抱える今日的な課題を身の回りの事象とつなげて考え、そこから問題や課題を発見し、解決の方法を探り、表現を工夫して発表することができる。
	【学】	異なる文化をもつ人々が共生する社会を受容するとともに日頃から考えや習慣の異なる人に対して、寛容で協力的な態度で生活しようとする。
(C)	【知】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
	【思】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。
	【学】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。



(エ)高等学校（1・2年～150時間、3年～100時間）

～4期に分け、段階的に学習を進めることができるカリキュラム～
 ※4期の内容はP.24参照
 ～ローカル/グローバル要素の充実に向けた地域資源・人材の活用～

目指す子供像

『自己と世界とのつながりを意識した上で、どのように社会にかかわっていくかについて、主体的かつ建設的に考え、意思決定し行動する生徒』

要素	観 点	高 等 学 校
(L)	【知】	自分の地域や国の文化とその背景を理解している。
	【思】	自己の確立に努め、社会の様々な情報を基に公平に判断し、根拠をもって自分の意見を他者に述べるができる。
	【学】	社会における自分の担う役割や責任、自分のもつ可能性を自覚し、自己肯定感を高め、学びや協働に向かおうとする。
(G)	【知】	他国や他民族等の文化を尊重し、国際社会の多様性を知ることで異なる価値観に対し理解を示している。
	【思】	国際社会における様々な課題を発見し、その解決に向けて多様な観点から思考・判断し、発信することができる。
	【学】	多文化共生社会を受容し、自らその形成者として共に生き、共に課題に取り組もうとする参画と貢献の姿勢がある。
(C)	【知】	外国語の音声や文字、語彙、表現、構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いや言語の働き、役割を理解するとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
	【思】	日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりするコミュニケーション能力を身に付け、聞いたり読んだり話したりしたことを活用して話したり書いたりして発信することができる
	【学】	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、言語や文化に対する関心をもっている。

②単元デザインの考え方

単元作成にあたって、使用する主な教材は、中学校・高校は教科書とし、小学校中学年は、文部科学省発行の「Let's Try」、小学校高学年は、三年次までは文部科学省発行「We Can!」、四年次は採択した教科書「NEW HORIZON Elementary」(東京書籍)とした。小学校低学年は、「Hello, Kids!」(開隆堂)をもとに単元作成したが、教科書は使用せず、教材を作成することとした。幼児センターについても、教科書の言語材料をもとに、扱う内容を吟味し、独自の教材を作成した。

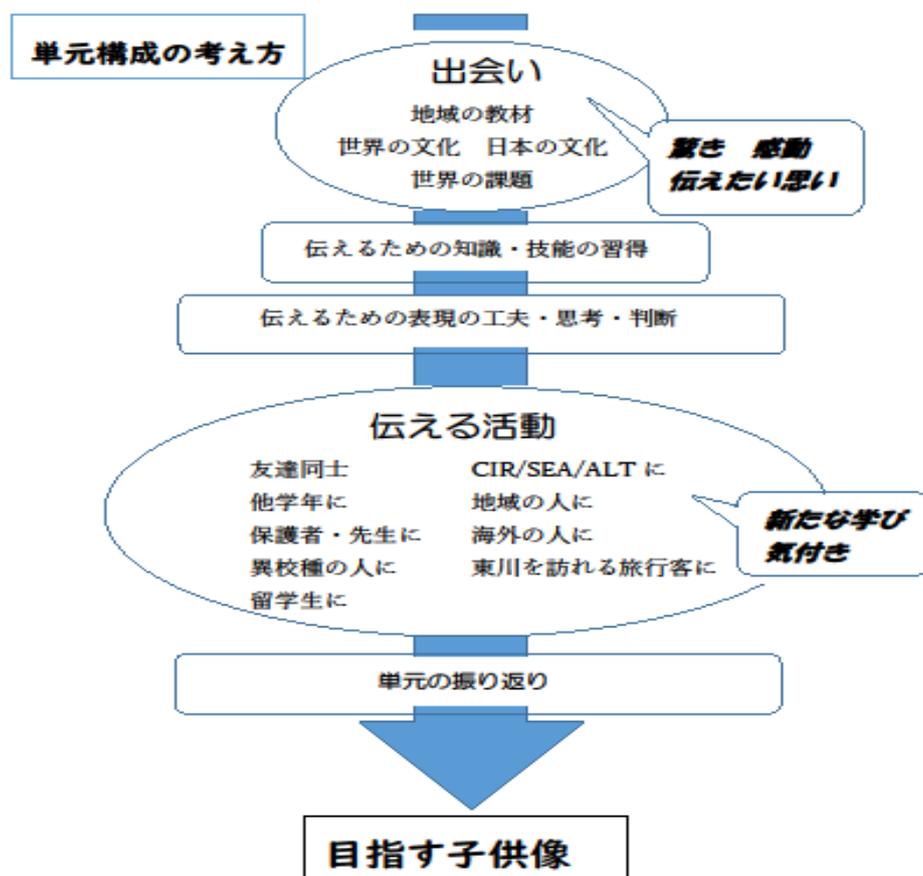
単元のはじめには、地域の教材、世界の文化、日本の文化など、ローカル・グローバルに関わる体験や講話など、テーマとの出会いを設定する。出会った時の驚きや、感動、誰かに伝えたい思いを、単元を通して意欲を持ち続ける原動力とする。この伝えたい思いを大切にしながら、伝えるための知識・技能を習得していく。単元の終末には、伝える活動を設定する。何のために、誰に、どのように、何を伝えるのかをはっきりさせることにより、学ぶ目的が明確になり、学習意欲につながると考えた。

内容としては、教科書に掲載されている内容を扱いながら、中学・高校で扱う内容と小学校で出会うようにした。小学校で世界が抱える課題に出会う際には、どれが良い、という視点ではなく、どの文化も尊重できるように配慮した。

また、海外の文化(グローバル)に触れる際は、日本のこと、東川のこと、自分自身のこと(ローカル)を伝えられるように単元を構成した。

単元の終わりには、学びを振り返り、考えたことをまとめ、自分の成長を確認する機会を設けることとした。

このように、単元を通してローカル、グローバル、コミュニケーション要素を効果的に取り入れ、目指す子供像に迫る単元デザインを工夫した。



(2) 指導内容及び指導方法

①コミュニケーション要素

日本と世界をつなぐ言語として英語を使い、伝え合う能力を高めるために幼稚園では、小学校での学習の基礎となる単語に親しませる。

小学校低学年では、自然の中から自分で見付けてきたものや身近なもの、ごっこ遊びを通して、やりとりの楽しさを味わう。

小学校中学年から高等学校までは、教科書の言語材料を基本とする。子供たちが表現したい事柄は、単語や表現を加えていく。この加えた表現は、必ずしも全員が言う必要はないこととし、他の児童生徒は、聞いて分かる程度でよい。また、小学校中学年では、地域人材を活用しながら挨拶、名前の書き方、じゃんけんや数え方等を通して、多様な言語に出合わせる。

②ローカル・グローバル要素

自分の地域や日本について理解を深め、他国の文化や異なる文化をもつ人々を理解し、認め合う態度を育てるために地元教材を生かしながら様々な文化に出会わせる機会を設定した。

指導内容を「文化」「食文化」「地元東川」「学校・教育」「環境」「平和・福祉」「自分自身のこと」「世界の諸問題」に分け、発達段階に応じて学習できるように学年ごとに表に整理した(学習項目別系統表)。これを内容ごとに図にまとめ「L/G 系統図」とした。

これらの表や図を見ながら、児童・生徒が何を学び、今後何を学ぶのかを指導者が意識しながら該当学年のねらいや内容を明確にしていった。

③単元一覧表

幼児センター Globe 年間授業計画

4 歳児

Month (月)	4 years (4 歳)	
April - 4	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加し子供たちと交流 ・季節の制作や遊びを一緒に行う 	<ul style="list-style-type: none"> <子供の日> ・こいのぼり
May - 5		
June - 6		<ul style="list-style-type: none"> <七夕> ・七夕飾り
July - 7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で絵本・歌・手遊び・ダンスなど ・クラスの子供たちと交流 	
August - 8		<ul style="list-style-type: none"> <お神輿担ぎ> ・お神輿作り
September - 9		
October - 10	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で絵本・歌・手遊び・ダンスなど ・クラスの子供たちと交流 ・絵本などの他にクイズで言葉にふれる (It' s a quiz!) (What' s this?) ※歌や絵本の中でふれたことのある単語など	ハロウィーンの紹介
November - 11		
December -12		クリスマスの紹介
January - 1		
February - 2		<節分>
March - 3	<ひなまつり>	

5 歳児

Month (月)	5 years (5 歳)	
April - 4 May - 5 自分の住む国と 世界について	<ul style="list-style-type: none"> • ALT の自己紹介 • はじめと終わりのあいさつ (4 月以降毎回) • How are you? I' m good, happy, sad, sleepy, hungry, hot, cold • How is the weather? It' s snowy, rainy, cloudy, sunny • 地図や国旗を用いて、自国や他国があることを知る 	
June - 6 Colors/いろ	<ul style="list-style-type: none"> • 色を知ろう (Red, blue, green, yellow, orange, purple, brown, pink, white, black) 	<ul style="list-style-type: none"> • いろおに (Color Tag) • 4 corner game
July - 7 Foods/たべもの	<ul style="list-style-type: none"> • 色と食べものを組み合わせて学ぼう (Rice, soup, milk, water, banana, orange など) 	英語でフルーツバスケットをしよう (ゲーム)
August - 8 Body/からだ	<ul style="list-style-type: none"> • 体の部位の名前を英語で聞こう (Head, Face, Eye, Ear, Nose, Mouth, Hand, Leg, Hip…) 	<ul style="list-style-type: none"> • Simon Says 「touch your …」 ♪Head, Shoulders, Knees, and Toes (うた)
September - 9 Animals/どうぶ つ	<ul style="list-style-type: none"> • 動物の名前を知ろう (dog, cat, cow, sheep, mouse…) • 他の国の鳴き声を聞いてみよう。 	♪ABC のうた
October - 10 Halloween/ハロ ウィーン	<ul style="list-style-type: none"> • pumpkin, vampire, mummy, ghost, 	<ul style="list-style-type: none"> • ハロウィーンの紹介 • ごっこ遊び(体験) • Trick or Treat
November - 11 ゆっくり・はや く・とまって!	<ul style="list-style-type: none"> • Walk, Run, Slowly, Fast, Stop, Jump, Sit, Stand up… 	• Simon Says
December -12 Christmas/クリ スマス	<ul style="list-style-type: none"> • Santa Claus, candy cane, reindeer, snowman, Christmas tree 	<ul style="list-style-type: none"> • クリスマスソング (うた) • Bomb game (音楽が止まったとき、プレゼントをもっていたら負け!) (ゲーム)
January - 1 Numbers/すうじ (1 - 10)	<ul style="list-style-type: none"> • One to ten • 形を知ろう (heart, star, circle, square, triangle) 	<ul style="list-style-type: none"> • サイコロの目と同じ数だけともだちをあつめよう! (ゲーム)
February - 2 Self- introduction/ じこしょうかい	Hello. /My name is… / Nice to meet you. /Thank you. See you.	• 自己紹介リレーをして遊ぼう (ゲーム)
March - 3 外国っておもしろい	Hello. /Nice to meet you. How are you? I' m good, happy, sad, sleepy, hungry, hot, cold Thank you. /See you. <ul style="list-style-type: none"> • 様々な人、言葉、文化があることを知り興味や関心を持つ • 様々なあいさつや握手、ハグなどのあいさつにもふれる 	• CIR と遊ぼう (CIR の国の挨拶や遊びを知る)

		学習期		
		中1【160】	中2【160】	中3【160】
		様々な人々の生活について知ることができる。	学習を通して、自分と照らし合わせて考えることができる。	世界の諸問題について自分考えを持ち、発信したり行動することができる。
		「私」視点	「私たち」視点	「日本人として」視点
4月	オリエンテーション 小学校の振り返り、アルファベット Globe0,1 クラスメイトやJETsに友達を紹介しよう I am Meg Brown. / I like Japanese food. / Are you from Sydney? / Do you play cricket? / I can read hiragana. I cannot read kanji. / Can you read kanji? 【L】自己紹介、他己紹介	オリエンテーション Globe 0 My Spring Vacation 春休み中の思い出についてスピーチをしよう ※ALT・CIRに春休みの思い出を紹介する【G】 学カテスト～1年生の振り返り	オリエンテーション Globe0 興味のある国について紹介しよう 【G】地理 人口 面積 名物 【C】スピーチ原稿を書いて、発表する ※グループで調べた国について、発表する	
	Globe2 身近な話題についてやりとりしよう This is Kaito. / This is Ms.Cook. / Is that a fish market? / What is this? / Who is that? / How do you come to school? / What do you have for breakfast? 【L】身近な人や物についての紹介 【G】世界の食文化、和食の良さや特徴	Globe 1 世界の教育事情を知ろう This pen was 150 yen last week./I was looking for my pencil case./You look happy. 【L】【G】世界の教育事情について考える Globe Scene1日記を書こう 単元テスト～Unit1の振り返り	Globe1 パラリンピック I have sen Paralympic sports once. / Josh has seen Paralympic sports many times. / Asami has never seen Paralympic sports. / I have seen the Paralympic Games once. / Have you ever seen the Paralympic Games? / Playing sports makes me happy. / Athletes show us great performance. 【L】東京オリンピック・パラリンピック 【G】障がい者スポーツ Globe Write&Listen1 あこがれの有名人へファンレターを書こう 【L】自分の思いや考えを書く 単元テスト～Unit1振り返り	
5月	Globe Trial 1 場面に応じて会話をしよう (ALT招集型) Globe 3 わたしの中学校生活 Where do you practice ? We practice in the music room. Where is Midori Hall? It is near the station./ When is the next concert? It is on July 5. / How many rackets do you have? I have two rackets. 【G】学校生活で興味のあること 【G】日本と海外の中学校生活	Globe 2 世界の観光名所を知ろう I am going to visit the U.K. next week./Show me your passport, please./People call it Big Ben. ※ 海外の観光名所への旅行計画書を作り、英語で紹介する【G】 Globe Scene2ていねいをお願い 単元テスト～Unit2振り返り	Globe2 世界で知られている日本の文化を紹介しよう I have just finished my homework. / Have you finished your homework yet? / I have lived in Japan for five years. / How long have you lived in Japan? / I am reading a book now. / I have been reading a book since 10 a.m. 【G】【L】日本文化 Globe Learning in English & Listen 2 【G】食物連鎖 前期A～Unit 1,2振り返り 単元テスト～Unit 2振り返り	
	Globe 4 ニュージーランドを知ろう Come to the front. / Be brave. / Don't worry. / What time is it? It is noon. / What time do you have lunch? At one. / What animals can we see in New Zealand? You can see sheep and kiwis. / What sports do you like? I like netball. 【G】海外の人たちの生活 前期AテストG～lobe4までの振り返り	Globe 3 自分の生き方を考える(Career Day) I want to be a chef. I have many things to do. ※ 東川の職業人を講師に招き、職業講話を行う【L】 ※ ALT方々から、学生時代に将来つきたかった職業とその理由を聞く ※ 自分の将来の夢について、4文以上の英文を作り、スピーチをする【C】 Globe Scene3 メール※外国へメール【G】 まとめと練習・学び方コーナー1 前期Aテスト～テスト振り返り 単元テスト～Unit3振り返り	Globe3 絶滅のおそれのある動物たちを守るための提言ポスターを作ろう It is important for us to understand the problem. / I want everyone to know this fact. / Let us give you one example. / People helped tiki live safely. 【G】【L】自然破壊、絶滅危惧種 SDGs 15番 Globe Trial 1 レストランでの会話 【L】食事の場面 Globe Write & Activity Report 【L】【C】修学旅行 レポート 単元テスト～Unit3振り返り	
6月	Globe 5 世界の伝統的な祭り Meg is by the bench. Look at the bech under the tree. Look at the people on the stage./I like dancing. I am good at dancing. / I went to the summer festival yesterday. 【L】日本の伝統行事やお祭り 【G】海外の伝統行事と日本の違い	Globe Reading 1 The Carpenter's Gift ※ 外国の教科書を取り上げ、ALTが語り手になって物語文の読み聞かせを行う	Globe3 絶滅のおそれのある動物たちを守るための提言ポスターを作ろう It is important for us to understand the problem. / I want everyone to know this fact. / Let us give you one example. / People helped tiki live safely. 【G】【L】自然破壊、絶滅危惧種 SDGs 15番 Globe Trial 1 レストランでの会話 【L】食事の場面 Globe Write & Activity Report 【L】【C】修学旅行 レポート 単元テスト～Unit3振り返り	
	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe Trial 1 学校での生活や活動 ※5～6名のALTが面接官になって、日常会話や場面カードに応じた会話(やり取り)を行う Globe 4 ホームステイ I have to speak English here./I will show you some pictures tomorrow./You must help your mother./You must not eat too much. ※家での決まりごとについて調3～4文程度の英文を作り、ALTIに紹介する【G】【L】 前期Bテスト～テストの振り返り Globe Scene4電話の会話 まとめと練習・学び方コーナー2 単元テスト～Unit4振り返り	Globe Reading1 A Mother's Lullaby 【L】【G】第2次世界大戦 原爆 紛争について知る 戦争経験者の話や教科書本文を読み、世界に向けてピースメッセージを作る 単元テスト～Globe Reading 振り返り	
7月	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 4 ホームステイ I have to speak English here./I will show you some pictures tomorrow./You must help your mother./You must not eat too much. ※家での決まりごとについて調3～4文程度の英文を作り、ALTIに紹介する【G】【L】 前期Bテスト～テストの振り返り Globe Scene4電話の会話 まとめと練習・学び方コーナー2 単元テスト～Unit4振り返り	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	
	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 5 ユニバーサルデザイン If you are interested, we will send you a catalog./I think that baseball is interesting. When I sat in, I couldn't use it easily. ※ 東川町の福祉(介護)、ユニバーサルデザインについて学び、オリジナルUD商品を考え発表【L】	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	
8月	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 5 ユニバーサルデザイン If you are interested, we will send you a catalog./I think that baseball is interesting. When I sat in, I couldn't use it easily. ※ 東川町の福祉(介護)、ユニバーサルデザインについて学び、オリジナルUD商品を考え発表【L】	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	
	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 5 ユニバーサルデザイン If you are interested, we will send you a catalog./I think that baseball is interesting. When I sat in, I couldn't use it easily. ※ 東川町の福祉(介護)、ユニバーサルデザインについて学び、オリジナルUD商品を考え発表【L】	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	
9月	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 5 ユニバーサルデザイン If you are interested, we will send you a catalog./I think that baseball is interesting. When I sat in, I couldn't use it easily. ※ 東川町の福祉(介護)、ユニバーサルデザインについて学び、オリジナルUD商品を考え発表【L】	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	
	Globe 6 東川町の職業人を紹介しよう I live in Cebu. Takuya lives in Cebu / Takuya writes a blog. Takuya does not write a blog./ Takuya likes Filipino food. Does Takuya like Filipino food? Yes, he does. 【L】東川町の職業人を知り、東川の魅力を考える(JETsに発信) 前期Bテスト～Globe6までの振り返り Globe Trial 2 ちよっとお願い	Globe 5 ユニバーサルデザイン If you are interested, we will send you a catalog./I think that baseball is interesting. When I sat in, I couldn't use it easily. ※ 東川町の福祉(介護)、ユニバーサルデザインについて学び、オリジナルUD商品を考え発表【L】	Globe4 災害 Where is the local shelter ? / I know where the local shelter is. / Wjat jave you done? / Tell me what you have done. / We spoke to a police officer passing by. / They followed instructions given in English. 【G】【L】災害 緊急事態→東日本大震災、地震 津波、台風、土砂崩れから防災を学ぶ 総合A、前期Bテスト～振り返り Globe Learning in English & Listen 3 選挙と投票やテレビニュースを通じて、平和や人権問題を知らう 【G】【L】選挙 人権 単元テスト～Unit4振り返り	

	中1【160】	中2【160】	中3【160】
10月	<p>Globe 7 日本文化を紹介しよう That is Kaito. Do you know him? / That is Meg. Do you know her? / Which does she speak, English or Japanese? She speaks English. / Is this your ticket? Whose ticket is this? It is mine. 【L】自分達の国の文化の良さ</p> <p>英検IBA Globe Trial & Listen 体調をたずねたり、伝えたりしよう</p>	<p>(1)東川町の福祉(社会福祉) (2)旭川福祉専門学校介護実習体験 (3)カナダ出身JETsからカナダの福祉について聞く (4)東川町に必要なオリジナルUDを考える (5)UD商品を考え、美術家の授業にて粘土等で作成する。 (6)オリジナルUD商品について発表する(美術家の道具を提示) GlobeScene5道案内 単元テスト～Unit5振り返り 後期Aテスト～テストの振り返り</p>	<p>Globe5 平和や人権の大切さについて考えよう About 7,000 languages are spoken in the world. / I found a picture on the internet. / This is a picture i found on the internet. / Ghandi is a man who has influenced a lot of people. / This is a movie that (which) makes people happy. / This is a picture that (which) i found on the internet. 【L】【G】人権 世界平和 ガンディ 総合B～振り返り Globe Write グラフや表の活用 【C】資料の読み取り 後期Aテスト～Unit3,4振り返り</p>
11月	<p>Globe 8 楽しいパーティーを企画して招待しよう I watch TV every day. I am watching TV now. / Are you taking a picture? Yes, I am. / What are you doing? I am writing a birthday card. / How nice! / What a cute bag! 【G】世界のいろいろなパーティ</p> <p>学カテスト～Globe7までの振り返り 後期Aテスト～Globe8までの振り返り</p>	<p>Globe 6 世界で知られている日本の文化を紹介しよう There is a cushion on the stage. / Is there a special stage set? / We enjoyed listening to rakugo. / Playing soccer is fun. ※東川町の日本語学校に通っている外国人留学生と交流を行い、世界では「日本文化」はどのように知られているのかを調査する【C】 ※世界で知られている日本文化の一つ取り上げて、その内容を調べて7～8文の英文にする。 【G】←社会科との連携:地理・歴史分野【L】 ※発表交流を行う(各班にALTが1名ずつ入る) Globe Scene6詩 単元テスト～Unit6の振り返り Presentation2 町紹介【L】Globe2と連携 単元テスト～Unit6振り返り</p>	<p>Globe6 世界の教育問題について考えよう I can't go to school. / I wish i could go to school. / I don't have pens and notebooks. / If i were you, i would ask my friends for help. / If i had a school backpack, I would donate it. / Many things that we see every day come from overseas. 【G】【L】国際協力 教育格差 フェアトレード 100人の村の世界</p>
12月	<p>Globe Trial 5 道案内をしよう(ALT招集型) How can I get to ~? / Please tell me the way to ~.</p> <p>Globe Read 1 Let's climb Mt. Fuji 【L】世界遺産としての富士山</p>	<p>Globe Reading 2 Try to Be the Only One ※沖縄での戦争や歌などを通じて時代背景を確認し、伝記を読み内容を理解する 【L】←社会科・音楽科との連携</p>	<p>総合C～振り返り Presentation3 中学校生活の思い出を発表しよう 【L】【C】自分の中学校生活の思い出について、原稿を作り、AIRやCIRに英語で発表する。</p> <p>単元テスト～Unit6振り返り 3年生振り返り①</p>
1月	<p>Globe 10 冬休みの思い出を伝え合おう I visit the museum every Sunday. I visited the museum last Sunday. / I see fireworks every summer. I saw fireworks that night. / I got up early yesterday. Did you get up early yesterday? Yes, I did. 【G】イギリスと日本の文化の違い</p>	<p>Globe 7 The Movie Dolphin Tale The dolphin is larger than the tuna. / The blue whale is the largest of all animals. / This movie is more popular than that one. / This movie is the most popular in Japan. Miho is my best friend. / Miho swims as fast as Yuji. ※ゴミ問題の対策について調べてまとめたり、発表を聞いて、問題の対策を考えることができる。(食品ロス対策、5つのR、テラサイクル、サステナブルラベル、ゴミ分別)【G】 Globe Scene7買い物 まとめと学習・学び方コーナー3 後期Bテスト～テストの振り返り Presentation3 ※好きなこと・もの【G】 単元テスト～Unit7振り返り</p>	<p>Globe Debate ディベートをしよう 【G】【L】賛成・反対に分かれてディベートを行う。</p> <p>後期Bテスト～振り返り Globe reading2 エネルギー問題について考えよう SDGs 7番 【L】【G】エネルギー問題 持続可能なエネルギー 3年生振り返り②</p>
2月	<p>Globe 11 1年間の思い出をスピーチしよう Were you a starter in the last game? Yes, I was. / Is there a campground near the lake? Yes, there is. There are outdoor kitchens, too. / I am playing soccer now. I was playing soccer then. /</p> <p>【L】1年間の生活、学校行事、スピーチ 後期Bテスト～Globe 11まで(1年間)の振り返り Globe Trial & Listen レストランで注文しよう</p>	<p>Globe Learning in English 物語を読み取ろう</p>	<p>学カテスト～振り返り Globe reading3 A Graduation Gifts from Stive Jobs 【L】【G】スティーヴ・ジョブズ コンピュータ 会社 死 3年生振り返り③</p>
3月	<p>Globe Read City Lights 【G】喜劇王チャップリン</p> <p>タイの語学留学生との交流</p>	<p>Globe Trial 2 相手に教える(道案内) ※5～6名のALTが面接官になって、日常会話や場面カードに応じた会話(やり取り)を行う</p> <p>Globe Reading 3 再生可能エネルギーについて ※発展途上国と再生可能エネルギーについて ※SDGs4番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」について調べ、問題点と改善策を各国政府の取組を参考に、3～4文の英文を作る【G】</p> <p>※年度内に「英検IBA」実施</p>	<p>1年間のまとめ Globe1～Globe6まで</p>

Globe年間指導計画（全学年）

（北海道東川高等学校）

	1年【150】	2年【150】	3年【100】
月	学 習 内 容	学 習 内 容	学 習 内 容
4	中学校の復習 1 be動詞・一般動詞の用法 疑問文の用法	基礎学力テスト L9 Dick Bruna 関係代名詞 ディックブルーナーの 社会的な役割	基礎力診断テスト L1 Staying in Space 受動態 be動詞を用いない第2文型
5	中学校の復習 2 進行形の用法 過去形・未来表現の用法	L10 Tsujii, the great pianist 関係副詞・形式主語It 偉業達成の努力の 大切さを感じる 文法のまとめ	L3 Farm in the Sky 疑問詞＋不定詞 現代の農業課題の理解 農業課題に対する提案
6	中学校の復習 3 助動詞の用法 修飾表現 1 学期期末考査	1 学期期末考査	1 学期期末考査
7	中学校の復習 4 第4文型の用法 第5文型の用法	L11 Ideas from Nature 分詞構文 自然との共存を考える 暮らしに役立つことを学ぶ	L4 Goal Setting 分詞構文 目標設定の仕方の理解 目標設定の英語による表現
8	L1 Kerama Blue be動詞・一般動詞の用法		L5 The High School Student Restaurant
9	L2 Cool Japan 疑問文・現在進行形の用法 国際理解探求学習 2 学期中間考査	見学旅行時のプロジェクト 2 学期中間考査	形式主語itを用いた文 働く意義の理解 働く意義に関する表現活動 2 学期中間考査
10	L3 Mexican Dishes 過去形・助動詞の用法 L4 The Olympics 目的格に節を持つ第3文型 第4・5文型	L12 Steve Jobs 仮定法過去 ジョブズの言葉や 生き方を学ぶ	L6 Why Is It That Shape? 関係代名詞what 産業デザインについての理解 L7 Fuji, a Dolphin With a New Fin
11	L5 Baobabs in Madagascar 不定詞の用法 L6 Toothbrushing in Edo 動名詞の用法 2 学期期末考査	Re The little Prince 鑑賞する L1 Birthday, Here and There 疑問詞で始まる節 Ifで始まる節 2 学期期末考査	L8 Do We Need That? 使役動詞構文 海外視線で日本の各種サービスを捉え直す 2 学期期末考査
12	中学校の復習 5 不定詞の用法 動名詞の用法 現在完了形の用法	L2 The Emerald Isle 比較級 原形・比較・最上級	L9 Changing Feelings 関係詞の継続用法 本文理解を通して自身の 感情の扱い方を顧みる
1	L7 Machu Picchu 現在完了形の用法	基礎学力テスト L3 The Sagrada Família 名詞を修飾する過去分詞 名詞を修飾する現在分詞	学年末考査
2	L8 Motala and Landmines 受け身の用法 学年末考査	学年末考査	
3	中『既習事項の復習	L4 Nobel Prize Episodes 知覚動詞構文 V + O + to do	

④単元指導計画（カリキュラム）の作成

(ア) 単元名

扱う英語表現を中心とした英語表記と単元のゴールをイメージしやすい単元名とする。

(イ) 単元目標

「目指す子供像」の該当学年の目標を単元に合わせて設定する。また、小学校では、特にローカル、グローバルの思考・判断・表現の重点単元には、印を付ける。

(ウ) 言語材料

新出表現・既出表現を明記し、ターゲットとなる表現を明らかにする。

(エ) CAN-DO

外国語の5領域（やりとり・発表・聞く・書く・読む）でどこまで目指すのか、明示す

(オ) 時間ごとの目標と活動例

単元の目標を一単位時間に落としこみ、活動例を示す。

⑤指導体制

ALTを各学校に配置し、授業には、ALTが極力入る体制を整える。

(ア) 幼稚園…担任・ALT 2人

(イ) 小学校…学級担任・ALT・JTE・特別支援学級担任

複式学級を2学年に分けて行う場合は、学級担任・特別支援学級担任

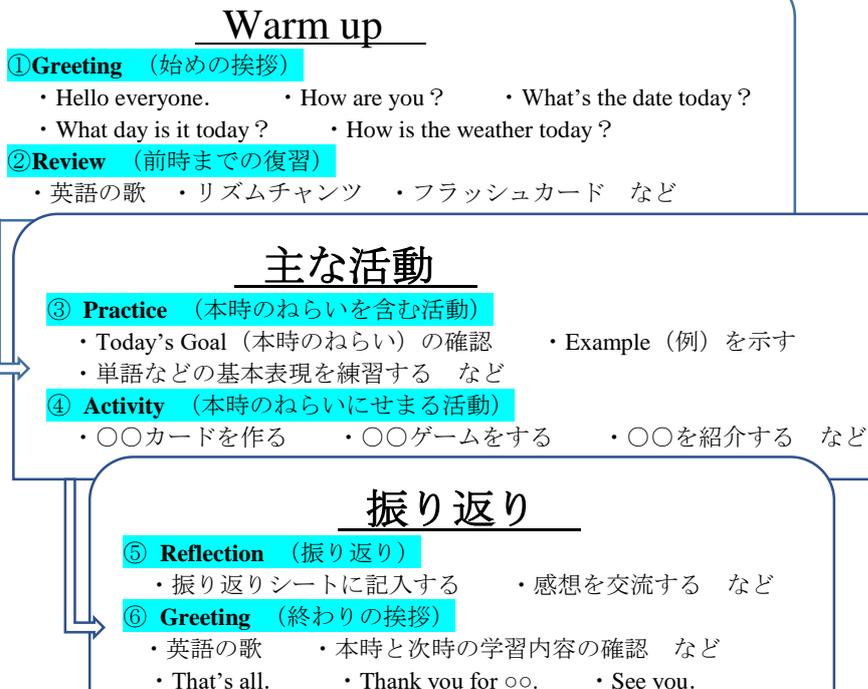
(ウ) 中学校・高校…教科担任・ALT

⑥1 単位時間の流れ

おおそ次のような順序で単位時間の流れを設定し、児童・生徒が毎時間の学習の流れを把握できるようにした。主な活動の始めには、今日の目標「Today's Goal」を確認し、本時の学習内容や評価基準を確認する。Activityは、本時のねらいを達成させる中心活動として設定する。また、単元のねらいにつながっていることを意識した活動とする。Reflectionは、本時のねらいが達成できたかを振り返ることができるように設定した。そうすることで、「何のために何を学習していくのか」など、見通しをもって学習することができる。と考

単元指導計画 4年 Globe 6

単元名(時数)	This is my day. 世界の子ども達の一日を調	(ア) 単元名
時期	11月～12月	
単元目標	【知識】 ・自分の生活を改めて見つめ直したり、世界の四年生の子ども達の生活を知り、相違点や特徴などの違いを調べる。 【技能】 ・自分の生活について、相手に伝える工夫をしながら、友達や世界の友に伝える。(G) 【学び】 ・世界の子ども達の過ごし方についての理解を深め、おぼたことを友達と協力して、 ・世界の子ども達の一日の生活をニューズ紙面をして、調	(イ) 単元目標
言語	新出表現・語彙例 wake up, brush my teeth, go to school, go home, take a bath, wash my face, have breakfast, check my school bag, leave my house, take out the garbage, take a bath, do my homework. 既出表現・語彙例 What time is it? It's (8:30). I, you, up, go, do, a, get (1-60), 曜日, 時間	(ウ) 言語材料
Can-do	聞く □ 料理に関するまとまりのある話ができる。 話す(発表) □ 自分の生活時間を紹介することができる。	(エ) CAN-DO
時間ごとの目標【知/思/学】		(オ) 時間ごとの目標と活動
1	自分の生活時間と他国の生活時間を比べる。【知】 ①世界のこどもの生活時間の資料をみながら見る。 (資料例：子ども地球ナビー全校授業Globe参観) ②驚いたこと、疑問に思ったこと、知りたいことを発表する。	
2	自分の生活時間と他国のこどもの生活時間を比べ、相違点や共通点に気付く。学習計画を立てる。【知】 【学習計画を立てよう】(LG) ①世界のこどもの生活時間の資料を基ごとに調べる。 (資料例：子ども地球ナビー全校授業Globe参観) ②驚いたこと、疑問に思ったこと、知りたいことをまとめる。	



⑦その他

(ア) 個への支援

令和2年度、4月のアンケート（3年生以上）では、Globe 嫌いの児童が各学級に1割前後の割合で存在していた。理由の記述は、「英語について自信がない」「英語が嫌い」「人と話すのが恥ずかしい」というものであった。4月当初にとったアンケートをもとに、Globe を苦手とする児童とその理由を表にまとめた。表では、Globe を苦手とする児童を青、好きな児童をオレンジで表し、指導者が明確に把握できるようにした。

そして、「Globe が好きですか」のアンケート項目の回答が「3 やや思わない」「4 思わない」の児童・生徒に、手立てを講じた。毎週行われる打ち合わせの中で、学習内容に合わせて、その児童・生徒にあった手立てを、学級担任、特別支援担当、JTE、ALT が共に考えていく。具体的には、「チーム編成の考慮」「担任と JTE と ALT の役割分担と支援する児童の明確化」「困難への見通し及び学習方法の自己選択」「単元ゴールの明確化と練習時間の十分な確保」「ワークシートによる学習内容の明確化」「イラストなど視覚的情報の効果的活用」などが挙げられる。

また、変容が見られた取組について記録を残していった。

その結果、Globe への苦手意識をもっていた児童が、秋以降の学習では、意欲的に学習へ参加する姿が見られるようになり、苦手意識が強かった児童も、日本の遊びを世界の方に進んで伝える姿が見られた。また、アンケートの結果から、Globe への苦手意識をもつ児童の人数が減少した。

4月から11月の変容の様子

4年1組	特別支援	①心算は好き？	理由	②日本・東川のよさ？	③日本や東川を他国の人にしてもらいたい？	④他国の人と友達になりたい？他国を知りたい？	⑤他国の文化を理解しようとしている？
		1	外国のことについて調べてゲームも楽しいから	1	1	1	1
		1	色々な表情をくれるし、外国の人がいろいろ話す	2	1	1	2
すずらん		3	めんどいから	2	4	1	2
		3	英語が苦手だから	2	2	1	3
		1	音楽にゲームをするから、英語の勉強が好きなから。	1	1	2	2
どひり		4	英語がわからないから	1	3	2	1
どひり		3	人に英語で話しかけるのが苦手	3	1	1	2
すずらん		4	英語はよくわかる	1	1	2	1
		2	歌や遊びが面白い	2	3	2	1
どひり		2	色々な国の人と話せるから	2	3	2	1
		1	ゲームができる、色々な企画が面白い	1	1	1	2
		1	日本の友達と話せるから	1	1	1	3
		1	ゲームもあるし英語もいろいろ話せる	1	1	2	1
		1	色々なゲームがあるから	1	2	1	2
		1	ゲームができるから	3	1	1	2
		2	そもそも英語は苦手、でもゲームは面白い	1	4	2	3
		2	英語でゲームができるから	1	1	4	1
すずらん		2	ゲームの時間が楽しい	2	1	2	1
どひり		1	外国の人と話せる	1	1	1	1
		1	色々なゲームや色々な人に話せるから	2	3	2	2
		1	英語を勉強できる	1	2	2	1
		1	世界のことだから	1	1	1	1
		1	大人になっても役立つから	2	1	2	1
どひり		1	楽しみだから	2	1	2	4
		1	ゲームが楽しい、英語はそんなにわからないけど	1	1	2	1
すずらん		3	英語がめんどい	1	1	2	4
		1	いろいろな国の人と話せるから	2	1	4	2
		3	あまり英語がわからないから	2	1	3	2
		1	英語で外国の人と話したい	2	1	1	1
		4	歌や歌うのがめんどい、楽しいゲームなどがある	2	3	4	2

個への手立てシート

個への手立てシート 年 組

名前

こんな子（学習のバリエーションとなるもの）

手立てを打たなければ将来こうなる

手立ての具体（場面・方法）

備考 振り返り

名前

こんな子（学習のバリエーションとなるもの）

手立てを打たなければ将来こうなる

手立ての具体（場面・方法）

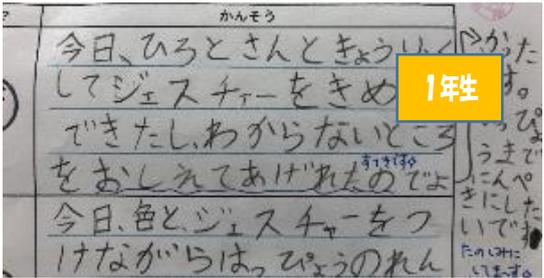
備考 振り返り

8月	いろいろな取組をするが、やりたがらない態度が目立つ。
9月	アルファベットビンゴには、やはり興味を示した。また、アルファベット探しプリントにも興味を示し、取り組むことができた。
10月	アルファベット人文字～参加できた。発話することは少ないが、今までの参加の姿勢とはちがいで、一緒に活動することが増えた。 What's this クイズ～自分の好きなカブトムシをクイズにすると、グループ内で進めることができた。

小学校第3学年児童の記録例 授業の様子と手立て

(イ) 同内容異程度指導

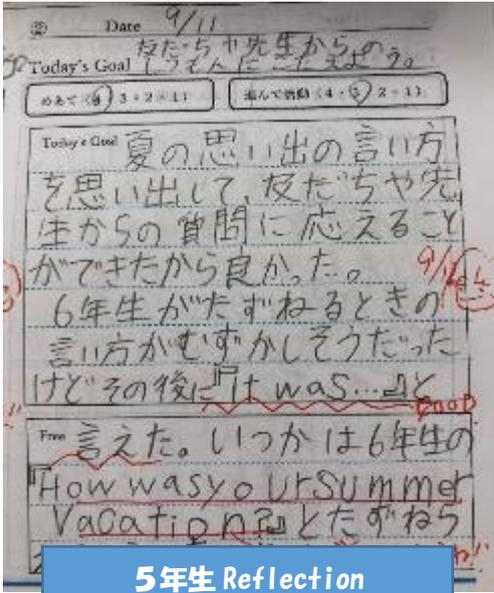
東川第一小学校では、Globeの授業では、多くの人と関わる中で、目指す資質・能力が育つと考え、同内容異程度指導を行っている。同じ教室で2学年が同じ内容を学習するので、学習の目的に応じて、異学年混合のチームを組んだり、異程度の目標を設定して活動をしたりした。異学年のチームでの学習では、上の学年が下の学年をサポートする姿が多く見られた。



1年生

前年度の研究の反省で、「同内容異程度指導での目標設定をしっかりとすべきだ。」ということがあがられ、昨年度からは、教師側で異程度の目標をおさえるだけでなく、子供たちにもわかりやすくはっきり提示するよう改善した。

5・6年の「Summer vacation in the world」の授業では、単元ゴールは同じであるが、そこに至る過程の授業では目標を学年ごとに設定し、毎時間子供たちに提示し、はっきりとした違いを確認してからPracticeに入った。そうすることで自分が何をできるようになればよいのかが明確になり、PracticeやActivityでも自分の目標に向かって努力する姿が見られた。そして、子供たちがそれぞれ目標を理解しているので、活動の中での指示も端的にすることができた。さらに、下の学年が上の学年の目標に達したいと努力する児童もいて、複式のよさを感じる事ができた。



5年生 Reflection

3. 指導計画 (11時間)

時	5年	6年	要素
1	ALTの夏休みの日記を聞いて内容を理解することができる。		【L・学】
2	夏がどうだったか伝える言い方を知る。	夏がどうだったか尋ねたり答えたりしよう。	【C・知】
3	夏の思い出がどうだったか伝える言い方に慣れる。		【C・知】
4	夏の思い出を聞き取ることができる。	カードを見て夏の思い出を伝えることができる。	【C・知】
5	自分の夏に行った場所、したこと、感想を考えることができる。		【L・思】
6	友だちからの質問に答えることができる。	友だちに夏の思い出についてたずねたり答えたりすることができる。	【C・知】
7	夏の思い出を伝える準備をすることができる。		【L・思】
9	夏の思い出を、相手に伝える工夫を入れて、友達に伝えることができる。		【C・思】
10	ALTやCIRの先生に夏の思い出を発表したり、世界の夏について知ろうとしたりする。		【G・学】
11	世界の夏について教えてもらったことを交流する。		【L・学】



5年は指されたものを答える



6年は指さして尋ねる

(ウ) 極小規模校

東川第三小学校では、毎週 Globe の打ち合わせ日を設定し、担任などの指導者と ALT が協力して授業づくりを進めている。打ち合わせの際には、前時だけでなく前年度の子供の様子や反省も生かして計画を立てて実践し、反省を次時につなげていくというシステムができています。

各学年の児童は 1～5 名で、授業時間内の児童一人当たりの発話は多く、HRT (兼 JTE)、ALT そして STE が同時に指導や支援を行うことができ、児童対指導者がほぼマンツーマンの授業体制を組むことが可能である。さらに、子供たち一人一人へのきめ細やかな指導及び評価を行うことができる。

課題は、同学年の友達同士の会話やインタビューといったコミュニケーション活動はマンネリ化し、



SWITCH ON の中で Writing Activity を行う 3 年生。書き方を体全体を使って覚える。



児童 4 名に対し、HRT、ALT、JTE が指導にあたる 2 年生の授業環境。手厚い指導ができる。

すぐに終わってしまうという点である。また、カリキュラムを作成する際に想定されていたジャンケンやフルーツバスケットなどのアクティビティができないことやアクティビティの選択肢が限られるということもある。「SWITCH ON」は、そうした Globe 授業の課題を解決することができる教材として、本校では継続して活用している。日常生活の一場面を切り取ったストーリーや歌、フォニックスなどは楽しく 1～4 年生では授業のウォーミングアップとしてだけでなく、出てきたフレーズを発表の場面でも活用しようと試みた。また、高学年は学習したフォニックスのルールを使って SWITCH ON の Reading を行うなど、学年ごとに工夫

して授業の中に取り入れてきた。SWITCH ON を 2 年間継続して活用してきた児童は、確実に英語に慣れており、発音もよくなり、新しい単語を耳にしても聞き取ることができるようになったと感じる。特に今年度は、子供たちに役割を与えて、聞き取りを重視したり、口の動きに着目させたり、発表の場で使えるフレーズを想起させたりするなど工夫し、授業の中に確実に SWITCH ON を位置づけた授業スタイルを確立することができた。

単元作りにおいては、CAN-DO リストをもとに、子供たちに付けたい力を具体化し、伝えることをゴールとした単元構成を行ってきた。

(3) 評価方法

① 1 単位時間の評価 リフレクションシート

自分の学習を振り返り、Reflection (振り返り) シートに、本時のToday's Goalの達成状況を書かせ、「ローカル」、「グローバル」「コミュニケーション」要素から3つの資質・能力(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に向かう態度)を加味した評価を行う。

Reflectionシートを用いて、子供たちが自己評価を行う。低・中・高の発達段階に合わせて、記述する項目や量を加味しながら行っている。また、それぞれの単元の交流やまとめの時間などには、指導者4人が評価シートに記入したり、活動している様子を動画で撮影したりしておくなど、一人一人を見取る工夫をしている。昨年度の反省ではReflectionでじっくり書く時間を確保できていないことがあげられていた。毎時間のReflectionは短時間で振り返られるように指導すること、単元の終わりにじっくり学習や交流の振り返りをできる時間を確保するなど改善を図っている。Reflectionを書く時間をできるだけ確保するだけでなく、どんなことができたなら目標達成かなどのアドバイスを教師側から行ってから書かせるなどして、自分の学習をしっかり振り返られるよう指導をしている。また、子供たちの書いたものを発表して交流する時間を設けるなどしたことで、何を書こうか悩んでいた児童も自分の学習を振り返ったり、友達の良いところを書いたりできるようになってきている。

1 年生 リフレクションシート

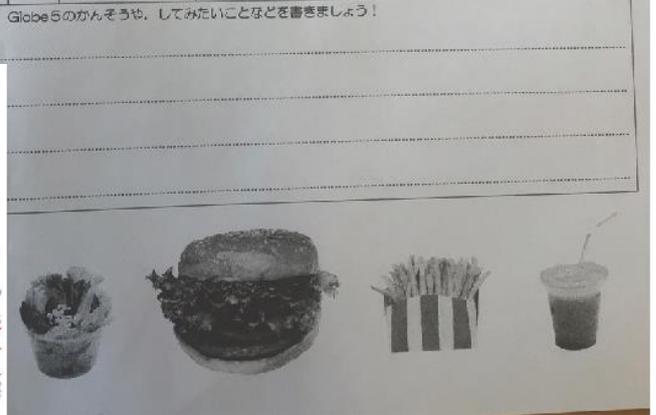
あたまたち	9 がつ	からだのぶぶんを えいごで いあう!	たちようゲームがたの しかった。いっぱいえ いごをいた。
2	2 ち	😊 😊 😊	
サマー	8 がつ	みつけたなつを えいごで いってみよう!	えいごでなすがにがた だったけどいっぱいいう といえるようになった。
2	26 ち	😊 😊 😊	

2 年生 リフレクションシート

Date	Today's goal	I try my best!	I can... I think...
1	◆メニューと サイズを れんしゅうしよう!	◆すすんで 活とうしよう!	みんなとして楽しめた。お友達も楽しめた。うれしかった。
2	◆かきものゲームを れんしゅうしよう!	◆すすんで 活とうしよう!	お金をいえてうれ かった。おかわもい えるようになった。
3	◆「オリジナルラッキ ーセット」をかんせ いさせよう!	◆すすんで 活とうしよう!	みんな楽しそうに できてくれた。おみせ やさんにもおしゃべり した。

小学校中学年用リフレクションシート

	Today's goal	効率的に やる	満ちた 気持ち	振り返り
1	Date 4/26 食べのやす ぽーりのシロ いかを考 えよう	😊 😊 😊	😊 😊 😊	あんなにいいもの なるべく考えて言いました。 ねえ、は今日なんを2つにわ けたか理由を考えたら本日 語りにしているのもあってびっくり しました。
2	Date 5/7 何がさか たかおたり 盛えたりする 方法を しよう	😊 😊 😊	😊 😊 😊	自分かき、言うのいなくて、 くだもの中の何がさかたか、 いろいろな言い方をしれてよか かったです。ゲームが楽しかった ですよ。リズムののりで楽しめた。
3	Date 5/10 何がさか たかおたり する方法を になれよう	😊 😊 😊	😊 😊 😊	なれるためのいいはい何回 も言いました。 今日になつさんとそう言ってく います。はるかさん、リフレクシ ョンして あっているのをわたのでうれ



Globe4

Who's this Quizをしよう!

Grade	Class	Number	Name

Date	Today's goal めあて	めあてが できたか		振り返り			
		できた	できなかった	わかったこと	考えたこと	やってみたこと	やってみたいこと
1	Globe4の内容を確認しよう	4 3 2 1	4 3 2 1				
2	できること、できないことをたずねたり、答えたりしよう	4 3 2 1	4 3 2 1				
3	楽器ができるかできないかをたずねたり答えたりしよう プロフィールカードを作ろう	4 3 2 1	4 3 2 1				
4	自分と相手以外(第三者)の言い方を聞き取ろう	4 3 2 1	4 3 2 1				
		4	4				

Date	Today's goal めあて	めあてが できたか		振り返り	
		できた	できなかった	わかったこと・考えたこと・やってみたこと・やってみたいこと	
1	プロフィールカードを作るためのインタビューをしよう。 Let's make something new! (みんなしろう)	4 3 2 1	4 3 2 1	アイタリーさんはこんなことが好きなんだなあとかここ自分と同じだって分かることがたくさんあったのでとても面白かったです。他の人とも交流して色々なことを知りたいなあと思いました。	

Date	Today's goal めあて	めあてが できたか		振り返り	
		できた	できなかった	わかったこと・考えたこと・やってみたこと・やってみたいこと	
1	プロフィールカードを作るためのインタビューをしよう。 Let's make something new! (みんなしろう)	3 2 1	3 2 1	プロフィールカードを上手に作る事ができそうだ。ナノさんの言っていることが、割と分かったので良かったです。ALTの方にも、新しくきた先生方にも、分かりやすいポスターを作りたいと思います。ウズベキスタンダンスがどうゆうものなのかも分かったので、そのことをポスターに入れたいと思います。今日学んだことを、今後の生活にも生かしていきたいと思います。ジェスチャーを取り入れながら、工夫をして話し合いに取り組みむことができましたと思います。私は、ウズベキスタンのご飯を食べたことがないし、美味しそうなものばかりだったので、是非ともいつかは、食べてみたいと思いました。	

小学校高学年用リフレクションシート

※6年生は、タブレットを使って文章を打ち込み、教師に送っている。



知 識: 現在完了形やSVOCの文の形-用法に関する知識を身につけている。
 障 害: 障がい者スポーツについての理解を深め、パラリンピックの価値や意義やスポーツの力について考えることができる。
 意 義: パラリンピックの価値やパラリンピックスポーツ紹介をするまとまりのある英文を書いて発表したり、相手にたずねたり答えたりすることができる。
 学 び: パラリンピック大会の目標「だれもが受け入れられる社会をつくるにはどうすればいいか、何ができるかを考え、真実で徹底的な態度で生活することの大切さを理解しようとする。パラリンピックの特技や発達について学び、あきらめないことの大切さや、限界に挑戦することの喜びを工夫すればすることができることを増えるということを理解しようとしている。

Date	Goal	Achievement	Opinion
4/23	可能性 (It is POSSIBLE)	5/4/3/2/1	
4/26	パラリンピックの価値や意義について考えること	5/4/3 (3) 1/1	パラリンピックの価値や意義について考えることができた。パラリンピックの価値や意義について考えることができた。パラリンピックの価値や意義について考えることができた。
4/30		5/4 (3) 2/1	
4/12		5 (4) 1/3/2/1	
5/14	パラリンピックの価値や意義について考えること	5/4/3/2/1	
5/18	パラリンピックの価値や意義について考えること	5/4 (3) 2/1	
5/25	パラリンピックの価値や意義について考えること	5/4 (3) 2/1	
5/26		5/4/3/2/1	

中学生 リフレクションシート

名前	英語表現	その他
	<input type="checkbox"/> I went to <input type="checkbox"/> I ate <input type="checkbox"/> I enjoyed <input type="checkbox"/> How about you?	<input type="checkbox"/> 自ら <input type="checkbox"/> サポートあり <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> アイコンタクト
	<input type="checkbox"/> I went to <input type="checkbox"/> I ate <input type="checkbox"/> I enjoyed <input type="checkbox"/> How about you?	<input type="checkbox"/> 自ら <input type="checkbox"/> サポートあり <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> アイコンタクト
	<input type="checkbox"/> I went to <input type="checkbox"/> I ate <input type="checkbox"/> I enjoyed <input type="checkbox"/> How about you?	<input type="checkbox"/> 自ら <input type="checkbox"/> サポートあり <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> アイコンタクト
	<input type="checkbox"/> I went to <input type="checkbox"/> I ate <input type="checkbox"/> I enjoyed <input type="checkbox"/> How about you?	<input type="checkbox"/> 自ら <input type="checkbox"/> サポートあり <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> アイコンタクト
	<input type="checkbox"/> I went to <input type="checkbox"/> I ate <input type="checkbox"/> I enjoyed <input type="checkbox"/> How about you?	<input type="checkbox"/> 自ら <input type="checkbox"/> サポートあり <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> アイコンタクト

教師用評価チェックシート

②単元の振り返り

単元の終わりには、単元を振り返る時間を設定している。各学年の発達段階に合わせて、シートを工夫しながら、共通してローカル、グローバル、コミュニケーションを意識させた振り返りを行う。

Globe2 「アルファベット 世界の文字を知ろう」をふりかえって 名前 ()

東川や日本のこと 東川や日本って「こんないいところがあるなあ！」と気がついたり、しょうかいましたりする。	世界のこと 日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。	英語のこと 他の国の言葉を聞いて少しわかったり
--	--	-----------------------------------

自分が見つけた自分から探して見つけたこと

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

小学校中学年単元の振り返り

Globe2 「アルファベット 世界の文字を知ろう」をふりかえって

東川や日本のこと 東川や日本って「こんないいところがあるなあ！」と気がついたり、しょうかいましたりする。	世界のこと 日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界の人と、かわることができる。	英語のこと 他の国の言葉を聞いて少しわかったり少し話せたりする。絵、音、ジュースチャーターなど工夫して伝える
--	--	--

自分が見つけた自分から探して見つけたこと

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

日本と世界を比べて気がつくことができる。友達や先生、世界とわることができる。

日本には、Pusが胸の物が、漢字、ローマ字がある。ローマ字には、Aホソシカがあるが、Aホソシカが、ホソシカからAホソシカに由来

Aの文字は、ぐにゃぐにゃして、音がみたいな文字もある。母音と子音に分かれている。

Bの小文字は、BのBの二を抜いたらBになる。PとQは、輪と同じだからおぼえやすかった。

国によって文字の形や、まじりは、ちがうだということに気がきましたね。

くふうしておぼえたり、自分なりにくふうして考えるのは、大進歩です。

小学校高学年以上の振り返り

ふりかえりシート

たんけんめい
単元名 夢に近づく時間割を紹介しよう！

5年 組 番 Name

- ローカル(Local)(自分や友達のこと、日本のこと)
- グローバル(Global)(世界のこと)
- コミュニケーション(Communication)(外国語のこと)

Globe3をふりかえって(感想コーナー)

ふりかえりシート

たんけんめい
単元名 Who's this? Quizをしよう！

5年 / 組 番 Name

- ローカル(Local)(自分や友達のこと、日本のこと)
 交流をした時に、ピアノをひけるやじょう道が得意、ちびまる手が好き。など、友達、先生の意外なことがわかった。私がインタビューする時、友達に伝わりさせたため、大きい声ではきはき話したり、いろいろな言葉を覚えていた。
- グローバル(Global)(世界のこと)
 日本では、お兄ちゃんはお兄ちゃん。弟は弟だったのに、外国は、兄弟でbrother(ブラザー)で姉、妹でsister(シスター)と書いていて、びっくりした。また、おばあちゃんやおじいちゃんに、grand father、mather がついていた。
- コミュニケーション(Communication)(外国語のこと)
 学習していると、May I ask you a question? など「What are you good, bad at?」など、覚えておいた言葉を次々と学習して、覚えてから使った。知った知ったのうちは、頭の中に入れて、自然に覚えてきたからうたがった。

Globe4をふりかえって(感想コーナー)

最初は何をやるのかわからなかったけど、だんだん覚えてきて、ゲームをしたり、森先生と交流して、仲が深まった気がした。

③パフォーマンステスト

中学校では、町内のALT、CIR、SEAと連携しGlobe Trialを実施した。英語を母国語とする国の出身の先生方だけでなかったため、様々な英語に触れることができた。（今年度は、アメリカ、カナダ、ラトビア、ポーランド、ミャンマーであった。）昨年度の活動を通して、複数回Trialに挑戦したい生徒がいたことから、今年度も複数回挑戦しても良いという方法で実施した。JETsが生徒の振り分けを行い、毎回異なる先生方とコミュニケーションが図れるように工夫した。評価は、以下のシートを使いALTたちにも表現に関わる内容については評価してもらっている。

中学校での取組から、小学校高学年でもALTと一対一で既習事項を話す機会を設けている。

	Improvisation	Communication	Attitude	Total
Evaluation	0 - 1 - 2	0 - 1 - 2	0 - 1 - 2	5
Criteria	2... Within 10 Sec 1... 10 sec or more 0... No answer	2... Sentence level 1... Words Level 0... No Answer	2... Include more than 3 elements 1... Include one or two elements 0... No	5

生徒たちは、下記のTrialカードを持っており、それをトライアルごとに担当者へ渡す。そのカードには質問内容と生徒のパフォーマンスの評価が記入されているため、担当するALTたちもその生徒に合わせて難易度を調整しながら質疑応答することができる。

Goal <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 95%;"></div>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>【1】</td> <td>☆</td> <td>☆</td> <td>☆</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>【2】</td> <td>☆</td> <td>☆</td> <td>☆</td> <td>☆</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; font-size: small; margin-top: 5px;"> ☆☆☆ Excellent! ☆☆☆ Great! ☆☆ Very Good! ☆ Nice Try! </div>	【1】	☆	☆	☆	☆	【2】	☆	☆	☆	☆
【1】	☆	☆	☆	☆							
【2】	☆	☆	☆	☆							

※パフォーマンステストなど、表現に関わる内容については、ALTが評価をする。
 評価項目を統一し、わかりやすく簡単に評価できるようになっている。

- ・当該単元（題材）以前の学習における観察、テスト、対話等の評価の結果
- ・当該単元（題材）に関わる知識・技能についての面接、テスト、実技等の評価
- ・当該単元（題材）に関わる自己評価などの記述の評価

地球温暖化は多くの問題が引き出されていて、やはり地球温暖化のことをもっと理解して少しずつでも解決していくための手助けができればと思った。今では日本では考えられないけれど他国で起きている問題に興味をもってたくさんの知識を身に付けていきたい。

生徒の自己評価 記述例

④LGC 配分一覧表

小学校では、各学年の単位時間における評価の観点を一覧にした。こうすることで、評価の計画を立てやすくなると思った。高学年では、コミュニケーション要素の5領域も示した。

小学校LGC配分一覧表

3年生			Local			Global			Communication			
時	unit	単元名	知	思	学	知	思	学	知	思	学	
1	Globe1	Hello! あいさつをして友達になろう			○			○				
2									○			
3							○					
4											○	
5											○	
6	Globe2	How are you? 日本のジェスチャー 世界のジェスチャー		○						○		
7												
8											○	
9								○				
10	Globe3	How many? 数えて遊ぼう	○									
11											○	
12											○	
13											○	
14												○
15								○				
16										○		
17						○				○		
18				○				○		○		

小学校LGC配分一覧表

5年生			Local			Global			Communication		
時	unit	単元名	知	思	学	知	思	学	知	思	学
1	1	オリエンテーション			○			○			○
2	1	Globe1 単元名							○		
3	2								○		
4	3								○		
5	4								○		
6	5									○	
7	6									○	
8	7									○	
9	8						○				
10	9						○				
11	10				○	○					
12	1	What events and holidays ...	○								
13	2								○		
14	3								○		
15	4								○		
16	5								○		
17	6									○	

Communication		
知	思	学
聞(読)		
聞(書)		
話や(書)		
話や(書)		
(書)	話や	
(書読)	書	
(書読)	聞・話や	
(読)		
聞(読)		
聞(読)		
話や(読)		
書(読)		
(読)	書	

⑤ ローカル・グローバル要素の評価規準表

最終年度、ローカル、グローバルの思考・判断・表現の重点単元について、評価規準表を作成した。B評価を全ての児童生徒が達成してほしい目標とし、それ以上は何を目指していくのか、明確にし、教師側と児童生徒が共有する。この評価規準をもとに、児童の実態に合わせて、各学校で柔軟に取り組んでいる。このことにより、指導者側は、その単元でローカル、グローバルの育てたい力が明確になり、単元ゴールをイメージしやすくなった。また、児童にとっても、単元の目標や自分が何を頑張るべきかがはっきりとし、主体的に学習に取り組む要因となった。

4年生

評価規準表

中学年 目標	身のまわりの事象への疑問から、他との共通点や相違点を考え、表現することができる。		
Globe4	日本の遊びと世界の遊びの共通点を考える。(LG)		
	A	B	Bに到達するための手立て
評価規準	日本の遊びと世界の遊びの共通点を考え、それぞれのよさについて表現している。	日本の遊びと世界の遊びの共通点を考え、表現している。	一番楽しかった遊びとその理由を考えさせ、他の遊びと類似点を考えさせる。
Globe6	世界の子ども達の過ごし方と自分たちの生活との共通点や違いを考え、わかったことを友達と協力して表現し発表する。(G)		
	A	B	Bに到達するための手立て
評価規準	世界の子ども達の生活や文化の共通点や相違点を考え、それぞれのよさについて表現している。	世界の子ども達の生活や文化の共通点や相違点を考え、表現している。	自分の暮らしは世界のどの子どもの暮らしに一番近いのか、または遠いか考えさせる。
Globe7	東川の給食の特徴について考え、世界の方に、どのような給食メニューを紹介するか考える。(G) 東川の給食と世界の給食の共通点や相違点を考えて表現する。(LG)		
	A	B	Bに到達するための手立て
評価規準	東川の給食と世界の給食の共通点や相違点を考え、それぞれのよさについて表現している。	東川の給食と世界の給食の共通点や相違点を考え、表現している。	食べてみたい世界の給食をいくつか挙げさせ、それらと東川の給食を比較させる。

2. 幼、小、中、高における国際教育や英語教育（コミュニケーション能力）の接続の在り方

(1) 国際教育の接続

①内容面の工夫

研究推進委員会では、SDGs を視野に入れながら、国際的な教養として知っていてほしいことについて話し合われた。内容としては、教科書に掲載されている内容を膨らませることを基本とした。しかし、「海外の文化を知る前に、日本の文化について知ってほしい」「海外の方に日本文化を自信をもって紹介できる子供になってほしい」という願いから、日本文化の学びをカリキュラムの中に取り入れることとした。本町の子供たちは、地域人材を活用する中で海外の文化（Global）に触れる機会が多いが、その際は、日本のこと（Local）について紹介できるように体験活動を入れ、比較したり、双方向で伝え合う活動ができるように単元を構成した。

また、中学・高校で扱う世界の諸問題と、一定の価値観をもつ前の小学校段階で出会わせたいと考えた。例えば、「開発途上国」「障がい者」「ジェンダー」「アイヌ等民族」についてである。小学校でこれらの問題に出会う際には、どれがよい、という視点ではなく、どの文化も需要できるように配慮した。

以下が小学校の単元に入れることにした内容である。

加えた項目	学年・単元	加えた内容	
アフリカ系の方との交流	6年生「伝えよう！私たちの暮らし」	町内日本語学校で学ぶマラウイ出身の方を講師に招き、英語での生活紹介、水運びのワークショップ。	
ジェンダーの学び	5年生「身近な人を紹介しよう」	he she を初めて扱う際に、それ以外の性について触れる。Mr. Mrs. Miss. Mis. について知る。	
アイヌ文化の学び	5年生「あこがれの人を紹介しよう」 「Globe スペシャル」	指導者のあこがれの人として知里幸恵さんを紹介。 (アメリカ出身のALT からネイティブアメリカンのヒーローを紹介) アイヌ文様とラトビア文様を比較しながら学ぶ。	
障がいをもった方との触れ合い	5年生「東川のおすすめスポットを案内しよう」 6年生「パラアスリートの魅力を伝えよう」	ブラインドフルーツバスケットで盲人体験。時刻で方向を示しながら、二人ペアで進む、左右に曲がる等の指示を英語で行う。 パラスポーツ体験。障がいをもつ方とのスポーツを通しての交流。	
日本文化の学び	1年生 Globe スペシャル	日本舞踊 ラトビアのダンス・タイのダンス	
世界の文化の学び	2年生 Globe スペシャル	日本の遊び歌と体を使った遊び 世界の遊び歌と体を使った遊び	
	3年生 Globe スペシャル	和太鼓 韓国の太鼓・世界の打楽器	
	4年生 Globe スペシャル	将棋・百人一首 カナダのチェッカーズ・ラトビアのドミノ	
	5年生 Globe スペシャル	日本のお茶 ベトナムのコーヒー・中国のお茶	アイヌ文様 ラトビア文様
	6年生 Globe スペシャル	着物について・浴衣の着付け 世界の民族衣装（JICA 地球広場訪問）	

② LG 要素の系統表・系統図

内容を学習項目ごとにまとめたものが「学習項目別 系統表」である。ここには、ローカル、グローバル要素の学習内容と、SDG s の視点、他教科との関連を整理した。また、同じ項目を学年ごとに並べたものが「LG 系統図」である。これらの資料をもとに、該当学年が何を学んできたか、また、今後何を学ぶのかを見通することができる。LG の内容に関する系統性については、指導案にも表示することとした。「文化」「食文化」「地元東川」「学校・教育」「環境」「平和・福祉」「自分自身のこと」「世界の諸問題」などのカテゴリーにわけ、他教科他領域との関連、SDG s との関わりを整理した。

学習項目別 系統表

Local						Global									
学習項目	学年	月	単元	単元名	取り扱う内容・題材	SDG s	他教科・他領域	学年	月	単元	単元名	取り扱う内容・内容	SDG s	他教科・他領域	学習項目
世界の諸問題	小4	1月～3月	Globe8	This is my day 世界の子供たちの一日を調べよう	日本の表現を知り自分の生活時間を紹介する。	17	国語	小4	1月～3月	Globe8	This is my day 世界の子供たちの一日を調べよう	日本の表現を知り自分の生活時間を紹介する。	17	国語	世界の諸問題
	小5	8～9月	Globe4	クイズを作って身近な人を紹介しよう	身近な人や先生を題材にHe/Sheを使ってクイズを作る。He/She以外の人やMr./Mrs./Miss/Ms.について知る。	5	国語	小5	8～9月	Globe4	クイズを作って身近な人を紹介しよう	身近な人や先生を題材にHe/Sheを使ってクイズを作る。He/She以外の人やMr./Mrs./Miss/Ms.について知る。	5	国語	
	小5	6～7月	Globe3	夢に近づく時間割を紹介しよう	なりたい職業に近づく理想の時間割を考える。	4	道徳 特別活動 社会	小5	6～7月	Globe3	夢に近づく時間割を紹介しよう	世界の学校について調べ、学校へ行けない子や遠くの学校に通う子、校舎をシェアしていることを知る。	4	道徳 特別活動 社会	
	小6	2～3月	Globe8	あこがれの人を紹介しよう	自分のヒーローを紹介する。自国や郷土のヒーローや、偉業となる文化を理解し、よさを知る。アイヌ文化に触れる。	8 9 11	道徳	小6	2～3月	Globe8	あこがれの人を紹介しよう	AIJに出発国のヒーローについて紹介してもらう。少数民族について知る。世界に紹介したい日本人のヒーローについて考える。	8 9 11	道徳	
	小6	5～6月	Globe2	How is your school life? 伝えよう	自分たちの暮らしを伝え、世界の人の暮らしについて考える。	1 4 10	家庭科 道徳	小6	5～6月	Globe2	How is your school life? 伝えよう	自分たちの暮らしを伝え、マラウイの生活を知り、世界の人の暮らしについて考える。	1 4 10	家庭科 道徳	
	小6	8～9月	Globe9	What do you want to watch? パラオスリートを紹介します	パラオスリートを体験し、日本のパラオスリートのすごさを紹介する。	3 10 16	道徳 社会	小6	11～12月	Globe7	Let's think about our food 世界の料理	世界の食糧事情を知る。野菜を通して世界のつながりや考え、メニューを発表する。(※文化)	2	道徳 社会 家庭科	
	小6	10～11月	Globe6	We all live on the Earth 食料連鎖について	東川に暮らす生き物について考え、そのつながりやボクスターにまごめ発表する。(※地元)	11 13 14 15	理科 道徳	小6	10～11月	Globe6	We all live on the Earth 食料連鎖について	東川に暮らす生き物について考え、そのつながりやボクスターにまごめ発表する。(※地元)	11 13 14 15	理科 道徳	
	小6	2～3月	Globe9	My Future.My Dream 夢や中学校生活への抱負をスピーチしよう	中学校生活や将来について考え、夢を発表する。	17	国語 特別活動	小6	7～8月	Globe4	Summer Vacations in the World 世界と日本の夏休みについて	夏休みの思い出を紹介しよう。世界と日本の夏休みの違いや楽しさについて知る。	17	特別活動	
	中1	11～12月	Globe9	世界や地域の諸問題について考えよう	世界や地域の諸問題について考え、SDGs	7 9 11 12	道徳 社会 国語	中1	11～12月	Globe9	世界や地域の諸問題について考えよう	世界や地域の諸問題について考え、SDGs	7 9 11 12	道徳 社会 国語	
	中1	4月～	中1	世界の教育事情	学校に行けない子どもたちがいると	1 3 4	国語 道徳	中1	4月～	中1	世界の教育事情	学校に行けない子どもたちがいると	1 3 4	国語 道徳	

LG 系統図 (黄色はL、緑はGで表示)

	幼児・年長	小学校 1年生	小学校 2年生	小学校 3年生	小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高校 1年生	高校 2年生	高校 3年生	
文化	自分の国と世界について	6.3 世界の国々について 6.5 いろいろな国や文化について	6.2 世界の国々について 6.3 世界の国々について 6.4 世界の国々について 6.5 世界の国々について 6.6 世界の国々について											
	外国に興味があること	6.3 いろいろな国や文化について	6.2 世界の国々について 6.3 世界の国々について 6.4 世界の国々について 6.5 世界の国々について 6.6 世界の国々について											
11 日本を代表する文化や伝統について知る		6.5 いろいろな国や文化について	6.2 世界の国々について 6.3 世界の国々について 6.4 世界の国々について 6.5 世界の国々について 6.6 世界の国々について											

③Globe 別業

各学年ごとに他教科、他領域との関連を示した「Globe 別業」を作成した。他教科、他領域と GLOBE の学びがどのようにつながっているのか、指導者が把握して授業にのぞむ。また、中学校、高校では、他教科の教師が GLOBE の学習内容を知り、指導に生かすことができる。

小学生 5 年生別業

Globe 全体計画別業 Globeと各教科、領域の指導内容と時期との関連(5年生) 東川小

高学年の 目指す 子ども像	Local	知識・技能 自分の地域や国の自然や歴史、文化を理解し、良さを知っている。 思考判断表現 様々な事象について自分の考えをもち、身のまわりの事柄に対する公平な判断力を身につけるとともに、自分自身のことや自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 学びに向かう人間性 集団活動に意欲的に参加し、自分の役割を自覚し、責任をもちとらるとともに、自分を大切にし、自分の地域や国の伝統や歴史、郷土を愛する心をもっている。											
	Global	知識・技能 他国や他民族等のさまざまな文化について知るとともに、我が国と他国の文化の違いを理解している。 思考判断表現 問題意識をもち、その問題に積極的に関わり、仲間と協力しながら課題を解決し、構成を考えながら、順序立てて表現することができる。 学びに向かう人間性 どの国・民族の文化でも尊重し、だれに対しても公平に接するとともに、自国から人との関わりを大切に信頼関係を築くこと、寛容で協力的な態度で生活していくこととする。											
	Communication	知識・技能 外国語の音声や文字、発音、構成、音韻の働きなどについて、日本語と外国語の違いを比べ、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、書くこと、読むこと、話すこと、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて得意な基本的な技能を身につけている。 思考判断表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて得意な表現について、思いやりを示すとともに、言葉で十分に表現し、また外国語の発音や基本的な表現を積極的に学び、積極的に表現し、自ら表現し、自分の考えや気持ちを伝えたいとすることができるようにしている。 学びに向かう人間性 外国語の音楽にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。											
	内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Globe	1 Hello, friends. 自己紹介をしよう	2 What is the event? 東川の行事を紹介しよう	3 What do you want to study? 夢に気づく時間制を紹介しよう	4 Who's this? クイズを作って身近な人へ紹介しよう	5 This is my town. 東川の観光スポットをおすすめスポットを案内しよう	6 What would you like? 金園うまいもの市でおもてなし	7 Welcome to Japan. 日本のお茶や行事や文化を紹介しよう	8 Who is your hero? あこがれの人を紹介しよう	9 味わってみよう! 日本のお茶 世界の花茶(年間)				

Globe全体計画別業 Globeと各教科、領域の指導内容と時期との関連(3年生) 東川高

3 学年の 重点目標	Local	知識 自分の地域や国の文化とその背景を理解する 思考判断表現 確立した自己と公平な判断力に基づき、根拠を持って自分の意見を述べるができる 学びに向かう人間性 社会における責任や自覚の可能性を自覚し、自己肯定感を持って活動していくことができる 他国や他民族等の文化を尊重し、多様性を認めることで異なる価値観に理解を示す										
	Global	知識 国際社会の課題について多様な観点から思考・判断し、解決に向けた提案が出来る 思考判断表現 多文化共生社会の一員として、社会に参画し貢献しようとする姿勢を示す 学びに向かう人間性 外国語の理解を深め、4 技能を活用してコミュニケーションを取ることが出来る										
	Communication	知識 多様な内容に基づく情報や考えを伝え合い、話し合ったことを活用して自ら発言出来る 思考判断表現 多様な内容に基づく情報や考えを伝え合い、話し合ったことを活用して自ら発言出来る 学びに向かう人間性 配慮を持ったコミュニケーションを取りつつ、言語や文化に対しても関心を示す										
	内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
Globe	Lesson 1 言葉で伝える	Lesson 3 年中書簡	内内取材活動	Lesson 4 新編歌集		Lesson 5 高校をレストラン	Lesson 6 モノの形	Lesson 7 つづ、新しいつづ	Lesson 8 のいふこと	Lesson 9 つづは必要の		
国語	現代文	山形県へのあひらを学び自己の目標の発見										
歴史	日本史											
公民	政経											
数学	数学II 数学B											
理科	物理基礎 地学基礎											
保健	体育											
芸術	音楽											
家庭	子どもの発達と学習											
情報	社会と情報											
職業	—											
探究の時間												
特別活動	学校活動											
生徒会活動												

高校 3 年生別業

(2) コミュニケーション能力の接続

① クラスルームイングリッシュの統一

幼児センターから中学校までのクラスルームイングリッシュを統一し、段階を追ってレベルアップを図っている。このことで、幼児センターから小学校、小学校から中学校へ、抵抗感なく授業に参加できると考えた。また、小学校で扱った反応 (Response) についてまとめ、中学校へ引き継いでいる。この他、授業の中で扱った歌や言語活動についても、幼児センターから小学校、中学校、高校までのワーキンググループが共通理解している。このように既習事項と新たに指導することをはっきりさせることで、効率よく指導計画を立てることができている。

【クラスルームイングリッシュ】

	幼児センター	低学年	中・高学年	中学生
あいさつ	Hello Good morning	Good morning Good afternoon Hello	Good morning Good afternoon Hello	Good morning Good afternoon Hello
気分は？		How are you today? I'm fine, thank you, and you? I'm fine thank you!	How are you today? I'm happy/great/hungry/full/ tired/sleepy/hot/sad/etc	How are you today? I'm happy/great/hungry/full/ tired/sleepy/hot/sad/etc Because~
日にち、曜日	Monday/Tuesday/ Wednesday/ Thursday/Friday/ Saturday/Sunday	What day(of the week) is it today? お手本をまねしながら It's Monday/Tuesday/ Wednesday/Thursday/ Friday/Saturday/Sunday	What's the date today? お手本をまねしながら It's November 27 th .等 What day(of the week) is it today? It's Monday/Tuesday/Wednesday/ Thursday/Friday/Saturday/Sunday	What's the date today? It's November 27 th .等 What day(of the week) is it today? It's Monday/Tuesday/Wednesday/ Thursday/Friday/Saturday/Sunday Can you spell?
天気	sunny/cloudy /rainy	How is the weather today? It's sunny/cloudy/ rainy/snowy等	How is the weather today? It's sunny/cloudy/rainy/snowy等	How is the weather today? It's sunny/cloudy/rainy/snowy/ foggy/windy等 Can you spell?
あいさつ	See you.	That's all for today. See you.	That's all for today. Thank you,(先生の名前) See you.	That's all for today. Thank you,(先生の名前) See you.



Globe 小学校 Response 一覧表						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
Here you are.	→	→	→	→	→	→
Thank you.	→	→	→	→	→	→
Good.	→	→	→	→	→	→
Me, too.	→	→	→	→	→	→
Wow!	→	→	→	→	→	→
Oh!	→	→	→	→	→	→
I see.	→	→	→	→	→	→
Ok.	→	→	→	→	→	→
Why?	→	→	→	→	→	→
Really?	→	→	→	→	→	→
Hmm.	→	→	→	→	→	→
That's nice.	→	→	→	→	→	→
That's great.	→	→	→	→	→	→
Wonderful!	→	→	→	→	→	→
Fantastic!	→	→	→	→	→	→
Interesting.	→	→	→	→	→	→
Good luck!	→	→	→	→	→	→
Work hard!	→	→	→	→	→	→
Study hard!	→	→	→	→	→	→
Do your best.	→	→	→	→	→	→
I'm rooting for you.	→	→	→	→	→	→

②英語表現一覧表

新カリキュラムの新出表現&くりかえし表現(新カリキュラムから抜粋) 幼児センター～小学校編

R3.3.8 現在

幼児センター(年長)月一回30分	小1(35時間)	小2(35時間)	小3(70時間)	小4(70時間)	小5(105時間)	小6(105時間)
自分の住む国と世界について(30分) How are you? I'm good, happy, sad, sleepy, hungry, hot, cold. How is the weather? It's snowy, rainy, cloudy, sunny, windy, stormy.	1年Globe1(6時間) Hello えいごであそぼう!	2年Globe1(4時間) I like sushi. すきなもの食べたいです。	3年Globe1(5時間) Hello! 你好。おはよう。	4年Globe1(6時間) Hello World 日本のあいさつ 世界のあいさつ	5年Globe1(10時間) Hello, friends. 自己紹介しよう	6年Globe1(10時間) This is me. 私の紹介(自分の紹介)
How are you? I'm good, happy, sad, sleepy, hungry, hot, cold. How is the weather? It's snowy, rainy, cloudy, sunny, windy, stormy.	1年Globe2(2時間) Spring みつけたはるをえいごであそぼう	2年Globe2(5時間) What is this? いろいろな種類のぬすらしいものをしよう	3年Globe2(4時間) How are you? 日本のエッセイ世界のエッセイ	4年Globe2(9時間) アルファベット 世界の文字を知ろう	5年Globe2(14時間) When is the event? 東川の行事を知ろう	6年Globe2(11時間) How is your school life? 伝えよう わたしたちのくらし
色(30分) Red, blue, green, yellow, orange, purple, brown, pink, white, black. ABCのついでに色もあそぼう...	1年Globe3(2時間) Touch your head. からだをえいごであそぼう!	2年Globe3(3時間) What time is it? ALTの誕生日のすごしかたをまこう	3年Globe3(9時間) How many? 数えて遊ぼう	4年Globe3(7時間) Do you have a pen? おすすめの文房具を伝えよう	5年Globe3(13時間) What do you want to study? 夢に近づく時間割を紹介しよう	6年Globe3(11時間) Let's go to Italy. 観光地をたづねてはるの旅行しよう

新カリキュラムの新出表現&くりかえし表現 中学校編

中1(160時間)	中2(★時間)	中3(★時間)
単元 新出語句は、教科書の「語句」のものを記載 (Key sentence) (New word) (Tool box)	単元 新出語句は、教科書の「語句」のものを記載 (Key sentence) (New word) (Tool box)	単元 新出語句は、教科書の「語句」のものを記載 (Key sentence) (New word) (Tool box)
Unit 0 (文字の学習) <Key Sentences> (1) I am Meg Brown. (2) I like Japanese food. (3) Are you from Sydney? [Yes, I am. No, I am not.] (4) Do you play cricket? [Yes, I do. No, I do not play cricket.] (5) I can read hiragana. I cannot read kanji. (6) Can you read kanji? [Yes, I can. No, I cannot.] <New words> Call (Offen) / Margaret (Brown) / Meg (Australia) / Call me (To = I am / So / Far) / Cricket / Just / Sydney / How about? / Don't = Do not / There / Little / Every / But / Can not / Me / you / Thank you / I like / Every day / I can't / I can / I cannot.	Unit 0 My Spring Vacation <Key Sentences> (1) People were looking at the tyrannosaurus. (2) There are many good restaurants in Fukui. <New Words> Ago / Arrive (at) / For (at) / a / Starting / Found / Find / Plant (at) / On / near / Tyrannosaurus / Arrive at /	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages <Key Sentences> (1) About 7,000 languages are spoken in the world. <New Words> Fact (at) / Spoken / Speak / Research (at) / Believe / Increase / Brain / Wide / Variety / Chinese / It is said that... / A variety of / 100,000 = one hundred thousand <Toolbox> Brazil - Portuguese Canada - English, French China - Chinese Spain - Spanish India - Hindi, English Peru - Spanish
Unit 2 Our new teacher <Key Sentences> (1) This is Kaifu. [He is in Class 1B. He is not in Class 1A.] (2) This is Mr. Cook. [She is our teacher. She is	Unit 1 A Trip to Singapore <Key Sentence> (1) I am going to visit Singapore next week. Are you going to visit Singapore next week? -- Yes, I am. [No, I am not.] (2) I will make a reservation.	Unit 1 Sports for Everyone <Key Sentences> (1) I saw Paralympic sports last year. I have seen Paralympic sports once. Josh has seen Paralympic sports many times. Asami has never seen Paralympic sports.

4月Globe あいさつ&自己紹介 学年別英語表現一覧

1年	2年	3年	4年	5年	6年
Hello I'm (名前) Nice to meet you. Nice to meet you, too.	My name is (名前). How are you? I like ().	Do you like ()? Yes, I do. No I don't. I can (). Can you (play) ()? Yes, I can. No I can't.	What () do you like? Do you have ()? Yes, I do. No I don't.	Because ~. My favorite is (). What () do you have? What () do you want?	My birthday is (month)(date). When is your birthday?
あいさつができ、自分の名前が言える。	気分を言ったり、聞いたりできる。	好きな物、できることが言えたり聞けたりできる。	名前をアルファベットで言えて好きな物が何か聞ける。	理由が言えて、欲しいものや持っているものが何か聞ける。	誕生日が聞ける。

※発達段階において、使用する英語表現が増える(主に全学年で学習した英語表現が使えるようにしている)

※曜日、日付、天気、時刻については、Greetingに含まれるので、入れていない。

※6年終了時には、一覧表の英語表現ができるように見直しをもって進める。

③Globe カリキュラムと教科書掲載の言語表現

単元指導計画を作成する中で、単元ゴールの言語活動で使用する表現と、使用する教科書がターゲットとする表現が一致しない部分がある。教科書掲載の表現については、必ず触れるように配慮しながらも、単元ゴールで伝えたいことを重視して英語表現を扱うこととしたが、カリキュラム作成の中で最も悩んだものの一つである。

教科書に掲載されている表現について、十分に習熟できていないものについては、スモールトークに入れ、その後も継続して扱うなどの工夫をしている。

例えば、小学校4年生「東川の給食 世界の給食」は、『Let's Try 2』の「What do you want?」をもとに作成した単元である。食材の名前と“What do you want?/I Want～.”が言語材料となる。単元ゴールをオリジナル給食メニューの紹介プレゼンテーションとしたため、たくさんの食材名に触れることができたが、“What do you want?/I Want～.”のやりとりが不足していることが懸念された。そこで、Warm up の場面で行っているスモールトーク（サイコロトーク）の中に“What do you want for your birthday?” “What do you want for Christmas?”を入れ、単元終了後も表現に触れさせるよう工夫した。また、Globe 5「学校のお気に入りの場所を伝えよう」での「favorite」の定着に不安があったため、「What is your favorite color/TV star/TV program」をスモールトークのトピックに加え、継続して表現に触れさせた。

この他にも各学年で教科書掲載の言語材料について学習するものの、Globe 単元ゴールの言語活動で使用しないものがあり、スムーズな単元の流れに至っていないものがある。今後、単元ゴールでの表現イメージを大切にしながら、英語表現の精選とスムーズな接続が重要である。

④うたマップ

英語特有の発音の連結（リンキング）を習得するために、歌が有効であると考えた。そこで、各学年で扱う歌を一覧とし、発達段階に応じた授業の中に取り入れている。聞こえたままに発音してみることで、リズムに乗せて単語を覚えるためにも有効であると考えた。



幼児センター	1, 2年	3, 4年	5, 6年	中学校
新カリキュラムにあるもの ♪ABC SONG ♪Head, shoulders, knees and toes ♪クリスマスソング ♪Ten little fingers	新カリキュラムにあるもの ♪Hello. Nice to meet you. ♪Head, shoulders, knees and toes ♪Sunday, Monday, Tuesday ♪Seven Steps ♪ABC Song ♪Ten little fingers ♪If you are happy and know it ♪What's this? ♪I can	新カリキュラムにあるもの ♪Hello. (3年 Let's Try Unit1) ♪Ten Steps ♪Do you like--?(Super Simple Song/YOU TUBE) ♪Good bye song(Unit2) ♪ABC Song ♪Head, shoulders, knees and toes ♪What day is it?(4年 Unit4)	新カリキュラムにあるもの ♪Month of the year ♪Week Song ♪Hello Song ♪Count by ten ♪BINGO ♪London Bridge ♪Jelly in a bowl ♪It's a small world ♪Sing(カーベンターズ)	教科書にのっているもの ♪Sing(カーベンターズ) ♪Hello, Goodbye(ビートルズ) ♪Take Me Home, Country Roads (ジョン・デンバー) ♪Sailing (ロード・スチュアート) ♪Stand by Me (ベン・E・キング) ♪I just called to say I love you (スティービー・ワンダー) ♪Imagine (ジョン・レノン) ♪We are the world
これまで歌ったもの	これまで歌ったもの ♪Hello(Hello, Kidsより) ♪Good bye(Hello, Kidsより) ♪BINGO ♪EIEIO ♪Hello Song (Singing Warlusより) ♪Sing(カーベンターズ) ♪Do you like broccoli? (SuperSimple Songより) ♪Hello,How Are You?(SWITCH ON! 1) ♪ABC song(SWITCH ON! 1) ♪Color I like(SWITCH ON! 1) ♪The Days of the Week(SWITCH ON! 1) ♪ABC song(Let's try!!) ♪だじゃれDE-週間 (You Tube)	これまで歌ったもの ♪Hello(Hello, Kidsより) ♪Good bye(Hello, Kidsより) ♪Hello Song (Singing Warlusより) ♪Sing(カーベンターズ) ♪It's a small world ♪walking walking (SuperSimple Songより) ♪Do you like broccoli? (SuperSimple Songより) ♪Peas porridge hot(手遊び歌) ♪Vegetable Song (Singing Warlus) ♪Hokey Pokey (you tube) ♪1 Number song 1-20for children ♪2 Big number song count to 100 song ♪3 Months of the year song ♪4 Days of the week song ♪5 Shapes song for kids ♪(1-5まで you tube , The Singing Walrusのサイト) ♪HereWeGoRound the MulberryBush(YouTube) ♪The Animal Sounds Song ♪The Alphabet A to Z(SWITCH ON! 1)	これまで歌ったもの ♪Hello Song (Singing Warlusより) ♪Sing(カーベンターズ) ♪Tasty Song(NHK 英語★) ♪Dancing Queen(ABA マンマミーアより) ♪アルファベット体操 (MPIより) ♪Take Me Home, Country Roads (ジョン・デンバー) ♪ドレミの歌 (サウンドオブミュージック) ♪Banana,banana,meatball(go noodlesより) ♪Thank you for you(go noodlesより) ♪We are the world ♪Elmo Was His Name-O (Sesame Streetのサイト) ♪Rele Up! Daily Routines Song for Kids (you tube) ♪11 can run. ♪2Can a flea climb a tree? ♪3 Brush bus (1-3まで you tube , BRITISH COUNCIL Learn English Kids より) ♪The Left vs. Right Song! (Youtube)	これまで歌ったもの ♪I was born to love you.(クイーン) ♪Blowin' In The Wind(ボブディラン) ♪Happy Christmas:War is Over (ジョン・レノン・オノ・ヨーコ) ♪It's brand new day. (Isabera Monero) From 100 things to do before high school ♪Top of the World(Carpenters)

3. 外国語に慣れ親しみ、異文化理解を深めるための地域人材の効果的な活用の在り方

(1) ねらいに応じた活用

学習の内容や単元の目標に応じて、外部人材を活用している。昨年度は、休校や緊急事態宣言下での交流の制限があり、十分交流できたとは言いがたい。しかし、体験すること、直接交流することを大切に、授業を進めてきた。今年度は、緊急事態宣言下、リモートでのインタビューや講話なども試みた。

①地域の日本人

- ・昔の遊び名人 ・職業講話 ・パラスポーツ体験
- ・地元学習（東川の自然・おすすめスポット取材先）
- ・文化の学び（日本舞踊・着物・和太鼓・茶道・アイヌ文様）

②日本語学校学生

- ・日本語による異文化交流
- ・児童が作ったおもちゃと留学生の母国の遊びの交流
- ・母国語の文字（コロナ禍では中止。CIRに変更）
- ・日本語学校の日本語弁論大会を聞き、意見感想を伝える

③CIR

- ・日本語による異文化理解
世界の給食 世界のまつり 世界の子供の生活 学校生活
夏休みの過ごし方 遊び 踊り 民族衣装 食文化
じゃんけん 数え方 あいさつ 文字 各国のめずらしいもの 等

④異校種間交流

- ・英語学習者同士の交流（小高：わかりやすく伝える。理解する。）
- ・中学校生活について教える
- ・発表のしかたアドバイス
- ・一緒に歌う 一緒に遊ぶ（幼小）



小学校4年生「日本の遊び 世界の遊び」



中学校1年生「東川の職業人を紹介しよう」

【東川町に在籍している外部講師人材】(JET プログラムメンバー)

No	J E T	母国と話せる外国語	
1	ALT	アメリカ	英語
2	ALT	フィリピン	英語・フィリピン語
3	ALT	ノルウェー	英語・スペイン語・ノルウェー語・日本語
4	ALT	アメリカ	英語・スペイン語
5	SEA	ポーランド	ポーランド語・英語
6	CIR	カナダ	英語・フランス語・中国語・日本語
7	CIR	ウズベキスタン	ウズベク語・ロシア語・日本語
8	CIR	ロシア	ロシア語・日本語
9	CIR	ラトビア	ラトビア語・英語・ロシア語・日本語
10	CIR	タイ	タイ語・日本語
11	CIR	中国	中国語・日本語
12	CIR	韓国	韓国語・日本語
13	CIR	ベトナム	ベトナム語・日本語
14	CIR	ミャンマー	ミャンマー語・日本語
15	CIR	カナダ	英語・日本語
16	CIR	インドネシア	インドネシア語・日本語
17	ALT	オーストラリア	英語
18	SEA	ノルウェー	ノルウェー語・英語
19	SEA	アメリカ	英語

(2020年7月現在。この後コロナ禍で欠員が生じた。)

(2) 外部講師派遣数一覧表 (昨年 2020 年度の実績)

日付	時間数	学校	学年	授業内容	授業数に対する派遣数				時間数に対する派遣数				
					派遣者数	派遣 JET 職種			派遣者数	派遣 JET 職種			
						A L T	S E A	C I R		その他	A L T	S E A	C I R
6/9	1	二小	3	挨拶	1			1		1			
6/10	2	一小	3.4	各国の挨拶	3			3		6			6
6/11	2	東小	2	How do you say it in English?	1			1		2			2
6/12	3	二小	1~6	体力テスト	3		3			9		9	
6/15	2	高校	2	プレゼンのフィードバック	1			1		2			2
6/18	2	二小	3	各国の挨拶 (ジェスチャー)	2			2		4			4
6/19	2	一小	5.6	世界の行事	4			4		8			8
6/19	1	東小	2	日露交換交流	1			1		1			1
6/19	0.5	東小	2	ロシア応援メッセージ	1			1		0.5			0.5

6/23	2	東小	6	日常生活と宝物	6	2	3	1		12	4	6	2	
6/24	1	東小	2	ロシア応援メッセージ	1			1		1			1	
6/24	2	東小	2	日露交換交流	1			1		2			2	
6/25	2	東小	4	各国の挨拶	10			10		20			20	
7/1	1	三小	2	自国の珍しいもの紹介	3			3		3			3	
7/1	1	三小	1	じゃんけん、挨拶	3			3		3			3	
7/7	2	東小	5	各国のお祭り	8			8		16			16	
7/8	2	一小	5.6	日常生活と宝物	4	1	2	1		8	2	4	2	
7/13	1	東小	3	世界の数え方	6			6		6			6	
7/13	1	東小	2	what's this?	7	2		5		7	2		5	
7/16	1	東小	2	what's this?	7	2		5		7	2		5	
7/16	1	一小	3.4	世界の数え方	3			3		3			3	
7/17	2	東小	6	パラリンピックについて	2				2	4				4
7/20	1	東小	3	世界の数え方	6			6		6			6	
7/20	2	東小	4	文房具の紹介	9	1	2	6		18	2	4	12	
7/21	1	二小	3	名前の意味を知る	1		1			1		1		
9/2	1	一小	5.6	中国の茶道	1			1		1			1	
9/3	1	二小	4	世界の遊び	2		1	1		2		1	1	
9/4	2	東小	6	夏休みの過ごし方	6		1	5		12		2	10	
9/18	1	一小	3.4	世界の文字	3			3		3			3	
9/24	1	東小	4	日本の遊び	6		1	5		6		1	5	
9/24	2	東中	3	災害ロープレ	5	2	1	2		10	4	2	4	
9/25	2	東小	6	民族衣装	2			2		4			4	
9/29	1	二小	6	野生動物	2	1		1		2	1		1	
9/30	2	東中	1	東川の職業人	6		1	5		12		2	10	
10/1	1	東小	4	日本の遊び	9		1	8		9		1	8	
10/2	1	三小	2	おもちゃで遊ぶ	4			4		4			4	
10/5	2	東小	4	世界の遊び	9			9		18			18	
10/5	4	東小	6	世界の衣装	6			6		24			24	
10/6	2	二小	5.6	野生動物	1				1	2				2
10/8	2	東中	1	globe trial	5	1	1	3		10	2	2	6	
10/9	1	一小	1.2	自己紹介、遊び	4			4		4			4	
10/9	1	一小	5.6	夏休みの過ごし方	3			3		3			3	
10/15	2	東小	2	世界の遊び	7			7		14			14	
10/30	2	二小	6	世界の料理	1			1		2			2	
10/30	2	一小	3.4	遊び	3			3		6			6	
11/4	2	東小	3	クイズ大会	6			6		12			12	

11/9	2	東小	4	世界の遊び	8			8		16			16	
11/11	1	二小	2	世界の遊び	2			2		2			2	
11/13	2	東小	6	野生動物	6		1	5		12		2	10	
11/19	2	一小	5.6	うまいもの市	3			3		6			6	
11/20	2	東小	5	ポーランドの料理やお土産	1		1			2		2		
11/26	2	東小	5	ラトビアの文様	1			1		2			2	
11/27	1	二小	5	町紹介	2			2		2			2	
11/30	2	一小	5.6	パラリンピックについて	2				2	4			4	
12/4	1	一小	3.4	学校紹介	2			2		2			2	
12/7	2	東小	4	生活紹介	8			8		16			16	
12/9	1	三小	4	東川の給食	1		1			1		1		
12/9	2	東小	1	日本舞踊	1				1	2			2	
12/10	2	東小	2	おもちゃで遊ぶ	7			7		14			14	
12/14	2	東小	6	世界の料理	7			7		14			14	
12/17	2	東小	5	うまいもの市	6		1	5		12		2	10	
12/17	1	二小	2	世界の遊び	2			2		2			2	
1/21	2	東小	2	体を使った遊び	1			1		2			2	
1/27	1	三小	3	クイズ大会	1		1			1		1		
1/27	1	東小	1	ダンス	1			1		1			1	
1/27	2	一小	3.4	東川の給食	3			3		6			6	
1/27	1	一小	5.6	世界の料理	2			2		2			2	
1/28	1	一小	5.6	世界の料理	3			3		3			3	
1/28	2	東小	4	東川の給食	1			1		2			2	
1/28	2	東小	2	体を使った遊び	1			1		2			2	
2/1	2	東小	3	日本の楽器	1			1		2			2	
2/3	1	東小	1	ダンス	1			1		1			1	
2/5	2	一小	1.2	伝統行事	3			3		6			6	
2/10	1	東小	1	ダンス	1			1		1			1	
2/15	2	東小	3	日本の楽器	1			1		2			2	
2/18	2	東小	2	体を使った遊び	1			1		2			2	
2/19	2	東小	5	日本の伝統行事	3			3		6			6	
2/24	2	三小	全	ダンス	1			1		2			2	
2/24	2	東小	3	タイとラトビアの歌	2			2		4			4	
3/2	1	二小	1	世界のダンス	1			1		1			1	
3/4	2	東小	4	世界の給食										
3/5	2	二小	2	世界の折り紙	2			2		4			4	
合計	132				274	12	23	233	6	469.5	19	43	399.5	8

外部講師派遣数一覧表 (2021年度の実績)

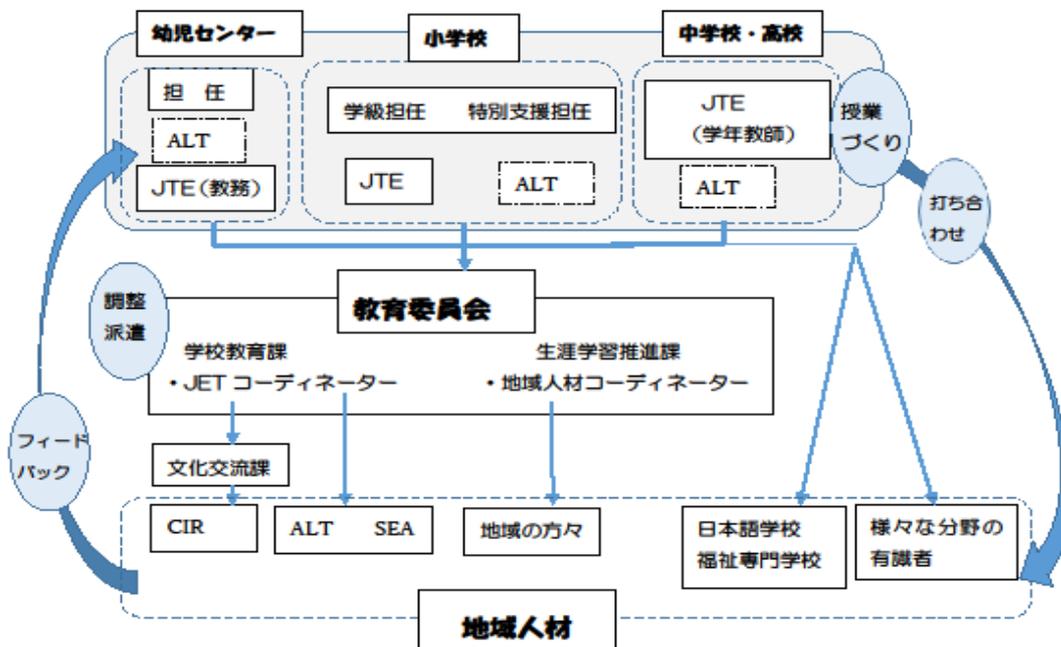
日付	時間数	学校	学年	授業内容	時間数に対する派遣数											
					派遣者数					派遣者数	派遣 JET 職種					
						A L T	S E A	C I R	その他		A L T	S E A	C I R	その他		
4/19	1	一小	3、4	挨拶	4			4		4			4			
4/23	1	一小	5、6	自己紹介	4			4		4					4	
4/26	2	東小	3	世界の挨拶	4			4		8					8	
5/10	2	東小	4	世界の挨拶	6			6		12					12	
5/11	1	東小	6	インタビュー	6	2		4		6	2				4	
5/11	1	東小	6	インタビュー	5		1	4		5		1			4	
5/25	1	三小	4	世界の文字	2			2		2		2				
5/26	2	東中	3	シッティングバレーボール	2	1	1			4	2	2				
6/7	2	東小	4	世界の文字	7			7		14					14	
6/9	2	三小	5、6	東川の行事、学校生活	1		1			2		2				
6/22	1	二小	3	世界の数	2			2		2					2	
6/22	1	二小	5	世界の行事	2			2		2					2	
6/29	2	東小	6	世界の紹介	6	1		5		12	2				10	
7/2	2	三小	3、4	数え方、文房具	3			3		6					6	
7/5	1	一小	3、4	世界の文字	3			3		3					3	
7/8	2	東小	2	世界のめずらしいもの	7			7		14					14	
8/19	1	一小	5、6	世界の国紹介	4			4		4					4	
8/27	2	東中	1	globe trial	4	1	1	2		8	2	2			4	
8/26	2	東小	5	世界のお祭り	7			7		14					14	
8/30	1	一小	5.6	野生動物の紹介	4			4		4					4	
9/6	1	東小	4	世界の給食	2			2		2					2	
9/13	1	一小	3	クイズ	2			2		2					2	
9/16	1	東小	4	世界の給食	2			2		2					2	
9/21	1	三小	2	世界の遊び	2			2		2					2	
9/24	1	三小	4	クイズ	3			3		3					3	
9/24	1	一小	4	エコプラン発表	2			2		2					2	

9/22	1	東小	6	パラリンピック選手の紹介	8	2	1	2	3	8	2	1	2	3
9/27	1	一小	1、2	what's this	3			3		3			3	
10/5	1	東小	6	パラリンピック選手の紹介	8	2	1	2	3	8	2	1	2	3
9/30	3	東中	1、2	東川の職業人の紹介	5	1		4		15	3		12	
10/1	2	東中	1、2	ユニバーサルデザイン	5	2	1	1	1	10	4	2	2	2
10/6	1	二小	4	世界の遊び、日本の遊び	5	2		3		5	2		3	
10/13	2	東小	3	世界の楽器	2			2		2			2	
10/14	2	東小	4	世界の給食	2			6		12			12	
10/15	1	一小	3、4	世界の子供たちの一日	3			3		3			3	
10/21	1	一小	5、6	who is your hero?	3			3		3			3	
10/25	2	東小	4	世界の給食	6			6		10			10	
11/8	2	東小	4	世界の遊び	5			5		10			10	
11/15	2	東小	6	野生動物の紹介	5	1		4		10	2		8	
12/2	2	東小	2	世界の学校生活・遊び	1			1		2			2	
12/3	1	一小	1、2	自己紹介	4			4		4			4	
12/7	2	東小	5	世界のお店	7	1		6		14	2		12	
12/8	2	東小	1	世界の踊り	1			1		2			2	
12/13	1	東小	3	クイズ大会	6			6		6			6	
12/16	2	東小	2	世界の学校生活・遊び	1			1		2			2	
12/17	1	一小	5、6	日本の行事や文化	4			4		4			4	
12/17	2	東小	6	日本の料理	5	1	1	3		10	2	2	6	
12/20	1	一小	5、6	日本の文化世界の文化	4			4		4			4	
12/21	2	東小	6	世界の料理	5	1	1	3		10	2	2	6	
1/31	1	一小	5、6	世界の学校	3			3		3			3	
2/14	1	一小	3、4	世界の給食	3	1		2		3	1		2	
2/15	2	東小	2	日本の遊び	8		1	7		16		2	14	
3/3	2	幼児	5歳児	自己紹介	3			3		6			6	
合計	79				211	19	10	179	7	328	30	19	271	8

(3) 活用のための組織

人材の活用のためには、スケジュール調整が大きな仕事になる。東川町では、教育委員会に JET コーディネーターを配置し、ALT のスケジュール調整や、CIR の授業への派遣の調整を行っている。また、文化交流課に CIR の交流コーディネーターがおり、教育委員会担当者と連携して授業への積極的な派遣を担っている。

教育委員会生涯学習推進課では、地域人材コーディネーターが、日本の遊びや文化の学習に必要な人材の派遣を担当している。



(4) 授業に向けたの打合せ・フィードバック

学校では、授業のおおよその日程と必要な人材が決定すると、教育委員会と文化交流課に派遣依頼を行う。派遣される人材が決まったら、授業担当者と地域人材が打ち合わせを行う。ここでは、授業の目的や育てたい子供の姿、具体的にお願したいこと、準備してほしいものについて話す。この打ち合わせの中で、専門的な知識や授業のアイデアをいただくことが多く、授業の充実につながっている。また、授業の意図を十分理解して授業していただくので、ねらい通りの授業が実現している。

授業後は、子供たちの感想をその場で伝え、後日リフレクションシートの内容をまとめたものや手紙を送り、講師からも感想をいただく。

年度末には、CIR が一年の Globe を振り返って話し合いを行い、意見をまとめている。この意見をもとに次年度のカリキュラムの改善を行っている。

(5) コロナ禍での変更

昨年度、一昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、本来外部講師を招いて行う授業を自校 ALT へのプレゼンテーションや学級内交流に変更するなど、伝える相手を変えたり、発表方法を変えたりしながら、目的意識や意欲を維持できるように工夫して実施してきた。発表形態については、タブレット端末を使い、互いを撮影したり、写真や文を組み合わせる発表物を作ったり、ビデオ映像を作成したりと、幅が広がった。今年度は、ALT 交代により、ALT 不在の時期があり、前任の ALT の録画の表現モデルを見ながら繰り返し聞き、練習を行った。タブレット端末の使用については、この他に振り返りをタブレット上で行うことで、「ロイロノート」の提出箱機能を利用して意見交流を行ったり、生徒間通信機能を使って班で情報共有したり、指導者からアドバイスを

送ったりして、思考の一助とした。

初年度から始めた「ぺちゃんこスタンレー」の取組も、コロナ禍で中止となった。これは、紙のようにぺちゃんこになった男の子が封筒に入って世界を旅するという、絵本から着想を得た CIR によるオリジナル教材で、北海道上川管内から在外教育施設に派遣されている先生方に依頼し、海外の日本人学校と東川町の小学校 3 年生同士で交流を行うものである。地域学習で学んだ町の紹介を交流相手の児童の写真を入れて撮って送り合い、地元学習と異文化を日本語で知ることができる。しかし、令和元年度後半から交流相手の学校が休校になり、実施できなかった。

予定していた活動やアクティビティをコロナ禍で変更したものは、次の表のとおりである。

小学校外部講師との活動と、コロナ禍での交流変更

学年	unit	単元名	言語活動	外部講師	コロナ禍での変更
1	Globe スペシャル	Let's dance! ひがし川 & 日本っておもしろい! せかいておもしろい! ~ダンス	ゲストの国の話を聞いたり、日本や世界の踊りを習ったりして他国の文化に触れる活動	CIR 日舞先生	
2	Globe2	What's this? いろいろな国のめずらしいものをしよう!	ALT や CIR の国の珍しいものについて質問したり、聞いたことを友達に紹介したりする	ALT & CIR	
2	Globe4	Do you like pizza? すきなものをえいごできいてみよう!	日本語学校の学生と、英語で好きなものを伝え合ったり、他国の子供たちの遊びを教えてもらって一緒に遊んだりする	日本語学校の学生	
2	Globe6	Can you play otedama? できることを えいごできいてみよう!	日本語学校の学生と、英語で好きなもののできることを伝え合ったり、自作のおもちの使い方を教え一緒に遊んだりする	日本語学校の学生	一部 JETs に変更
2	Globe7	Merry Christmas! & Happy New Year! クリスマスやお正月のすごしかたをしよう!	日本と他国の年末年始の過ごし方を比べ、感想を伝え合う	CIR	
2	Globe スペシャル	東川 & 日本っておもしろい! 世界っておもしろい! ~遊び	ゲストの国の話を聞いたり、遊びを習ったりして他国の文化に触れる	CIR	
3	Globe1	Hello! あいさつをして友達になろう	名刺(自分の名前(大文字&ローマ字)に色塗り・好きな物、得意なことのイラスト)を他の国の方や友達に渡して自己紹介をする活動	ALT SEA	
3	Globe3	How many? 数えて遊ぼう	数の数え方(言い方や指の折り方)を世界の方からチームごとに教えてもらう活動	CIR、 ALT、SEA	
3	Globe5	What do you like? 好きな物をインタビューしよう	職員室の先生や高学年に、何が好きか(色、スポーツ、食べ物、果物、動物)をたずねて、棒グラフにまとめて発表する活動	(職員室の先生・高学年児童)	
3	Globe6	What's this? クイズ大会をしよう	What's this?クイズ(自分を紹介するクイズや漢字クイズなど)を作り、友達や他の国の方と出し合う活動	CIR	
3	Globe7	This is for you. カードをおくろう	◆♥などの形のパーツを、英語でやりとりして集め、それを模様にして各自製作したクリスマスカードを、今までお世話になった世界の方にプレゼントする活動	ALT CIR	ALT のみ
3	Globe8	Who are you? 英語劇に挑戦しよう	英語劇を低学年児童に披露する(Let's Try!「Who are you?」や日本昔話:Peach Boy や大きなかぶなど)	1 年生	

3	Globe スペシャル	やってみよう！ 日本の楽器 世界の楽器	世界の音楽 日本の音楽(楽器を通して)	CIR 太鼓保存会	日本の音 楽 を中止
4	Globe1	Hello world! 日本のあ いさつ 世界のあいさつ	自己紹介や相手に質問(Do you like-?What Odo you like?)をし、世界の方と名刺を交換したり、世界 の挨拶について聞いたりする。(やりとり)	ALTSEA	
4	Globe2	アルファベット 世界の文 字を知ろう	自分の名前を他の国の文字で書いたらどのような 表し方をするか、他の国の方に教えてもらい、色々 な国の文字で自分の名前が書いてある「国際名刺」 を作る活動(聞く・やりとり)	CIR 日本語学校	CIRのみ で実施
4	Globe3	Do you have a pe n? おすすめの文房具を伝え よう	日本のおすすめの文房具を英語で紹介したり、世 界の方から「日本の好きな文房具」や「世界の文房 具」について教えてもらったりする。(JET に各自で 発表)	JET 日本語学校	ALT への 紹介
4	Globe4	Let's play! 楽しもう 伝 えよう 日本の遊び 世 界の遊び	自分たちのお気に入りの「日本の昔遊び」を、班ご とに英語で世界の方に伝えたり、世界の方から遊び を伝えてもらい一緒に遊んだりする。(JET に班で発 表)	地域の名人 JET	
4	Globe5	This is my favorite place. 学校のお気に入りの場所 を伝えよう	学校のお気に入りの場所を ALT と伝え合う活動(や りとり)	Jetまたは ゲスト	参観日に保 護者と実施
4	Globe6	This is my day. 世界 の子供たちの一日を調べ よう	自分の生活時間を留学生に紹介したり、留学生か ら各国の子供たちの生活時間を教えてもらったりす る(やりとり)	日本語学 校	学級内で の発表
4	Globe7	Yummy! 東川の給食 世 界の給食	地産地消など学んだことを生かしながら、友達と東 川の給食メニューを考え、ポスターを作り、それを他 の国の方に紹介(JET に班で発表)	JET	紹介画像を 限定公開
4	Globe スペシャル	やってみよう！ 日本のゲーム・世界のゲ ーム	日本や世界のボードゲーム(遊び)	CIR	
5	Globe1	Hello, friends. 自己紹介 をしよう	JET に名刺を使って自分の好きなもの・ことなど について英語でやりとりをする活動	CIR	
5	Globe2	What events and holidays are there? 東川の行事を 紹介しよう。世界の行事 を知ろう。	東川の行事についてポスターを作成し、JET にそれ を紹介するスピーチをする活動	CIR	
5	Globe5	This is my town 東川の おすすめスポットを案内し よう	東川を訪れた外国人のために、東川のおすすめの 場所を地図と写真をつかってポスターを作成する活 動	(道の駅 に掲示)	
5	Globe6	What would you like? 全国うまいもの市でおも てなし	JET と写真を見せながら日本食を紹介したり世界の 食べ物を紹介されたりする活動	JET	
5	Globe7	Welcome to Japan. 日本の年中行事や文化 を紹介しよう	日本の年中行事や祝日について、プレゼ ンテーションを使って CIR に紹介したり、世界の年 中行事をしったりする活動	CIR	学級と ALT への紹介
5	Globe8	Who is your hero? あこがれの人を紹介しよ う	自分にとってのヒーローについて、友だち同士でス ピーチし合う活動	CIR	
5	Globe スペシャル	東川&日本っておもしろ い! 世界っておもしろい ~コーヒー・お茶	お茶やコーヒーを実際に点てることを通して、様々 な国の文化について考えようする活動	CIR・町内コー ヒー店・茶道 の先生	中止 文様に変更
5	Globe スペシャル	東川&日本っておもしろ い! 世界っておもしろい ~文様	日本・ラトビア・アイヌの文様の特徴や共通点につ いて考える活動	CIR アイヌ文化振 興財団	

6	Globe1	This is me. インタビューして JETs のプロフィールカードを作ろう	JETs に英語で質問して、JETs のプロフィールポスターを作り、校内に貼って下級生に知らせる活動	JET	一部リモートでインタビュー
6	Globe2	How is your school life ? 伝えよう！わたしたちのくらし	世界の子供たちの生活について知り、日本の子供の生活について、海外の人に生活紹介カードで紹介する活動	マラウィ ゲストティーチャー	中止 質問への回答
6	Globe3	Let' go to Italy. 親善大使になって JET's の国を紹介しよう	PP (パワーポイント) を使って、CIR・ALT の国についてプレゼンする活動	CIR	
6	Globe4	Summer Vacations in the World いろいろな国の方と夏休みの思い出を伝え合おう	思い出の写真を使って JET と英語でやりとりを行う活動	JET	
6	Globe5	パラリンピック選手の魅力を伝えよう	友達や地域の外国人に、パラリピアンについて、写真をみせながらスピーチで紹介する活動	カムイ大雪バリア フリー研究所 JET	
6	Globe6	We all live on the Earth 東川に住む野生動物を紹介しよう	東川の野生動物について、JETs に、タブレットを使い、プレゼンテーションで紹介する活動	JET	
6	Globe7	Let's think about our food. 作ってみよう 世界の料理	世界のご飯を作る体験を生かして、CIR の国のご飯をポスターを見せながら紹介する活動	CIR	
6	Globe8	My best memory 1年間の思い出を伝えよう	小学校の思い出を手紙に表し、高校生にスピーチする活動	東川高校	学級の友達に伝える
6	Globe9	My future、My dream 中学校生活に向けて	高校生に中学校のことを教えてもらい、中学校生活に向けた思いをスピーチで発表する活動	東川高校	中学校の先生が来校
6	Globe スペシャル	東川 & 日本っておもしろい！世界っておもしろい！～服	体験活動を通して、世界と日本の衣服について考える活動	CIR	

中学校外部講師との活動と、コロナ禍での交流変更

学年	unit	単元名	言語活動	外部講師	コロナ禍での変更
1	Globe1	クラスメイトや JETs に友達を紹介しよう	小学校で学んだ表現を使ってプロフィールカードを作成し、自己紹介をし合い、分かった情報をもとに友達について学級や JETs に紹介する活動。	JETs	自校 ALT のみ
1	Globe3	わたしの中学校生活	海外の学校生活について JETs に質問し、分かったことを学級に伝える。	JETs	自校 ALT のみ
1	Globe4	ニュージーランドを知ろう	ニュージーランドについて分かったことをまとめ、自分の考えを学級に発表する。	ゲストティーチャー	自校 ALT のみ
1	Globe5	日本の伝統的な祭り	さまざまな地域にある日本の伝統的な祭りについて調べ、学級に発表する。	JETs	自校 ALT のみ
1	Globe6	東川の職業人を紹介しよう	JETs に東川の職業人について調べたことをポスターを使って伝える。	JETs 東川の職業人	

1	Globe7	日本文化を紹介しよう	日本の伝統文化について調べたことを JETs に紹介する。	JETs	自校 ALT のみ
1	Globe8	楽しいパーティを企画して招待しよう	海外のさまざまなパーティを知り、学校でやってみたい楽しいパーティを企画し、英語の招待状を書き、友達に発表する。	JETs	自校 ALT のみ
2	Globe1	夏休みの海外旅行計画を立てよう	自分の作成した旅行プランを学級で紹介する。	(JETs) (家庭科の先生)	自校 ALT のみ
2	Globe2	食文化の歴史や変化	日本にある食べ物の由来を調べ、プレゼンテーションソフトやポスターなどを使って学級に発表する。	JETs	自校 ALT のみ
2	Globe3	10年後の自分に手紙を書こう	将来の職業について考え、自分の将来の夢や職業について10年後の自分宛に手紙を書く。	東川の職業人 (職場体験)	自校 ALT のみ
2	Globe5	ユニバーサルデザイン	自分たちが作成した UD 製品について、使い方やメリットを JETs や学級で紹介する。	JETs	
2	Globe6	世界で知られている日本のポップカルチャーを知ろう	日本のポップカルチャーについてグループで調べ、発表し、自分の意見を伝え合う。		自校 ALT のみ
2	Globe7	国内の世界遺産を調べよう	日本の世界遺産について調べたことを JETs に紹介する。		自校 ALT のみ
3	Globe1	パラリンピックを紹介しよう	パラリンピックについて紹介するポスターを作り、学級で紹介する。		JETs が来校し、バラスポーツを生徒と体験した。
3	Globe2	世界で知られている日本文化を紹介しよう	日本文化の特色について調べたことをまとめ、プレゼンテーションで JETs に紹介する。	JETs	自校 ALT のみ
3	Globe4	災害～東川に住む外国人を支援しよう～	災害時に外国人を支援するために、場面や状況に合った表現を考え、ロールプレイングを行う。	(東川在住の外国人)	自校 ALT のみ
3	Globe5	平和や人権の大切さについて考えよう	平和や人権に関わる人物について調べ、JETs にプレゼンテーションで紹介する。	JETs	自校 ALT のみ
3	Globe6	世界の教育問題について考えよう	国際社会について書かれた英文を読んだり模擬体験をしたりして、世界中の子供たちが学校に通えるために、自分たちにできることを考え、発表する。	JICA	自校 ALT のみ

コロナ対策期間でもできそうかな～？ Activity ★は、コロナ対策

Activity を行うポイント

- 「易」から「難」へ
- 「全体」から「グループ」そして「個人」へ。
- 「見る」→「聞く」→「分かる」→「話す」の流れを基本に。
- その単元で子供たちに何をさせたいかで活動内容を選択し、組み立てていく。
「できることを紹介できるようにしたい」「買い物ごっこができるようにしたい」等

	ゲーム名	ゲームの方法	聞く	言う		ジェスチャー	やりとり
				全体で	一人で		
1	Go to	教室の壁にカードを張っておき、リーダーが言った単語のカードの所へ行く。分からなくてもみんなについていけばできる。	◎	○			
2	Circle switch	一人1枚ずつカードを持ち、円形になる。リーダーが発音したカードを持っている子が移動する。フルーツバスケットの全員座れるバージョン	◎	○			
3	Karuta game(かるた) ★一人でなら	リーダーが言った単語カードをとる。2人～小グループ 対戦型	◎	○			
4	The swatting flies(ハエたたきゲーム)	黒板にカードを貼っておき、リーダーが言ったカードをハエたたきでたたく。2人一組対戦型	◎	○			
5	Keyword game ★一人で。自分の消しゴムで。	机に消しゴムなどを置いておき、あらかじめ決めておいたキーワードをリーダーが言ったら、消しゴムを取る。2人一組対戦型 消しゴムの数を増やして3名以上で対戦することもできる。	◎	○			
6	おはじき game ★一人で	絵やカードの上におはじきを置いておき、リーダーが言ったら、上に置いてあるおはじきを取る。2人以上でやると対戦型になる。	◎	○			
7	Point to ★一人で	机の上にカードを並べておき、リーダーが言ったカードを言いながら指さす。1人でも小グループでもできる(小グループだとわからない子も参加できる)	◎	◎			
8	Bingo game	リーダーの後に言いながら○や×をつける。カードを並べて行うこともできる。	◎	○			
9	チャンツ ★窓をあけて	リズムに合わせて単語を覚える。リズムボックス、キーボードのリズムなど使用	◎	◎		○	○
10	□□basket	フルーツバスケットと同じ。座れなくて中央に来た子が次のリーダーになる。「○○&△△」などと複数の単語を言うこともできる。全員のときは「All」	○	○	◎		
11	Clap clap the point	カードを円形に並べ、リーダーがカードを順に指さす。他の子は指差したカードを発音する。		◎			

		「clap clap cardA cardB clap clap cardB cardC clap clap cardC cardD…」					
12	ジェスチャーgame	1人がジェスチャーをして他の子が当てる。		○	◎	◎	
13	Free kick	◎がお題を出し、☆がジェスチャーをして○が当てる。 ☆↓ ○○○○○○○↑ ◎↑		○	○	◎	
14	Black box	箱や袋の中に入っているものを手探りで当てる。			◎		
15	Black box	箱や封筒などからカードを少し見せ、「What's this?」と質問する。他のメンバーは「It's ~.」と答える。			◎		
16	What's missing?	黒板にはった単語の中から1枚抜き、何がなくなったかを当てる。場所を変えたり抜く枚数を増やしたりすると難しくなる。			◎		
17	Shouting (聖徳太子ゲーム)	数人で同時に単語を叫び、だれが何を言ったかあてる。	○		◎		
18	Dice game(サイコロゲーム) ★Small Talkのお題を短時間で等	さいころの6面にその日の単語やアクティビティを書き、多様な活用をする。			◎		◎
19	Relay game(伝言ゲーム)	グループが列になり、発音やジェスチャーを順に伝える。やり取りをしながら行うこともできる。			◎	◎	○
20	Touch the base (じんとりゲーム)	カードを1列に並べ、両端から単語を言い、出会ったところでじゃんけんをし、負けたら道を譲り、次の人がスタートする。2チームで対決、勝ちにこだわると発音がおろそかになる。			◎		
21	Pair activity ★短時間	学習した内容を使ってやりとりする。	◎		◎		◎
22	インタビュー	学習した内容を使って、聞いて調査する。	◎		◎		◎
23	Presentation ★距離をとって	1人やグループで行う。より伝わるようジェスチャーを入れるなど工夫させたい。	○	○	◎	○	
24	自己紹介・お店やさんあそびなど ★短時間		○	○	◎		◎

*子供たちの実態や興味・関心に合わせてアレンジできます。日本語でやっているゲームを応用すると、まだまだたくさんのゲームが考えられます。

*同じゲームでも、始めは同じ順に並べ、慣れてきたらばらばらにしたり、カードの数を増やしたりして難易度を変えることができます。

*リーダー役は先生、ALTなどで行うとスムーズにできますが、児童が行っても構いません。グループごとに行う時は児童がリーダーになります。

*楽しく遊んでいるうちにたくさん聞き、たくさん発話し、慣れ親しんだり自然に覚えたりできるといいと思います。

IV 研究の成果と課題

1 研究の成果

(1) 幼児・児童・生徒

①幼稚園

(ア) 4歳児

4歳児では、制作や散歩など日常の子供たちの活動にALTが入って、一緒に活動を楽しんだ。ALTと一緒に遊べるのが楽しく、月一回ALTが来てくれることを楽しみにするようになった。必ず最後に英語で絵本を読んでいたのも、それを楽しみにしている子供も多かった。月一回の活動を積み重ねていくことで、絵本の時間のALTへの反応がだんだん大きくなっていった。絵本の内容は、ALTと保育者で打ち合わせ、難易度を考えながら一緒に選んでいる。

4歳の時からALTに慣れていたこともあり、5歳のGlobeも期待を持っている子供が多かった。

(イ) 5歳児

5歳児では、ALTが前に立って行う授業形式になる。より英語を聞く機会が増え、さらに自分たちでも発音するようになった。月ごとにテーマが決まっているが、色や動物など子供たちに馴染みの深い単語が多いこともあり、楽しみながら活動に参加することができた。幼稚園の普段の生活の中でも、毎日の天気確認の時や遊びのじゃんけんの時などに英語を使う姿が見られるようになっている。

保護者からも、子供が月一回の活動を楽しんでいるという声を聞くことが多かった。家でALTに手紙を書いたり、兄弟で単語を教え合ったり遊んでいたりする姿もあるという話も聞かれた。ただ、できないかもしれないという不安から苦手意識を持つ子もいて、そのような子供の保護者には、活動の様子を丁寧に伝えながら、フォローしていった。

保育者は、ほぼ英語だけで進む活動をどこまでサポートができるか不安もあったが、事前にALTと打ち合わせをすることで、単語や発音、ゲームのルールなどを確認することができ、しっかり準備をして活動に臨むことができた。

(ウ) 成果

- ・昨年度からALTと関わる中で使っていた「Hello」「Thank you」「See you」などは最初から自然に使うことができた。特に活動の最初と最後の挨拶は小学校との連携を取り、Classroom Englishを活用しながら行った。

- ・普段の生活の中から英語に親しんでいて単語を知っている子供が、大きな声で発音することで、全体を引っ張っていつている場面が多かった。活動を重ねるごとに、楽しさを感じたり自信を付けていったりしたので、初めて単語を聞いた子供も、ALTの発音を真似しながら発音する声はどんどん大きくなっていった。

- ・小学校の先生から、幼稚園からGlobeを経験してきた児童の発音の良さを褒めてもらったことがあった。年間授業計画を通して、ALTの発音を耳で聞き慣れ、自分たちで発音していったことで、幼稚園のGlobeの中で目指す子供像としている『英語に親しむ』ことができていっていると感じる。

(エ) 課題

- ・ALTが発音した単語を聞いて、全体で動く活動（4コーナーゲームなど）は、単語の意味を分かる子供が真っ先に走っていき、多くの子供がそれについていく形になり、理解して行動するというよりも走ることが楽しくなってしまう場面があった。

- ・フルーツバスケットなど個人で発音する活動では、一人で発音できない子供がいてゲームが止まってしまうことがあった。

・頭肩膝ぼんの歌遊びをした際は、ALTの真似をしながらそれぞれが動くことで、分かっている子供と分かっている子供が明確に見えた。ただし、英単語が分かっているのか、分かっているが歌になると体がついていかないのかを見極める必要がある。

・活動によって、どこまでできればいいのか（ついていく形でも動けばいいのか）、そのためにはどんなやり方をすればいいのか（人数を少なくしてより自分で考えて動く機会を多く作るのか）、苦手な子供にはどのようにフォローするか（保育者が一緒に動くのか）などを保育者の方で明確にしておく必要がある。



4 歳児 英語の絵本読み聞かせ



5 歳児 Globe

②小学校

(ア) コミュニケーション要素のアンケート結果から

小学校4校では、3年生以上にアンケートを行ってきた。下のグラフは、5年間のアンケート結果をまとめたものである。

コミュニケーション要素についてのアンケートでは、「Globeが好き」「ALTとのGlobeの授業が楽しい」に対して、肯定的な回答が年々増えている。今年度は、90%以上が肯定的な答えを示している。4月アンケートで苦手意識をもつ児童に対して、個々に最適な指導のあり方をALTを含めたチームで考え、対応してきた結果と考えられる。また、「進んで参加していると思いますか」の問いに対しても肯定的な回答が年々増加しており、今年度は、95%以上の児童が、「進んで参加している」と答えている。目的を明確にし、振り返りの時間を確保したことで、学習に見通しをもち、振り返りによって自分自身を見つめ直すことができ、主体的に学習に取り組んでいるためだと考える。また、ICT活用により音声や映像を記録して見返すことで、児童は自分の変容を客観的に見られるようになった。このことも、目的に向かって、主体的に学習を進められた要因と考える。また、指導者も音声や映像を見返すことで、よりの確な評価が可能となった。

「英語は自分にとって役に立つと思う」「英語を使えるようになりたい」の問いに対しては、95%以上の児童が肯定的な回答をしている。このことから児童が英語の必要性を感じていること、そして、興味関心が高まっていることが分かる。伝えたい思いを大切にしながら目的をもって伝える場を設定していること、伝えることによって自己有用感や満足感を得られる活動となっていることが、英語への意欲を高めていると思われる。これらの英語に対する意欲は、中学校での英語学習につながっており、中学校では英検受験者が増加傾向にある。

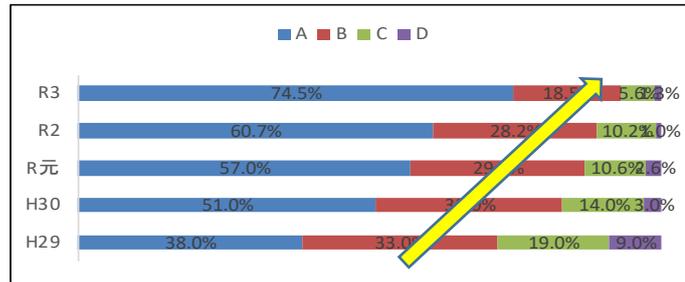
児童アンケート5年間の比較

Communication要素
小学校

A	B	C	D	E	F
よく	まあまあ	あまり	ない	わからない	やっていない

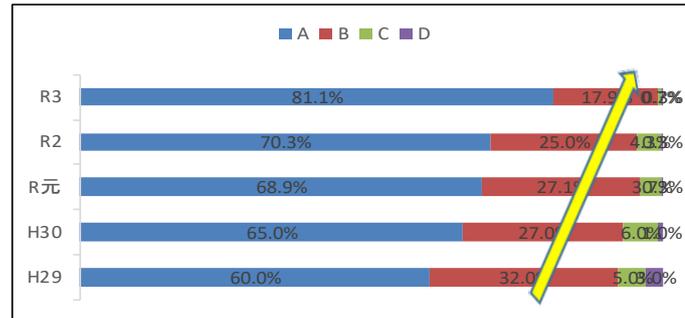
1 Globeが好き

	H29	H30	R元	R2	R3
A	38.0%	51.0%	57.0%	60.7%	74.5%
B	33.0%	32.0%	29.8%	28.2%	18.5%
C	19.0%	14.0%	10.6%	10.2%	5.6%
D	9.0%	3.0%	2.6%	1.0%	1.3%



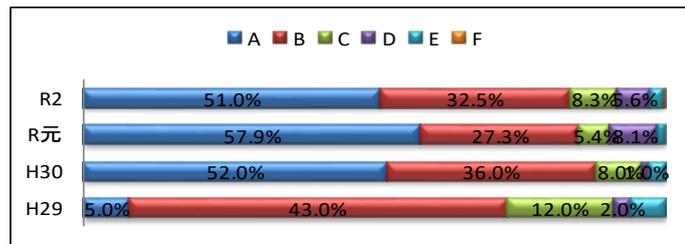
2 ALTとのGlobeの授業は楽しい

	H29	H30	R元	R2	R3
A	60.0%	65.0%	68.9%	70.3%	81.1%
B	32.0%	27.0%	27.1%	25.0%	17.9%
C	5.0%	6.0%	3.7%	4.3%	0.7%
D	3.0%	1.0%	0.3%	0.3%	0.3%



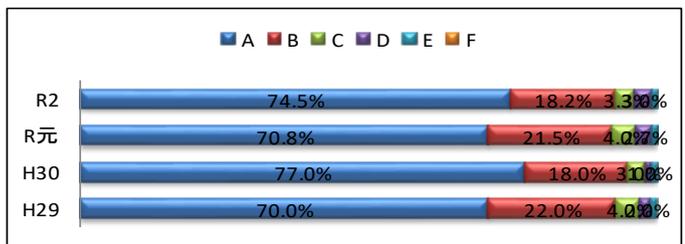
3 英語の歌を歌ったり、チャンツをすること

	H29	H30	R元	R2
A	5.0%	52.0%	57.9%	51.0%
B	43.0%	36.0%	27.3%	32.5%
C	12.0%	8.0%	5.4%	8.3%
D	2.0%	1.0%	8.1%	5.6%
E	4.0%	3.0%	1.3%	2.3%
F	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%



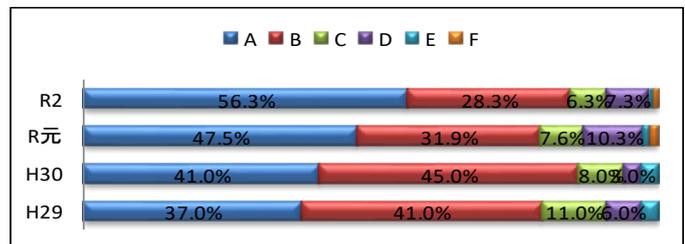
4 英語でゲームをすること

	H29	H30	R元	R2
A	70.0%	77.0%	70.8%	74.5%
B	22.0%	18.0%	21.5%	18.2%
C	4.0%	3.0%	4.0%	3.3%
D	2.0%	1.0%	2.7%	3.0%
E	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
F	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



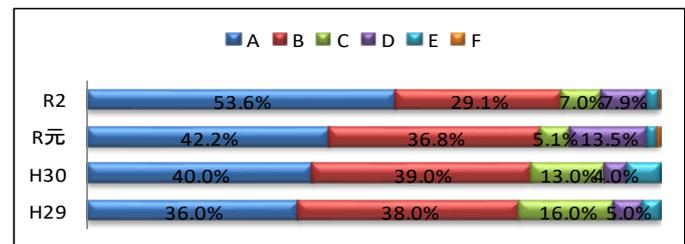
5 英語で友だちと会話すること

	H29	H30	R元	R2
A	37.0%	41.0%	47.5%	56.3%
B	41.0%	45.0%	31.9%	28.3%
C	11.0%	8.0%	7.6%	6.3%
D	6.0%	3.0%	10.3%	7.3%
E	3.0%	3.0%	1.3%	0.7%
F	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%



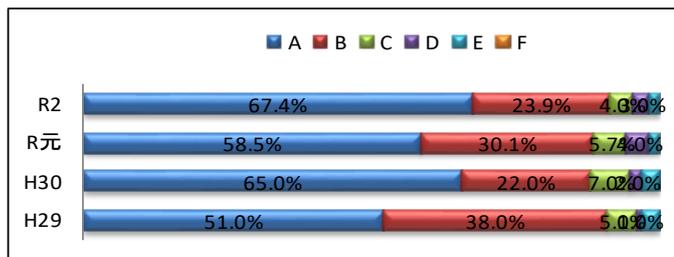
6 英語でALTや先生と話をすること

	H29	H30	R元	R2
A	36.0%	40.0%	42.2%	53.6%
B	38.0%	39.0%	36.8%	29.1%
C	16.0%	13.0%	5.1%	7.0%
D	5.0%	4.0%	13.5%	7.9%
E	3.0%	6.0%	1.7%	2.0%
F	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%



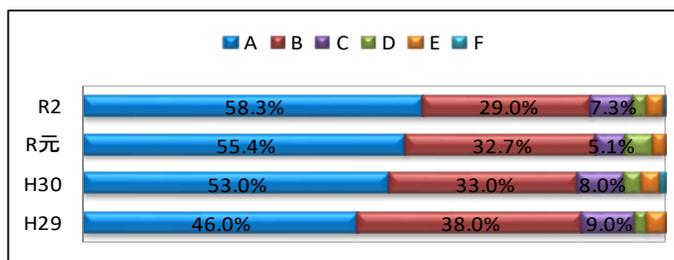
7 外国語のことにについて知ること

	H29	H30	R元	R2
A	51.0%	65.0%	58.5%	67.4%
B	38.0%	22.0%	30.1%	23.9%
C	5.0%	7.0%	5.7%	4.0%
D	1.0%	2.0%	4.0%	3.0%
E	3.0%	3.0%	1.7%	1.7%
F	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



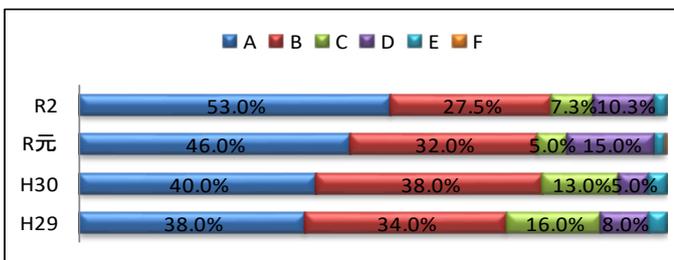
8 日本語と外国語のちがいを知ること

	H29	H30	R元	R2
A	46.0%	53.0%	55.4%	58.3%
B	38.0%	33.0%	32.7%	29.0%
C	9.0%	8.0%	5.1%	7.3%
D	2.0%	3.0%	4.8%	2.3%
E	3.0%	3.0%	2.0%	2.7%
F	0.0%	1.0%	0.0%	0.3%



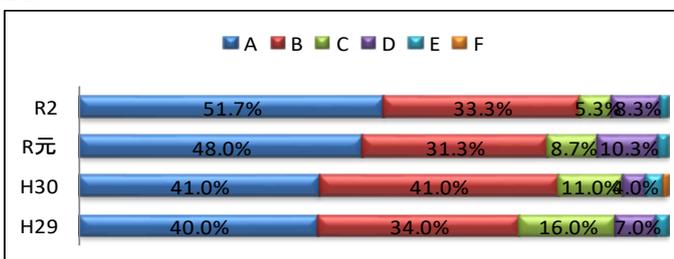
9 英語で自分のことを伝えること

	H29	H30	R元	R2
A	38.0%	40.0%	46.0%	53.0%
B	34.0%	38.0%	32.0%	27.5%
C	16.0%	13.0%	5.0%	7.3%
D	8.0%	5.0%	15.0%	10.3%
E	3.0%	3.0%	1.7%	2.0%
F	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%



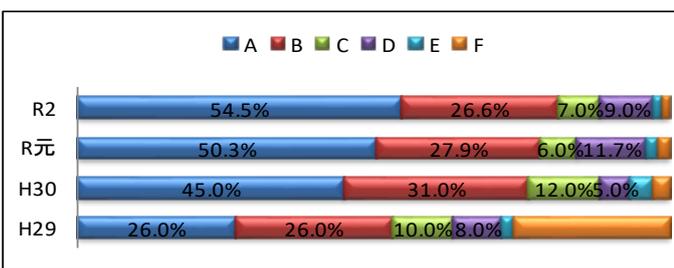
10 英語で友だちや先生のこと, 他の人の話を聞くこと

	H29	H30	R元	R2
A	40.0%	41.0%	48.0%	51.7%
B	34.0%	41.0%	31.3%	33.3%
C	16.0%	11.0%	8.7%	5.3%
D	7.0%	4.0%	10.3%	8.3%
E	2.0%	3.0%	1.7%	1.3%
F	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%



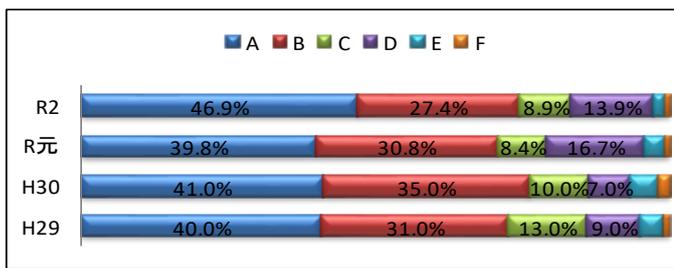
11 英語で書くこと

	H29	H30	R元	R2
A	26.0%	45.0%	50.3%	54.5%
B	26.0%	31.0%	27.9%	26.6%
C	10.0%	12.0%	6.0%	7.0%
D	8.0%	5.0%	11.7%	9.0%
E	2.0%	4.0%	2.0%	1.7%
F	26.0%	3.0%	2.0%	1.3%



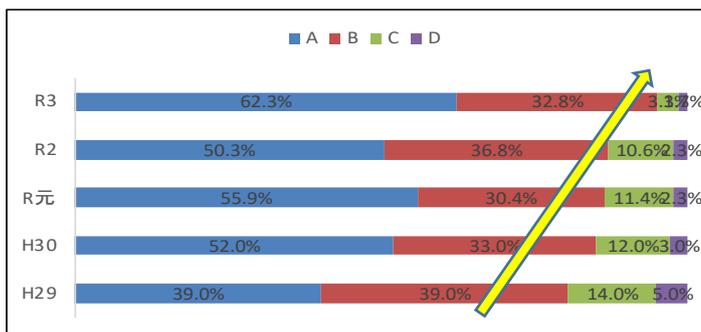
12 英語を見て, 読むこと

	H29	H30	R元	R2
A	40.0%	41.0%	39.8%	46.9%
B	31.0%	35.0%	30.8%	27.4%
C	13.0%	10.0%	8.4%	8.9%
D	9.0%	7.0%	16.7%	13.9%
E	4.0%	5.0%	3.3%	2.0%
F	1.0%	2.0%	1.0%	1.0%



13 Globeの授業に進んで参加していると思う

	H29	H30	R元	R2	R3
A	39.0%	52.0%	55.9%	50.3%	62.3%
B	39.0%	33.0%	30.4%	36.8%	32.8%
C	14.0%	12.0%	11.4%	10.6%	3.3%
D	5.0%	3.0%	2.3%	2.3%	1.7%



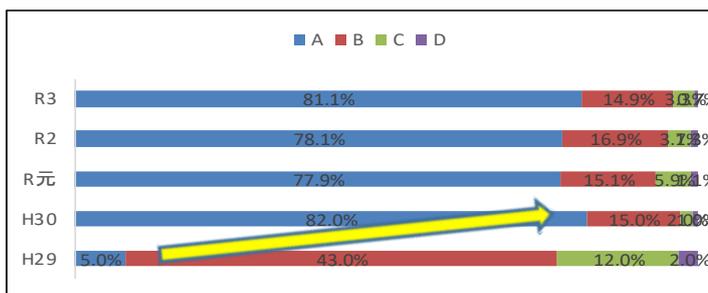
14 英語は自分にとって役に立つと思う

	H29	H30	R元	R2	R3
A	72.0%	78.0%	72.2%	77.5%	82.5%
B	14.0%	17.0%	16.7%	14.2%	13.6%
C	5.0%	3.0%	8.4%	7.0%	3.6%
D	3.0%	2.0%	2.7%	1.3%	0.3%



15 英語を使えるようになりたい

	H29	H30	R元	R2	R3
A	5.0%	82.0%	77.9%	78.1%	81.1%
B	43.0%	15.0%	15.1%	16.9%	14.9%
C	12.0%	2.0%	5.9%	3.7%	3.3%
D	2.0%	1.0%	1.1%	1.3%	0.7%



(イ) ローカル・グローバル要素のアンケート結果より

ローカル・グローバル要素についてのアンケートでは、自己肯定感に関する質問項目が、微増しており、他の項目も高い水準で推移している。自分の好きなことや得意なことを相手に伝える活動や、体験したことや調べたことを伝える活動の積み重ねの結果であると考えられる。

注目すべきは、「自分の考えを相手に伝える」に対し、今年度60%近くの児童が「よく当てはまる」と答え、大きく伸びていることである。今年度、特にローカル・グローバルの「思考・判断・表現」に重点をおき、評価規準を明らかにして取り組んできた結果が表れたものと考えられる。また、単元の目標達成のために、外部人材を効果的に活用できたことも児童の思考を働かせ、表現の意欲や工夫を生み出すために有効であった。相手意識をもちながら目的・場面・状況、そして児童の実態に合わせて言語活動を取り入れたことで、何とか答えよう、伝えようとする態度が見られ、より充実した活動となった。

一方、「日本と他の国の文化のちがいが分かる」については、大きな変化は見られなかった。また、「世界でおきている問題について知っている」については、初年度が高く、その後肯定的回答が低くなっている。小学校では、世界でおきている問題について、優劣をつけず偏見をもたせないように触れさせてきた。そのため、問題意識をもたなかったものと考えられる。南北問題や差別について小学校段階でどの程度扱うのか、今後検討が必要である。

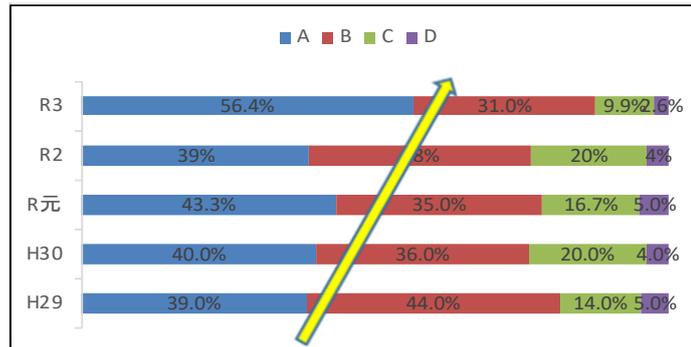
児童アンケート5年間の比較

Local/Global要素
小学校

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

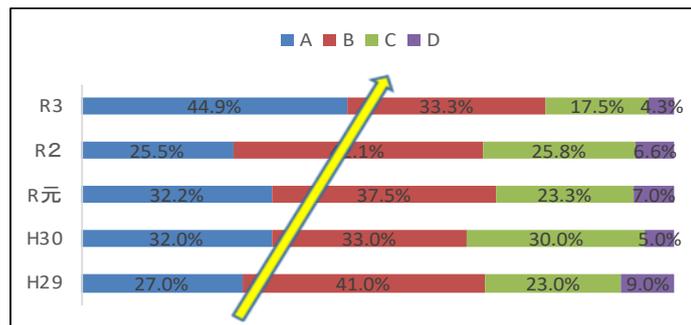
1 自分によいところがある

	H29	H30	R元	R2	R3
A	39.0%	40.0%	43.3%	39%	56.4%
B	44.0%	36.0%	35.0%	38%	31.0%
C	14.0%	20.0%	16.7%	20%	9.9%
D	5.0%	4.0%	5.0%	4%	2.6%



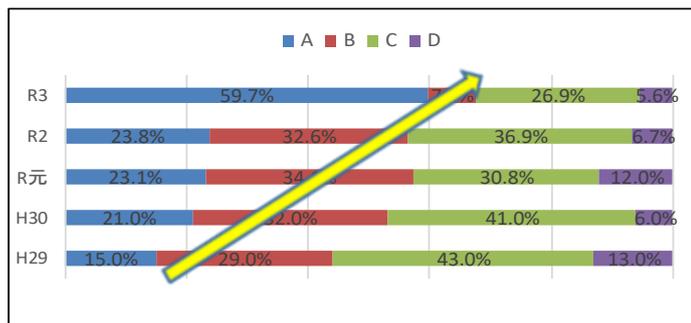
2 自分に自信がある

	H29	H30	R元	R2	R3
A	27.0%	32.0%	32.2%	25.5%	44.9%
B	41.0%	33.0%	37.5%	42.1%	33.3%
C	23.0%	30.0%	23.3%	25.8%	17.5%
D	9.0%	5.0%	7.0%	6.6%	4.3%



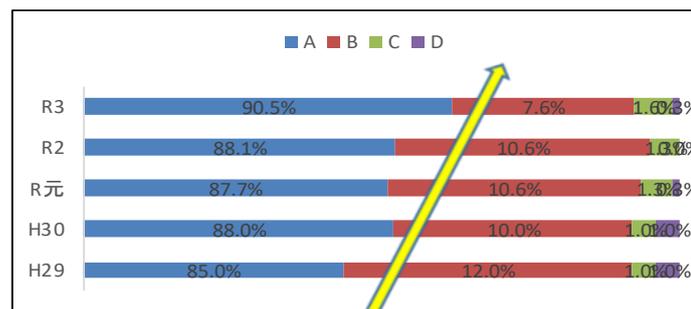
3 自分の考えを相手に伝える

	H29	H30	R元	R2	R3
A	15.0%	21.0%	23.1%	23.8%	59.7%
B	29.0%	32.0%	34.1%	32.6%	7.9%
C	43.0%	41.0%	30.8%	36.9%	26.9%
D	13.0%	6.0%	12.0%	6.7%	5.6%



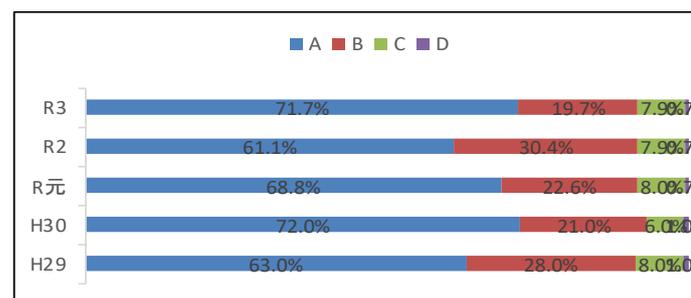
4 東川町が好き

	H29	H30	R元	R2	R3
A	85.0%	88.0%	87.7%	88.1%	90.5%
B	12.0%	10.0%	10.6%	10.6%	7.6%
C	1.0%	1.0%	1.3%	1.3%	1.6%
D	1.0%	1.0%	0.3%	0.0%	0.3%



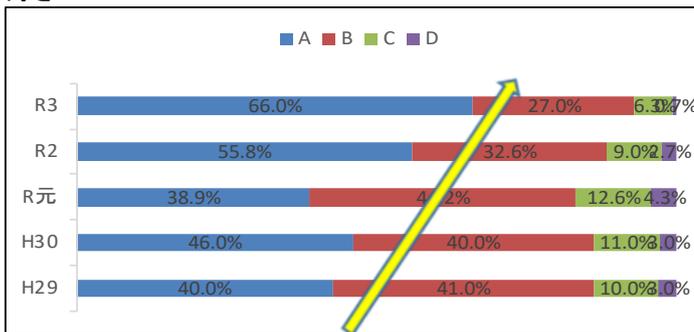
5 東川町のよさを知っている

	H29	H30	R元	R2	R3
A	63.0%	72.0%	68.8%	61.1%	71.7%
B	28.0%	21.0%	22.6%	30.4%	19.7%
C	8.0%	6.0%	8.0%	7.9%	7.9%
D	1.0%	1.0%	0.7%	0.7%	0.7%



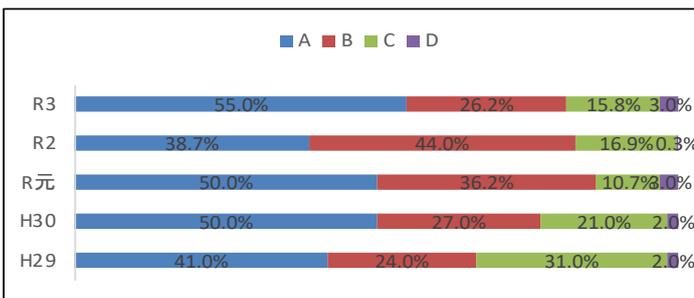
6 東川町にいる様々な国の人と活動するのが好き

	H29	H30	R元	R2	R3
A	40.0%	46.0%	38.9%	55.8%	66.0%
B	41.0%	40.0%	44.2%	32.6%	27.0%
C	10.0%	11.0%	12.6%	9.0%	6.3%
D	3.0%	3.0%	4.3%	2.7%	0.7%



7 日本の文化を知っている

	H29	H30	R元	R2	R3
A	41.0%	50.0%	50.0%	38.7%	55.0%
B	24.0%	27.0%	36.2%	44.0%	26.2%
C	31.0%	21.0%	10.7%	16.9%	15.8%
D	2.0%	2.0%	3.0%	0.3%	3.0%



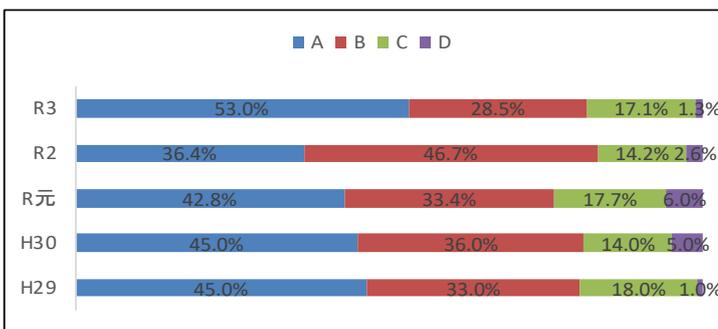
8 どれを知っていますか。

		H30	R元	R2
A	言葉	11.0%	10.8%	12.0%
B	食べ物	15.0%	16.2%	16.0%
C	着るもの	13.0%	13.6%	15.6%
D	自然	11.0%	9.4%	9.4%
E	建物	9.0%	9.5%	8.8%
F	季節	10.0%	8.8%	7.3%
G	お祭り	15.0%	13.6%	12.6%
H	遊び	14.0%	15.2%	16.7%
I	その他	2.0%	2.9%	1.7%



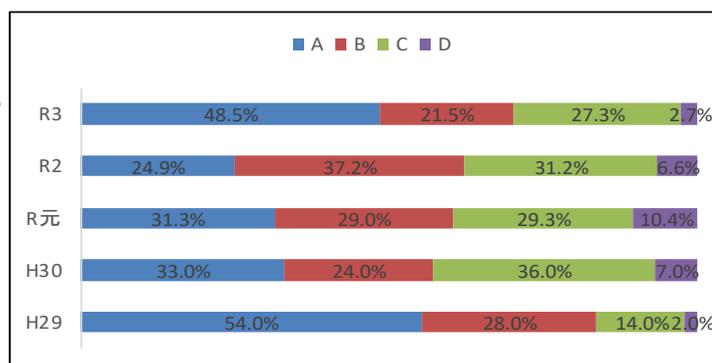
9 日本と他の国との文化ちがいがわかる

	H29	H30	R元	R2	R3
A	45.0%	45.0%	42.8%	36.4%	53.0%
B	33.0%	36.0%	33.4%	46.7%	28.5%
C	18.0%	14.0%	17.7%	14.2%	17.1%
D	1.0%	5.0%	6.0%	2.6%	1.3%



10 世界で起きている問題について知っている

	H29	H30	R元	R2	R3
A	54.0%	33.0%	31.3%	24.9%	48.5%
B	28.0%	24.0%	29.0%	37.2%	21.5%
C	14.0%	36.0%	29.3%	31.2%	27.3%
D	2.0%	7.0%	10.4%	6.6%	2.7%



(ウ) GTEC-junior の結果より

	H30	H30 全国平均	R1	R1 全国平均	R2	R2 全国平均	R3	Grade1～4
聞くこと	91.3	83.1	98.9	94.7	106.0	99.0	107.2	Grade4
読むこと	77.5	70.3	84.6	78.3	90.3	83.2	95.0	Grade4
話すこと	78.5	75.4	89.8	83.0	94.3	87.5	101.3	Grade4
書くこと	79.7	76.0	90.7	83.9	99.1	92.4	104.4	Grade4
総合	327.0	304.8	364.0	339.9	389.8	362.1	408.0	Grade4

【GTEC-Junior 平均スコア】

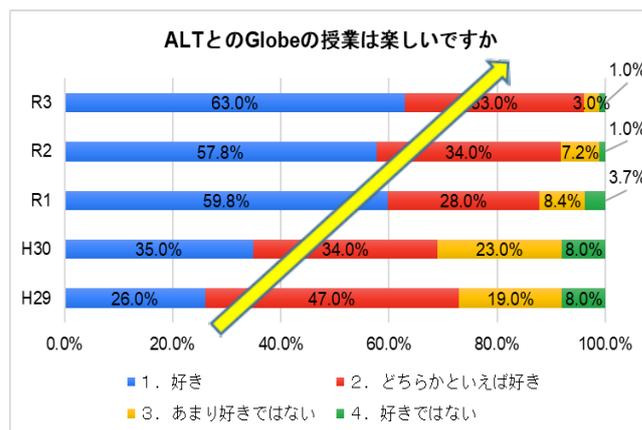
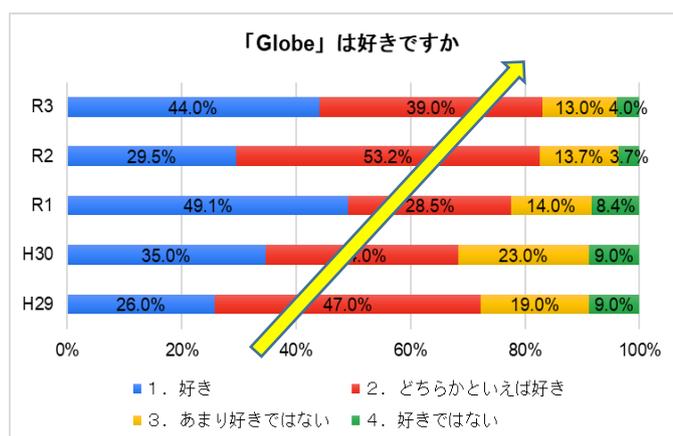
上の表は、4小学校の6年生に実施しているGTEC-juniorの結果の経年変化である。4領域とも前年度の数値を上回っており、全国平均と比べても大きく上回っている。このことからGlobeの実践により第6学年に十分な英語の力が備わっていると判断できる。

英語を話す必然性を意識した単元構成によって、児童の「伝えたい」「聞いてみたい」という思いが外国語習得の意欲となっており、4領域の定着につながっている。

③中学校

(ア) 研究開発アンケートより

「Globeは好きですか？」に対して、「思う」「どちらかといえば思う」の生徒が、4月は81.8%だったところが、12月には82.8%となり、「Globeが好き」という生徒が全体では微増となった。いずれも肯定的な回答が8割を超えており、Globeに対して興味関心が高いことがわかった。昨年度と比べて「好き」が18%増加し、肯定的評価が80%を越えていることから、Globe授業の充実した実践の成果と考える。また、Globeカリキュラムの学習内容及び指導内容が着実に成果を挙げてきたといえる。さらに、否定的評価が年々減少しているのも評価に値すると考える。特にALTをはじめ他国の方々とのコミュニケーションや他国の様々なことを知ることも意欲につながっている。



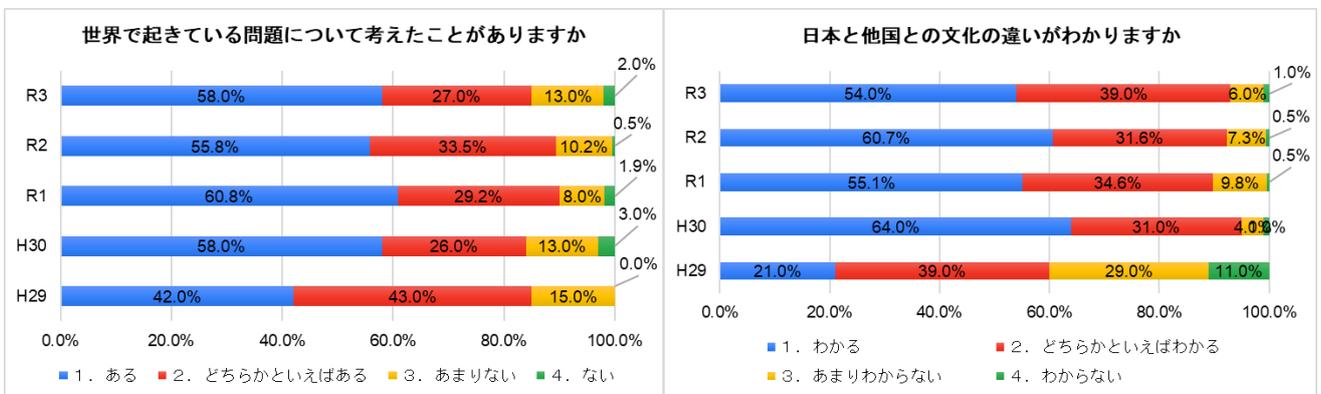
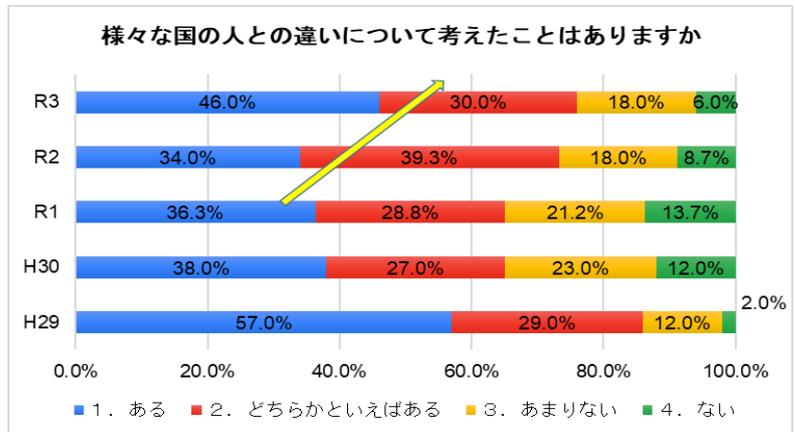
一方で、4月と12月のアンケートの個の変容に着目して見てみると、「どちらかといえば、思わない」「思わない」に回答が否定的に変わった生徒もいたことがわかった。中学校1年生前半は、小学校の内容と重複するところがあり、慣れ親しんできた表現を扱うことが多いが、新出事項が増える1年生後半から単語や表現が覚えられない、スペルや英文が書けない、話せないなど、文法や表現に対する苦手意識が強くなる傾向が分かる。特に記述内容を取り上げると、「文法が苦手」「文章の問題だと理解が難しい」「英語を話せるようになったり外国の知識を高めたりすることはとてもよいと思うけれど、

難しくみんなについていけず成績に不安がある」など、筆記によるテストの結果や成績に対する意識の高まりと、高校入試を意識した受験科目の「英語」として捉えている生徒が多いということが分かる。そのため、「Globe」に前向きに取り組む生徒がいる半面、教科の「英語」を意識して「単語が覚えづらい」「スペルや英作文が書けない」ことにつらさを感じている生徒が増えることが分かる。

「様々な国の人との違いについて考えたことがある」は、昨年度よりも10%以上も向上した。さらに、考えたことがあまりない生徒の中には、「人はどこの出身でもみんな一緒だと思うから。」という多文化共生の態度でいる生徒も見られた。

「世界で起きている問題について考えたことがある」「日本と他の国との文化の違いが分かる」はともに85%と91%と高い。このことから、

日本と世界についての違いについて教材を通して学習し、世界の諸問題について考えさせる単元デザインの展開をさせたことにより Global 要素にかかわる学習内容が充実したことが成果としてあげられる。「様々な国の人との違いについて考えたことがある」の他にアンケート項目として「世界には日本と違う様々な文化があります。それらを理解しようとしていますか」「考え方や文化の違いがある人達と、共に協力していこうと思いませんか」を追加した。どちらも約90%となり Global 要素に関わる意識の高さが感じられた。



以上の結果から、Globe の学習を通して、外見や生活の違いはあったとしても、それを違いとして判断するのではなく、同じ人として考えることができるようになってきたと考えられる。また、4月から比べると少し評価が上がり、世界の諸問題や他の国の文化や人々に対する寛容性は Global 要素の学習を通じて確実に高まりが見られた。

(イ) 英検 IBA の結果より

英検 IBA の結果からも取組の成果をうかがい知ることができる。ここ3年間の平均では1年生が619点と英検5級合格レベルで、特に本年度は647点と4級合格レベルに達している。2年生は、平均749点と英検3級合格レベルであり、特に昨年度は769点と高得点をあげている。3年生は平均791点と英検3級合格レベルであり、特に昨年度は813点と高得点を上げた。実用英語技能検定の受検

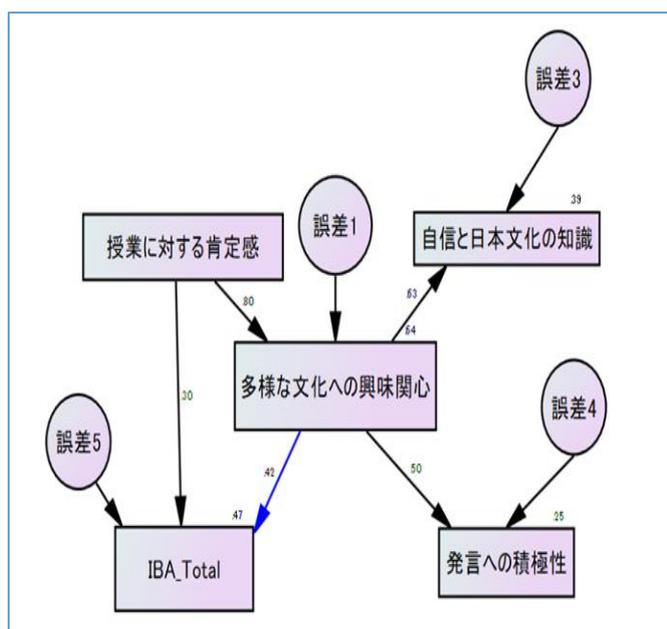
者数も年々増え、本年度は110名を超え、受検率が学校全体の50%を超え、興味・関心の高まりを実感している。結果も毎年3級以上の合格者が50名以上になり、準2級は15名程度、2級は3名程度の合格者となっている。

	H29	H30	R1	R2	R3	
中1	627	635	602	610	647	4級のレベル
中2		736	754	769	725	4級のレベル
中3		784	776	813	789	3級のレベル

中学校英検 IBA 平均スコア 5年間の推移

こうした結果は、JET スタッフを中心に地域の教育資源を活用しながら教育活動を展開するとともに、対一の面談授業など工夫を凝らした実践の積み重ねにより、英語への興味・関心が高まった成果である。

中学校のアンケート結果について北海道教育大学石塚博規教授に分析を依頼した結果、多様な文化への興味・関心の高い生徒の学力が高いことが分かった。グローバル要素として多様な文化に出合わせ、同じテーマで自分のことや地元、日本のことを学んだり考えたりする中で、伝えたい思いが強くなり、コミュニケーション要素としての英語の習得に意欲的になると考える。伝える活動の中でツールとして外国語を習得していく本町の教育課程の内容は、効果的であったと考える。



【中学校アンケート結果の分析】
(北海道教育大学 石塚教授による)

それぞれのお互いの影響を統計処理すると、「多様な文化への興味・関心」が他の3因子と関係していることがわかった。すなわち、この因子が子供たちの意識の鍵となっているようである。

「Globe」授業への肯定感が地域・異文化への興味・関心を高める大きな要因となっていることも分かった。「多様な文化への興味・関心」は、「自信感を高める」ことや「発言の積極性」も高める要因としても働いている。

英検 IBA の成績は主に、「授業への肯定感」と「多様な文化への興味・関心」の高さと関係しており、この2つの因子で英検 IBA の成績の50%は説明が付く。すなわち、グローブの授業の質を高めることで、多様な文化への興味・関心を高めると英検の成績が伸びる可能性があるということになる。

このように、英語や「Globe」授業に対する積極的な参加が、地域や日本・多様な文化への興味関心を呼び起こし、それが自信に繋がり、さらには積極的な発言につながる、と同時に英検で測るような英語力の向上にも表れているといえる。テスト成績が「知識」よりも「興味・関心」と強い関連があることは、特筆すべきことで、ここから指導のあり方の示唆を得ることができる。

【北海道教育大学 石塚教授の報告書より抜粋】

④高等学校

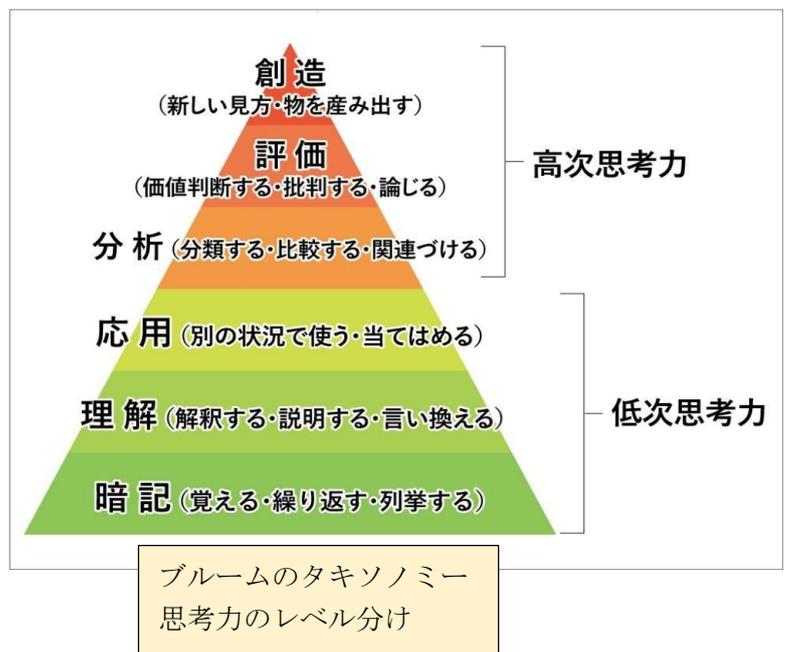
(ア)「単元デザイン」の観点から

東川中学校からの進学率が低く、高校1年生は英語力を継続してGlobeの授業を行えない。そのため、東川高校では、1年次を基礎力充実期にしているため、どうしても英語の基礎力を定着させる趣旨の内容が多くなる。その中でも、ALTや地域人材を活用し、グローバル要素の視点を与える授業を展開することができた。高校は年度ごとの教科書採択であるため、単元デザインはどうしても採択した教科書次第で流動的になる。しかし、その中でもローカル要素、あるいはグローバル要素という着眼点を持つことで、生徒に国際的視野を身につけさせる取組は、一定以上できたと判断している。今後は教科書採択ごとに流動性が生じることは不可避としても、新教科としての軸をどのように設定していくかが課題となる。

評価材料としては、新聞だけでなくプレゼンテーションやディベートなども含む生徒の成果物を一定以上生み出すことはできた。また、この成果物を生徒同士で評価させる取り組みを行い、判断力の育成を目指す取り組みができた。

以上のことから、思考力や判断力、表現力を伸ばさせる取り組みは一定以上できたと判断できるが、これをどのように評価するのかという点は課題が残る。

英語教育で提唱されているCLIL（内容言語統合型学習）の中で提示されている思考力のレベル分けを参考に、生徒の取り組みや成果物から上位の取り組みが見いだされるのか、あるいは下位のレベルにとどまるのかといった観点を評価に反映させることを検討しているが、これはまだ検討の余地が大きい。むしろ【思・判・表】内の評価ではなく、いわゆる3観点に対応した授業実践の枠組みと結びつけた方がいいのかも知れない。



(イ)「教科等横断的指導の充実」の観点から

高校では教科ごとの独自・独立性が高いため、教科等横断的な指導の充実は図れていない。それぞれの科目で適切な学習の系統立てやタイミングがあるため、実践は困難を極める。例えば英語の教科書でスポット的に世界史と関連づけできそうなテーマがあったとしても、該当学年で世界史を学んでいるかどうか、またさらに学んでいたとしても世界史という観点から生徒の学びとしてそのテーマが時宜にかなっているかといったことは完全に別問題である。この課題を克服するにはまだまだ時間を要するだろう。

(ウ)「幼、小、中、高における系統性の充実」の観点から

高校は教育段階の最後に位置するため、率直に言えば幼、小、中からの系統性を特に意識しなくても、学習内容はL要素とG要素のいずれを問わず直接なり間接なり自然と小学校や中学校とのつながりが生じる。その中で系統性の充実を図るなら、次の二点が課題となるであろうしこの点での課題は大きい。

一つ目の課題は、小中学校の取組を踏まえて高校生にふさわしい高さの要求水準を設定することである。高校は東川外から来る生徒が多く、加えて英語に苦手意識を持つ生徒が多いため、ともすれば小中学校の取組の焼き直しにとどまることがある。こういったことを避けるなら、小中学校でどのような取り組みをしているか高校側が学び続ける必要がある。

二つ目の課題は、高校でどのような社会問題をどのように扱うかを幼、小、中学校に提示し、これを一つの到達目標にしてもらうことである。高校は社会参画準備期に位置するため、社会に出て行くに当たりどのようなスキルや知識、考え方や表現力、あるいは態度を高校までに身に付けるべきかを逆算的に幼、小、中、高の全ての学校が把握できればよりよい教育ができるし、このために「目指す子供像」も設定した。これが教材や学習テーマレベルで系統性を持たせられれば、生徒にとって学びが容易になる部分が生じるだろう。

これらの課題克服には、今後も継続的に連携した教育事業を展開していく必要がある。

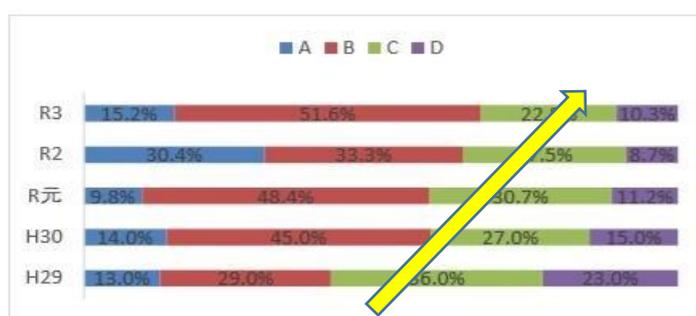
(エ) 「地域人材の効果的な活用の在り方」の観点から

今年は感染症対策の都合上、豊富な人材の活用はできなかった。それ以前は小高連携授業を含め様々な交流があったし、今年度は計画まで立てていたものもあったが、実施に至らなかった。とはいえコロナが終息を迎えれば、地域の豊富な人材を活用する見通しは立つ。これは5年間にわたるGlobe事業の大きな成果の一つだろう。

(オ) アンケート結果の振り返り

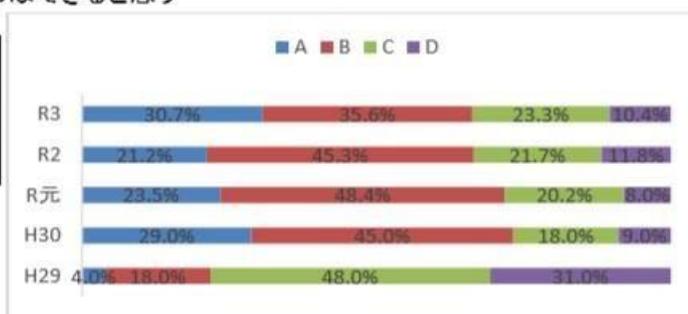
1 Globeが好き

	H29	H30	R元	R2	R3
A	13.0%	14.0%	9.8%	30.4%	15.2%
B	29.0%	45.0%	48.4%	33.3%	51.6%
C	36.0%	27.0%	30.7%	27.5%	22.8%
D	23.0%	15.0%	11.2%	8.7%	10.3%



12 英語は、少しむずかしくても、がんばればできると思う

	H29	H30	R元	R2	R3
A	4.0%	29.0%	23.5%	21.2%	30.7%
B	18.0%	45.0%	48.4%	45.3%	35.6%
C	48.0%	18.0%	20.2%	21.7%	23.3%
D	31.0%	9.0%	8.0%	11.8%	10.4%



「どちらかと言えば」の数字を込みで考えれば、「Globeが好き」と答える生徒が年を追って増えている。学校内で別途とっている調査では協働的な学習に前向きな回答をしている生徒が多いので、Globeで行う探究的な取り組みは、生徒の前向きな気持ちを引き出していると考えられる。

一方で若干2極化が進み気味なのは注意を要する。頑張ればできると思うかという問に対し、「思う」の回答が増えている一方で、「あまり思わない」の回答も増加傾向にある。「Globeは好きか」の問に対し、「好きではない」の回答をする生徒のほとんどがその理由に「英語が苦手だから」をあげ

ている。英語力の向上と Globe への関心は生徒の中で強い相関があるようなので、英語に向けて後ろ向きな気持ちになる生徒には引き続き支援が必要である。

(カ) 全体を振り返って

高校の取り組みとしては、2021年度は2020年度と比較して研究開発を推進できた部分は率直に言って乏しい。Globe としての様々な学習上の取り組みは継続できたが、逆の言い方をすれば継続するにとどまった。まずは高校3年間の中での系統立ては課題の余地が大きいし、評価方法の工夫となればなおさらである。前述のとおり科目横断的な取組も特にできなかった。これは高校の3教員それぞれが個別にはそれなりの努力はしたものの、Globe という軸や「目指す子ども像」という方向性に則って連携した指導はできなかったためであり、課題である。

	H29	H30	R1	R2	R3	
高1	724	745	702	714	736	3級のレベル
高2		761	768	730	707	4級のレベル
高3		752	768	745	739	3級のレベル

高校英検 IBA 平均スコア 5年間の推移

⑤全国学力・学習状況調査 児童生徒質問用紙の結果から(小学校6年生・中学校3年生)

下の表は、小学校6年生、中学校3年生に実施している全国学力・学習状況調査のアンケート結果をまとめたものである。「地域の行事に参加しているか」の問いに対して、令和3年度は、コロナ禍で地域行事が大幅に減ったにもかかわらず、研究開発初年度のH29年と比べると大きく上回っていることが分かる。また、全国平均と比べても、その差がどんどん大きくなり、東川町の子供たちの地域行事への参加率の高さがうかがえる。

また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか」の問いに対しても、変化が見られる。○で囲んだ部分は、同じ子供の小学校と中学校での回答である。全国では肯定的回答が減少傾向にあるのに対し、東川町では大きく伸びていることが分かる。

本町は、半数が移住者で、郷土愛はもともと持っているものではない。この変化は、Globe の学習を通して地域の魅力を学ぶ中で培われていると考える。

これ以外にも、今年度「人が困っている時は、進んで助けますか」に対して、6年生は98.6%、中学3年生は100%が、

質問事項	今住んでいる地域の行事に参加していますか。							
選択肢	当てはまる/どちらかといえば当てはまる の推移							
校種	小学校				中学校			
年度	H29	H30	H31	R3	H29	H30	H31	R3
本町	72.8	80.2	88.4	83.6	46.6	60	70.2	67.6
全国	62.6	62.7	68	58.1	42.1	45.6	50.6	43.7

質問事項	地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。							
選択肢	当てはまる/どちらかといえば当てはまる の推移							
校種	小学校				中学校			
年度	H29	H30	H31	R3	H29	H30	H31	R3
本町	52	42.3	62.3	71.2	30.1	49.4	55.9	61.6
全国	42.3	49.9	54.5	52.4	33.4	38.7	39.7	43.8

同じ子供

「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、6年生は100%、中学生は98.4%が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答している。人との関わりや共生を大切にして授業を作ってきた成果と考える。

このように、ローカル、グローバル両方で子供たちの内面が育ってきていることが全国学力・学習調査の質問用紙からも読み取ることができた。

(2) 教職員

① 教職員アンケート

アンケート結果から、年々教職員のGlobeに対する意識が高くなっていることが分かる。「Globeの授業は楽しいですか」の問いは、小学校のみに実施している。R3年度では、時間割の関係上どうしてもGlobeに参加できない教職員は「わからない」と回答しているが、実際に授業を行っている教師は、「楽しい」「だいたい楽しい」と回答しており、否定的な回答が0%であった。このことから、指導者が楽しんで授業に臨んでいることが分かる。このように指導者が楽しみながら授業に取り組んでおり、それが子供たちのGlobe好きが増えていることや学習意欲に影響していると考えられる。

教職員が楽しいと思う理由として、チームで授業に取り組めること、指導者の願いが反映でき、子供たちにも結果が出ていること、指導者自身も様々な文化の学びがあることなどが要因として考えられる。

また、「改善する必要があるか」の問いにないして、「改善の必要あり」と答えている教職員は、減少してきている。今年度は、半数が「改善する必要なし」と回答している。また、「Globeは、目指す子供像を達成するものになっていると思いますか」の問いに対して、約8割が肯定的な回答をしており、来年度以降も、このままのカリキュラムをブラッシュアップして実施していくことが望ましいと思われる。

一方、「わからない」と回答している教員が多いことは課題である。4～7の問に対して「わからない」と回答している教員が30%程度いる。また、他教科との関わりや、他校種との連携に対する意識が低いことも課題である。中学校、高校における他教科の先生方の関わり方を明らかにしたり教育活動全体をつなぐ視点をもったりすることが不十分であった。「Globe別業」や「系統表」を十分活用できるよう進める必要があった。



小学校1年生
「見つけたものを英語で言ってみよう」



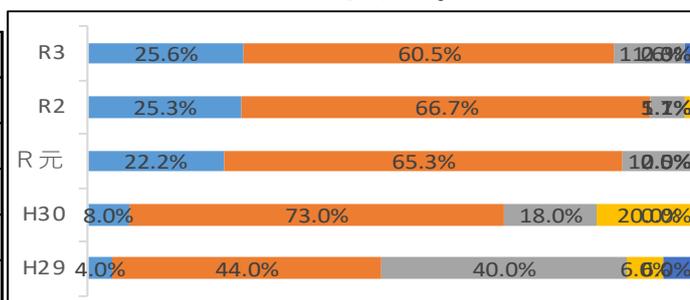
小学校4年生
「東川の給食 世界の給食」

教職員アンケート5年間の比較

A	B	C	D	E
よく	だいたい	あまり	ない	わからない

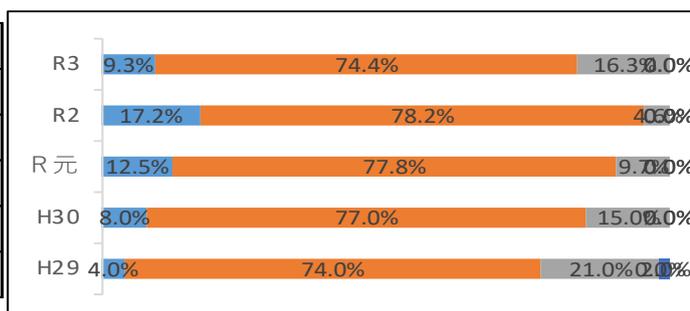
1 新教科「Globe」についてだいたいのイメージがもてていますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	4.0%	8.0%	22.2%	25.3%	25.6%
B	44.0%	73.0%	65.3%	66.7%	60.5%
C	40.0%	18.0%	12.5%	5.7%	11.6%
D	6.0%	20.0%	0.0%	1.1%	0.0%
E	6.0%	0.0%	0.0%	1.1%	2.3%



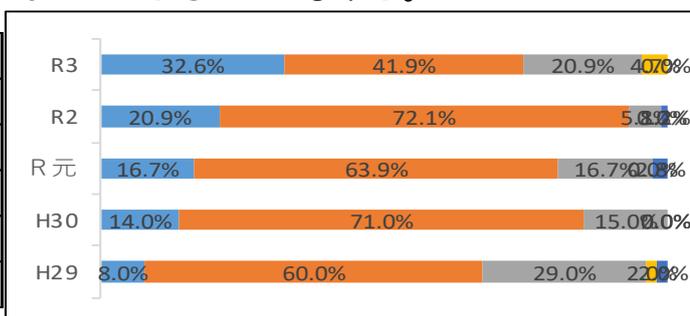
2 東川の特色を理解していますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	4.0%	8.0%	12.5%	17.2%	9.3%
B	74.0%	77.0%	77.8%	78.2%	74.4%
C	21.0%	15.0%	9.7%	4.6%	16.3%
D	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



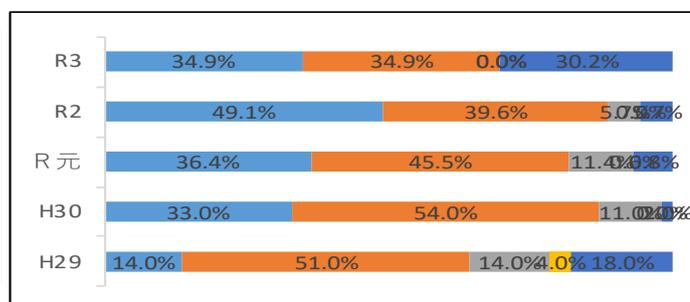
3 Globeの授業について、だいたいのイメージがもてていますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	8.0%	14.0%	16.7%	20.9%	32.6%
B	60.0%	71.0%	63.9%	72.1%	41.9%
C	29.0%	15.0%	16.7%	5.8%	20.9%
D	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
E	2.0%	0.0%	2.8%	1.2%	0.0%



4 Globeの授業は楽しいですか。☒

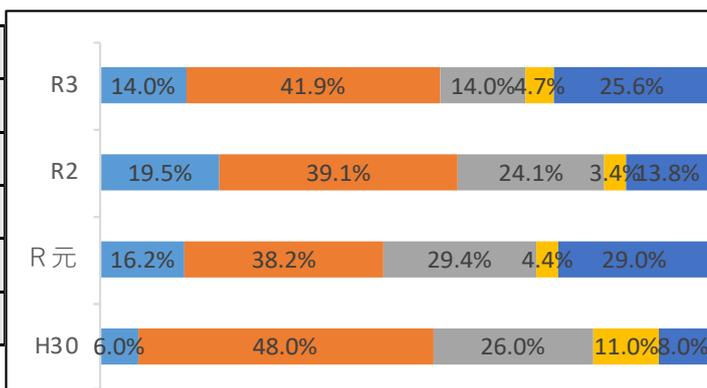
	H29	H30	R元	R2	R3
A	14.0%	33.0%	36.4%	49.1%	34.9%
B	51.0%	54.0%	45.5%	39.6%	34.9%
C	14.0%	11.0%	11.4%	5.7%	0.0%
D	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	18.0%	2.0%	6.8%	5.7%	30.2%



※小学校のみ

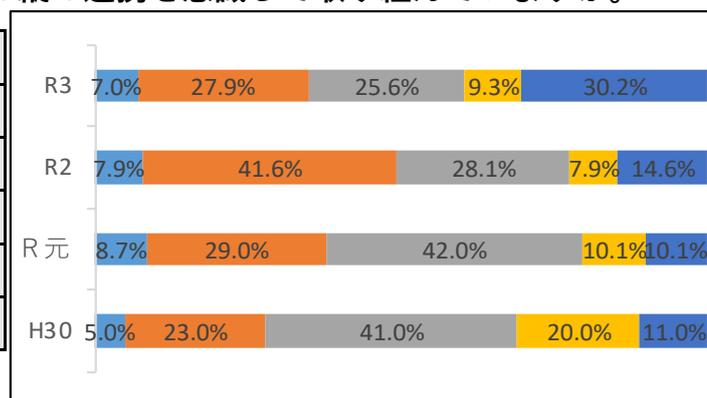
5 Globeに関連する他の教科や領域の授業をするときにGlobeを意識して取り組んでいますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A		6.0%	16.2%	19.5%	14.0%
B		48.0%	38.2%	39.1%	41.9%
C		26.0%	29.4%	24.1%	14.0%
D		11.0%	4.4%	3.4%	4.7%
E		8.0%	29.0%	13.8%	25.6%



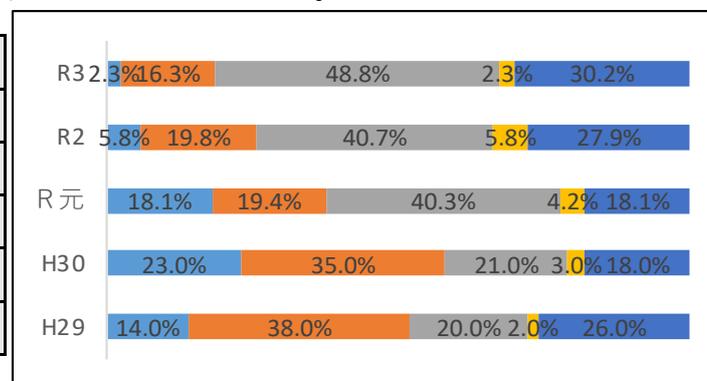
6 Globeの授業で幼稚園や中学校との縦の連携を意識して取り組んでいますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A		5.0%	8.7%	7.9%	7.0%
B		23.0%	29.0%	41.6%	27.9%
C		41.0%	42.0%	28.1%	25.6%
D		20.0%	10.1%	7.9%	9.3%
E		11.0%	10.1%	14.6%	30.2%



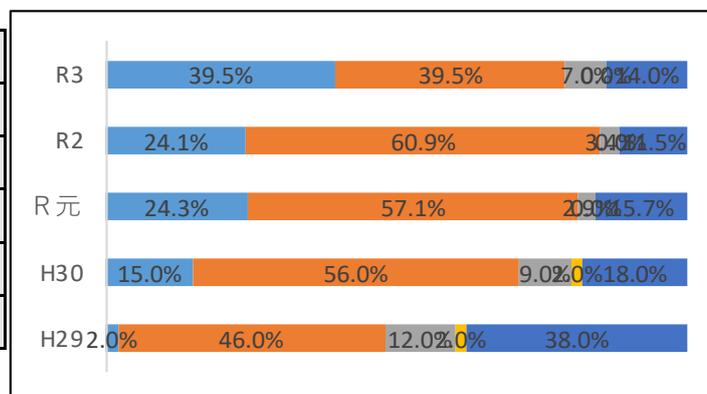
7 Globeの授業について改善する必要があると思いますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	14.0%	23.0%	18.1%	5.8%	2.3%
B	38.0%	35.0%	19.4%	19.8%	16.3%
C	20.0%	21.0%	40.3%	40.7%	48.8%
D	2.0%	3.0%	4.2%	5.8%	2.3%
E	26.0%	18.0%	18.1%	27.9%	30.2%



8 本町が進める「Globe」は、目指す子ども像を達成するのに値するものになっていると思いますか。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	2.0%	15.0%	24.3%	24.1%	39.5%
B	46.0%	56.0%	57.1%	60.9%	39.5%
C	12.0%	9.0%	2.9%	3.4%	7.0%
D	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	38.0%	18.0%	15.7%	11.5%	14.0%



②研究推進委員会（ミニ Globe 会議）

Globe カリキュラムの開発、授業実践の中心となるのは、各校の研究開発担当者、教育委員会 JETs コーディネーターで構成する「研究推進委員会～ミニ Globe 会議」である。構成メンバーをワーキンググループと呼び、ミニ Globe 会議では、各校の進捗状況、授業実践上の課題、悩みなどを話し合ったり、話し合ったことを各校へ発信し共通理解に努めたりして、カリキュラム開発に尽力してきた。

さらに、各校種で必要に応じて、小学校部会や中学校部会と校種別に部会を開き、各校種の具体的なカリキュラムの修正を行ったり、授業に関わる指導方法について話し合ったりしてきた。



③職員研修

学校種間のつながりや研究開発に係わる共通理解を図るとともに、本町における国際教育への意識を高めるための職員研修会を実施している。昨年度は、コロナ禍であったため、研究発表会も中止となり冬季研が紙面交流を余儀なくされたが、町内の研究を止めず、各校の研究を交流する機会とした。これまでに行ってきた町内職員研修の内容は次のとおりである。

平成 29 年度	幼児センター、東川町日本語学校視察 視察研修報告会（鹿追町・寿都町・徳島県鳴門市・大分県安心院） JICA 北海道 国際理解教育指導者研修
平成 30 年度	海外の教育について/海外の第二言語習得について（講師：JET s） フィンランドとの先生交換留学(現地の教育報告) 「I' m POSSIBLE」研修会（講師：マセソン美季氏） 上越市立大手町小学校視察
令和元年度	公開授業指導案検討 海外の教育について/海外の第二言語習得について（講師：JET s） フィンランドとの先生交換留学(現地の教育報告) 東京学芸大学附属大泉小学校視察
令和 2 年度	実践交流会指導案検討 実践交流会 SDG s について（紙面研修）
令和 3 年度	研究発表会指導案検討 欧州教育の現状（講師：北海道教育大学 石塚博規教授） Globe 報告会・R-Body 研修会

④人と人のつながり

小学校では、各学年でGlobe 打ち合わせを定期的に行い、HRT（学級担任）・STE（特別支援担当教諭）・ALT・JTE（Globe 担当）全員で授業づくりを進めている。これが授業づくりにおいて一番大事な取組であると考えている。研究開発研究推進委員会（ワーキンググループ）が作成したカリキュラムの学習内容の共通理解、各学年児童の実態にあった指導方法、評価方法の工夫などは、この場で話し合われている。

ALT の日程を教育委員会が調整して各学年ごとに曜

日を決め、短時間で密度の濃い打ち合わせを行っている。ALT は、毎時間全学年の授業に入り、子供たちの実態を共有している。ALT からは英語の発音や表現だけでなく、文化の違いや自分たちが受けてきた英語教育について教えてもらったり、指導についての提案や教材について提案してもらったりすることも多く、授業作りに大いに役立っている。

特別支援学級に苦手意識をもつ子供が多かったことから、打ち合わせでは特別支援学級担当者が個々の子供への対応について中心となって提案していく。Globe の目指す「共生」には、インクルーシブの考え方が重要であり、HRT、JTE、ALT、STE が、役割分担をしながら個に応じた対応を行っている。このような教職員の連携が不可欠であり、苦手意識をもつ児童の減少につながっている。

小学校4校では、使用した指導案やワークシート、パワーポイント、掲示物データ等を共有フォルダに学年、単元ごとに保管し蓄積している。学校が違っても学年での横のつながりによって、授業準備の効率化を図ることができ、授業の質の向上につながっている。

中学校では、学年団が一丸となって「学年Globe」に臨むことが多くなってきている。今年度は、中学校1年生Globe6「東川町の職業人を紹介しよう」3年生のGlobe1「パラリンピックを紹介しよう」のパススポーツ体験を学年全体で行い、学年所属の全教員が共通理解のもと、学習を進めている。中学校でも、アンケート結果から、教職員のGlobeの授業のイメージについては、少しずつ理解が進んでいった。



(3) 保護者

①保護者の関心

小学校では、小学校低学年を中心に町教育委員会主催の英会話教室「めだかのクラブ」に約4割が参加している。中学校では、「インターナショナルクラブ」に参加する生徒が増えている。各校の保護者への学校アンケートでは、Globeに関する項目に肯定的な回答が多く、Globeの取組が保護者に浸透し、関心が高まっていることが分かる。

②アンケート結果より

「地域の行事に興味・関心をもち参加している」に関して、小学校は高い水準で推移し、中学校では、少しずつ増加傾向にある。高校は、地元の生徒が少ないこと、感染予防から肯定的な回答は少なかった。

小学校では、Globeの話や外国の話題を家庭でする児童がふえてきており、中学校、高校のでも、「外国の文化や歴史、社会について話をする。」が少しずつではあるものの、増えている。

記述回答の中では、どの校種とも、「多文化共生社会での活躍してほしい」「のびのびと自己実現してほしい」「ものおじせず積極的に」といったものも多く見られた。保護者の願いとGlobeは、一致するものであるため、さらに伸ばしていきたいところである。

保護者アンケート 5年間の比較

小学校

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

1 地域の行事に興味・関心をもち、参加している。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	26.0%	29.0%	27.7%	25.6%	23.9%
B	55.0%	53.0%	48.6%	50.7%	53.0%
C	17.0%	14.0%	21.9%	19.6%	16.2%
D	3.0%	4.0%	1.9%	4.2%	6.8%



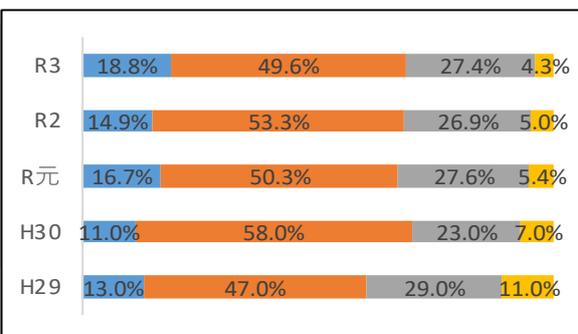
2 Globeの授業について話をしている。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	17.0%	25.0%	27.3%	26.9%	26.5%
B	54.0%	57.0%	54.0%	55.4%	58.1%
C	23.0%	11.0%	15.2%	14.4%	9.4%
D	6.0%	6.0%	3.5%	3.4%	6.0%



3 外国の文化や歴史、社会について話をする。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	13.0%	11.0%	16.7%	14.9%	18.8%
B	47.0%	58.0%	50.3%	53.3%	49.6%
C	29.0%	23.0%	27.6%	26.9%	27.4%
D	11.0%	7.0%	5.4%	5.0%	4.3%



4 東川町で進めている国際教育の取組で知っているもの

	H29	H30	R元	R2	R3	東川町の取組
A	41.0%	41.0%	37.5%	38.3%	76.9%	めだかのクラブ
B	10.0%	9.0%	7.4%	4.6%	4.3%	イングリッシュキャンプ
C	15.0%	18.0%	20.6%	19.1%	13.7%	外国との交流
D	27.0%	20.0%	20.5%	23.8%	30.8%	英会話教室
E	3.0%	6.0%	7.5%	6.5%	7.7%	インターナショナルフェスティバル
F	4.0%	6.0%	6.4%	7.7%	13.7%	インターナショナルクラブ
G	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	その他

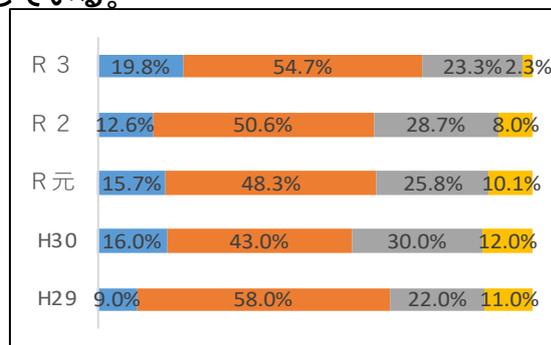
保護者アンケート 5年間の比較

中学校

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

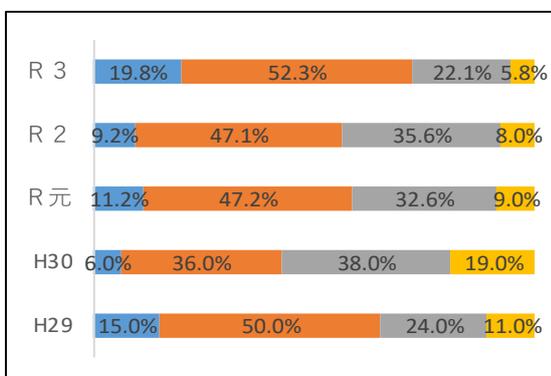
1 地域の行事に興味・関心をもち、参加している。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	9.0%	16.0%	15.7%	12.6%	19.8%
B	58.0%	43.0%	48.3%	50.6%	54.7%
C	22.0%	30.0%	25.8%	28.7%	23.3%
D	11.0%	12.0%	10.1%	8.0%	2.3%



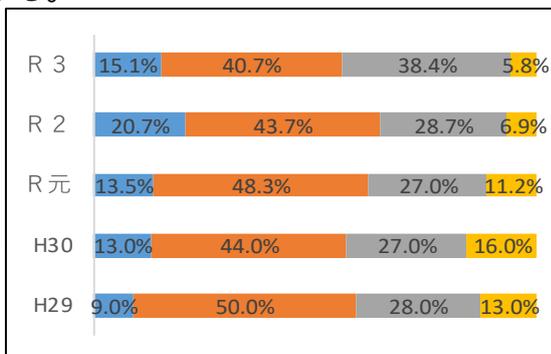
2 Globeの授業について話をしている。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	15.0%	6.0%	11.2%	9.2%	19.8%
B	50.0%	36.0%	47.2%	47.1%	52.3%
C	24.0%	38.0%	32.6%	35.6%	22.1%
D	11.0%	19.0%	9.0%	8.0%	5.8%



3 外国の文化や歴史、社会について話をする。

	H29	H30	R元	R2	R3
A	9.0%	13.0%	13.5%	20.7%	15.1%
B	50.0%	44.0%	48.3%	43.7%	40.7%
C	28.0%	27.0%	27.0%	28.7%	38.4%
D	13.0%	16.0%	11.2%	6.9%	5.8%



4 東川町で進めている国際教育の取組で知っているもの

	H29	H30	R元	R2	R3	東川町の取組
A	33.9%	32.0%	31.2%	30.0%	75.6%	めだかのクラブ
B	19.3%	15.0%	12.8%	10.6%	3.5%	イングリッシュキャンプ
C	15.4%	18.0%	18.8%	16.5%	19.8%	外国との交流
D	17.4%	17.0%	16.5%	18.7%	30.2%	英会話教室
E	4.5%	6.0%	6.0%	7.0%	3.5%	インターナショナルフェスティバル
F	8.7%	11.0%	14.7%	17.2%	23.3%	インターナショナルクラブ
G	0.8%	1.0%	0.0%	0.0%	1.2%	その他

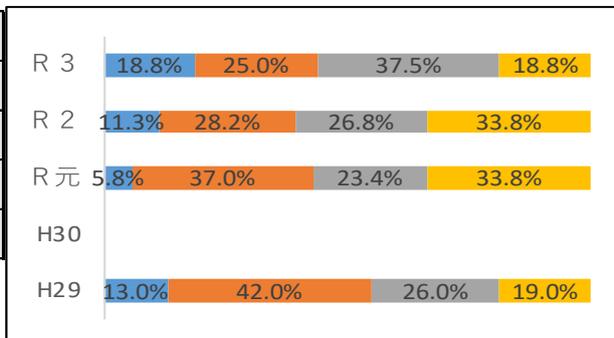
保護者アンケート5年間の比較

高等学校

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

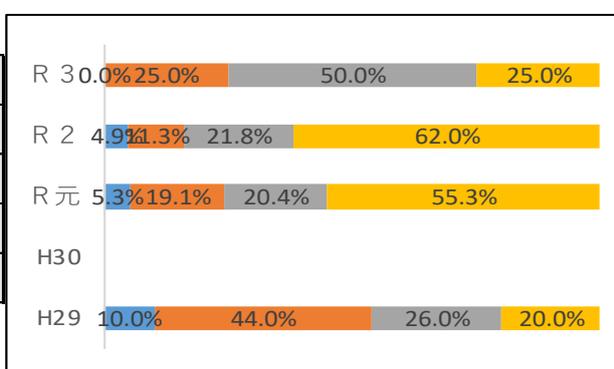
1 地域の行事に興味・関心をもち、参加している。

	H29	H30	R元	R 2	R 3
A	13.0%		5.8%	11.3%	18.8%
B	42.0%		37.0%	28.2%	25.0%
C	26.0%		23.4%	26.8%	37.5%
D	19.0%		33.8%	33.8%	18.8%



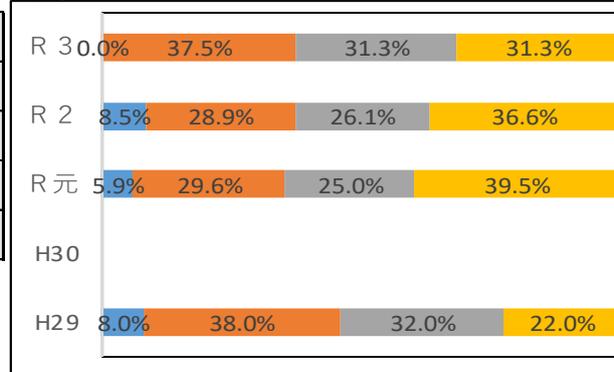
2 Globeの授業について話をしている。

	H29	H30	R元	R 2	R 3
A	10.0%		5.3%	4.9%	0.0%
B	44.0%		19.1%	11.3%	25.0%
C	26.0%		20.4%	21.8%	50.0%
D	20.0%		55.3%	62.0%	25.0%



3 外国の文化や歴史、社会について話をする。

	H29	H30	R元	R 2	R 3
A	8.0%		5.9%	8.5%	0.0%
B	38.0%		29.6%	28.9%	37.5%
C	32.0%		25.0%	26.1%	31.3%
D	22.0%		39.5%	36.6%	31.3%



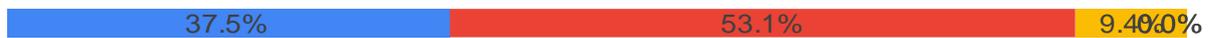
4 東川町で進めている国際教育の取組で知っているもの

	H29	H30	R元	R 2	R 3	東川町の取組
A	6.0%		9.2%	6.9%	25.0%	めだかのクラブ
B	10.0%		11.7%	10.3%	0.0%	イングリッシュキャンプ
C	54.0%		46.4%	46.0%	50.0%	外国との交流
D	18.0%		20.9%	20.7%	18.8%	英会話教室
E	4.0%		7.1%	8.0%	0.0%	インターナショナルフェスティバル
F	5.0%		3.6%	6.3%	18.8%	インターナショナルクラブ
G	4.0%		1.0%	1.7%	0.0%	その他

令和3年度 Globe 地域アンケート

A	B	C	D	E
よく	まあまあ	あまり	ない	わからない

1	「Globe」の取組を知っていますか？	37.5%	53.1%	9.4%	0.0%	0.0%
---	---------------------	-------	-------	------	------	------



2	東川の子供たちは、地域の行事に興味・感心をもって参加していますか？	31.3%	46.9%	6.3%	0.0%	15.6%
---	-----------------------------------	-------	-------	------	------	-------



3	東川の子供たちは、地域の方にあいさつをしていますか？	19.4%	58.1%	19.4%	0.0%	3.2%
---	----------------------------	-------	-------	-------	------	------



4	東川の子供たちは、海外の方と偏見や抵抗なく接していますか？	28.1%	46.9%	3.1%	0.0%	21.9%
---	-------------------------------	-------	-------	------	------	-------



5 東川の子供たちが将来どのように育ってほしいと思いますか？(記述)

グローバル・多文化理解	37.0%	誰とでも 誰にでも	13.0%	地元を大切に	20.0%
思いやり	13.0%	その他	17.0%		

6 この5年間で東川の子供たちが変わったと思うことがあればお書きください。

多文化共生の態度が育った	35.0%	外国語への関心 外国への関心が高まった	20.0%
相手を理解する態度が育った	5.0%	その他	40.0%

7 「Globe」に期待すること

地域とのつながり	25.0%	他者理解 多文化理解	35.0%	継続を希望する	15.0%
3要素をバランスよく	5%	その他	20.0%		

(5) Globe 創設の成果

以上のように、新教科「Globe」を創設し、指導内容、指導方法及び評価方法の研究を進めてきた。アンケート結果から、このカリキュラム開発を通して、子供たちの「Globe が好き」「楽しい」「使えるようになりたい」という知的好奇心が高まっていることがわかった。また、郷土愛や自己肯定感が高まること、共に助け合って生きていこうとする児童・生徒が育っていることが分かった。さらに、英語力の向上が見られた。教職員アンケートの項目「Globe は、目指す子供像を達成するのに値するものになっていると思いますか」では、85%が肯定している。

Globe の研究をとおして、次のことが成果として上げられる。

①カリキュラムについて

- ・グローバル要素を学ぶ際にローカル要素についても学ぶことによって、自国の文化や自分のことを伝えたい、表現したいという意欲が高まる。双方を比較することで、より深い理解につながる。
- ・自国の文化や様々な国との文化の違いに出合わせ、単元終末に伝える活動を組むことで、伝える目的と必然性が明確になるため、伝えるツールとしての英語力の向上につながる。
- ・今日的な課題について、先入観のない早い時期から出合わせ、段階的に知識を深めることで、誰とでも寛容な態度で接し、共に生きていこうとする子供の育成につながる。
- ・Globe 別葉を作成し、教科横断的な視点で単元をデザインすることにより、指導の相乗効果が表れ、子供の学習の広がりにつながる。

②連携体制について

- ・複数の教師による授業づくり、校種を超えたカリキュラム作りによって、授業改善だけでなく、教材の共有化、接続の効率化を図ることができる。

③人材活用について

- ・町の地域連携コーディネーターを活用し、様々な分野の地域人材が授業に入ることで、体験的に学ぶ機会が増え、単元の目標に迫ることができる。

④評価について

- ・LGC 配分一覧表によって、計画的に評価ができる。
- ・タブレット端末で互いの動画を撮影し、客観的に自分の発表を振り返り、自己評価し、練習や発表に生かすことは有効であった。
- ・子供たちが撮影した動画や提出したワークシート等は、単元ごとにロイロノートのフォルダに蓄積され、教師の評価に生かすとともに、デジタルポートフォリオとしての可能性を見いだせた。
- ・一単位時間ごとの振り返り、単元終末の振り返りを積み重ねることで、学習者自身が自らの成長を自覚することができ、主体的な学びにつながる。

⑤コロナ禍での研究

- ・昨年度、今年度は、感染症対策で、向かい合っただの対話や地域人材を講師として招くことに制限がある時期が多かった。そのため、JETs や日本語学校学生をはじめ、地域人材との交流を研究の一つの柱としてきた Globe カリキュラムは、当初の構想のように広がりを見せることはできなかった。しかし、リモートでのインタビューや取材、学級内で発表、ICT の活用により、カリキュラムを変更、修正し、単元目標に迫ることができた。

2 課題

(1) 教科横断的な視点

子供たちの学びの接続と、Globe と他教科・他領域との相互の関連を整理することが必要である。特に中学校、高校においては、Globe と英語科から、他教科の先生の関わりに広げることが大切である。

(2) 英語表現の精選

教科書掲載の言語材料と Globe の単元ゴールの表現が必ずしも一致しない。Globe カリキュラムで必要な表現を整理し、なだらかに接続したいことが必要である。中学校においては、受験を念頭に置きつつ Globe で扱う英語表現を習熟させながらローカル、グローバルの目標をいかに達成するかが課題である。

(3) 単位時間のタイムマネジメント

「振り返りシートの記入時間が足りない」「書くこと」の時間確保が難しい』という指導者の意見が多くあった。振り返りの時間を確保できる学習内容、外国語・英語の5技能のバランスを考えた構成など、1単位時間に無理なく収まる計画を工夫する必要がある。LGC 配分一覧表を活用しながら、指導項目や評価場面に軽重をつける必要がある。

(4) ICT の活用

本町では、タブレット端末において「ロイロノート」を中心に使用し、学習を進めている。これをデジタルポートフォリオとし、評価のツールにできるとよい。しかし、ICT を利用しても、目と目を合わせるコミュニケーションの大切さを忘れずに指導することは大切である。

(5) 校種間の更なる連携

ローカル・グローバルでの学びや英語表現などを、無理なく無駄なく接続できるとよい。中学校教員による6年生の乗り入れ授業や、中学校1年生前半の小学校と重複する英語表現の見直しなど、校種を超えた検討が必要である。

今年度をもって研究開発学校としての研究は終了する。今後は、これらの研究の成果を生かしながら、課題を解決し、新教科「Globe」をカリキュラムに生かしていく。